

官
禁

號外 昭和十四年二月八日

○第七十四回 帝國議會衆議院議事速記錄第十號

昭和十四年二月七日(火曜日)午後一時十二
分開議

議事日程 第九號
昭和十四年二月七日
（ノン、ナニ、シテ、シテ）

軍馬資源保護法案（以上一月四日提出）
種馬統制法案

第一 葉元年、之威宣傳力去、之三云生
(政府提出) 第一讀會

案(政府提出) 第一讀會
第三 朝鮮鐵道株式會社所屬金泉慶北

ル法律案(政府提出) 第一讀會
第四 森林法中改正法律案(政府提出)
第一讀會

第五 林業種苗法案(政府提出)
第一讀會

第七 種馬統制法案(政府提出) 第一讀會

〔左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲

政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
昭和十二年度歳入歳出總決算

昭和十二年度歲入歲出決算檢査報告
朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案

朝鮮鐵道株式會社所屬金泉慶北安東間鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案

官報號外 昭和十四年二月八日 衆議院議事速記錄第十號 議長ノ報告

明治二十五年三月三十日
第三種郵便物記可

恩給法中改正法律案
提出者

菊地養之輔君

案
提出者

提出者

坪山德彌君
淡水養魚擴充計畫樹立

米ノ混砂掲精禁止ニ開
星出者

農業團體統制ニ關ス
吉植 庄亮君

川俣 清音君

提出者 河合 義一君

齒科用金合金配給二題
提出者

所得稅法中改正法律案
（以

農地保護法制定二關二
是占者

三宅 正一君

提出者

去ニ由議長ニ於テ
委員左ノ如シ

第七部選出豫算委員
第八部選出豫算委員

一去二日ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ如シ
朝鮮事業公債法中改正法律案(政府提出)

委員 辞任鶴 惣市君 補闕岩瀬 亮君
人事調停法案(政府提出)委員

辭任椎尾 輛匡君 補闕田川大吉郎君
名古屋帝國大學創設ニ併フ帝國大學特別

會計及官立大學特別會計ノ關涉ニ關スル
法律案(政府提出)委員

辭任村上紋四郎君 補闕小野 寅吉君
一去三日議長ニ於テ辭任ヲ許可シタル常任

委員左ノ如シ
第六部選出豫算委員 中野 治介君
第九部選出決算委員 小山 亮君
一去三日常任委員補闕選舉ノ結果左ノ如シ
第四部選出豫算委員 永山 忠則君(北勝太郎君
補闕)

第七部選出豫算委員 行吉 角治君(小谷節夫君
補闕)

第八部選出豫算委員 小山 亮君(今井新造君
補闕)

一去三日特別委員理事補闕選舉ノ結果左ノ
如シ
昭和十四年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツ
ル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

外二件委員 理事 松尾 四郎君(理事小山邦太郎
君一月三十一日委員辭任ニ付
其ノ補闕)

一去三日理事追加五選ノ結果左ノ如シ
昭和十四年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツ
ル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

外二件委員 理事 山崎 常吉君
一去三日ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ如シ
昭和十四年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツ
ル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

ル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)
外二件委員 辞任宮本雄 一郎君 補闕東條 貞君
豫算委員 立川 平君(中野治介君
補闕)

豫算委員 立川 平君(中野治介君
補闕)

豫算委員 立川 平君(中野治介君
補闕)

決算委員 今井 新造君(小山亮君補
闕)

本日本會議中委員會ヲ開キタイトノ申出ガ
アリマス、之ヲ許可スルニ御異議アリマセ
スカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(小山松壽君) 服部君ノ勧議ニ御異
議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

自立シ難イ状態デアリマス、而モ是等ノ鐵道ハ朝鮮開發上重要ナル路線デアリ、且ツ國營代行ノ意義ヲ有シマスルノデ、今回本法ニ必要ナル改正ヲ加ヘ、是ガ助成ノ爲必要アル場合ニ於テハ、現在ノ補助期間ヲ更ニ五年間延長シ得ルノ途ヲ開カント致シタノデアリマス、尙ホ補助方法ニ付キマシテモ、現下經濟界ノ趨勢ニ鑑ミマシテ、適當ノ改正ヲ加フルコトト致シマシタ、何卒御審議ノ上御協賛アランコトヲ希望致シマス（拍手）

○議長（小山松壽君） 本案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ニ付テ御諮り致シマス

○服部崎市君 本案ハ政府提出、朝鮮事業公債法中改正法律案ノ委員ニ併セ付託サレニコトヲ望ミマス

○議長（小山松壽君） 服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（小山松壽君） 異議ナシト認ヌマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第三、朝鮮鐵道株式會社所屬金泉慶北安東間鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案ノ第一讀會ヲ開キマス——松村大藏政務次官

第三、朝鮮鐵道株式會社所屬金泉慶北安東間鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案（政府提出） 第一讀會

朝鮮鐵道株式會社所屬金泉慶北安東間鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案 提出ノ理由ヲ説明致シマス、朝鮮鐵道株式會社ノ經營ニ屬シマスル金泉慶北安東間ノ鐵

○政府委員（松村光三君） 只今議題トナリ

マシタ朝鮮鐵道株式會社所屬金泉慶北安東間鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案提

政府ハ朝鮮鐵道株式會社所屬金泉慶北安東間鐵道買收ノ爲之ニ必要ナル額ヲ限度トシ公債ヲ發行スルコトヲ得

〔政府委員松村光三君登壇〕

道、即チ慶北線ハ朝鮮國有鐵道ノ京釜線金
泉驛ヨリ北上致シマシテ、慶尚北道ノ路
中部慶北安東驛ニ致リマスル延長百十餘杆
ノ私設鐵道デアリマスガ、本鐵道ハ曩ニ第六
十九回帝國議會ノ協賛ヲ經マシタ朝鮮國有
鐵道中央線ノ建設工事ノ進涉ニ伴ヒマシテ、
工事用諸材料輸送ノ便宜上及ビ國有鐵道運
輸系統整備ノ必要上等ヨリ、昭和十四年度
ニ於テ之ヲ買收スルヲ適當ト認メシタル
爲、其ノ買收代價トシテ交付スペキ公債ヲ
發行シ得ルコトトスルノ必要ガアリマスノ
デ、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリ
マス、何卒御審議ノ上速ニ協賛ヲ與ヘラレ
ンコトヲ希望致シマス(拍手)
○議長(小山松壽君) 本案ノ審査ヲ付託ス
ベキ委員ノ選挙ニ付テ御諮リ致シマス
○服部崎市君 本案ハ政府提出、朝鮮事業
公債法中改正法律案ノ委員ニ併セ付託サレ
ンコトヲ望ミマス
○議長(小山松壽君) 服部君ノ動議ニ御異
議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第
四及ビ第五ハ關聯セル議案デアリマスカラ、
一括議題ト爲スニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ日程第四、森林法中改正法律案、
日程第五、林業種苗法案、右兩案ヲ一括シ
テ第一讀會ヲ開キマス——櫻内農林大臣

第九條 命令ヲ以テ定ムル公有林、社寺有林又ハ私有林ノ所有者ハ其ノ所有スル森林又ハ造林ノ用ニ供スル土地ニ付コトヲ要スル者又ハ前項ノ規定ニ依リ施業案ノ變更ヲ命セラレタル者之ヲ編成セス又ハ變更セサルトキハ地方長官ハ其ノ者ニ代リテ之ヲ編成シ又ハ變更スルコトヲ得

第十條 地方長官森林生産ノ保續ヲ圖ル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ公有林、社寺有林又ハ私有林ノ所有者ニ對シ其ノ森林ニ付區域又ハ箇所及期間ヲ定メ伐採方法又ハ造林其ノ他伐採ニ伴フ必要ナル事項ヲ指定スルコトヲ得

前項ノ規定ハ前條ノ規定ニ依ル施業案ノ編成アリタル森林及第六十九條ノ三ノ規定ニ依ル森林組合ノ施業案ノ編成アリタル森林ニ付テハ之ヲ適用セス

第十一條 公有林、社寺有林又ハ私有林ノ所有者第九條ノ規定ニ依ル施業案ニ定メタル伐採、造林其ノ他ノ施業要件ニ準據セス又ハ前條ノ規定ニ依ル指定ニ從ハサルトキハ行政官廳ハ伐採ノ停止ヲ命シ又ハ其ノ者ニ代リテ自ラ伐採、造林其ノ他施業上必要ナル行爲ヲ爲シ若ハ公共團體ヲシテ之ヲ爲サシムルコトヲ得

前項ノ伐採停止ニ關スル規定ハ森林所有者カ其ノ生活ヲ維持スル爲已ムヲ得サルニ出テタル伐採ニ付テハ之ヲ適用セス

リ施業案ヲ編成シ若ハ變更スルニ要シリ費用又ハ前條ノ規定ニ依リ伐採、造林其ノ他施業上必要ナル行爲ヲ爲シ又ハ爲サシムルニ要シタル費用ハ行政官廳ニ於テ行政執行法第六條ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得
第十一條ノ三 地方長官國土保安其ノ他公益上特ニ必要アリト認ムルトキハ公有林、社寺有林又ハ私有林ノ所有者ニ對シ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ所有スル森林ニ付施業技術者ノ雇入ヲ命スルコトヲ得
第十三條ノ次ニ左ノ二條ヲ加フ
第十三條ノ二 行政官廳必要アリト認ムルトキハ森林產物ノ生產若ハ取引又ハ森林產物ヲ原料トスル物品ノ製造ヲ爲ス者ニ對シ森林產物ノ需給ノ狀況ニ關スル事項ノ報告ヲ命シ又ハ之ニ關スル帳簿書類其ノ他ノ物件ニ付必要ナル調查ヲ爲スコトヲ得
第十三條ノ三 二以上ノ府縣ニ亘ル事項ニ關シテハ本章ニ規定シタル地方長官ノ職權ニ付勅令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得
第十八條及第二十三條中「市町村役場」ノ下ニ「町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ之ニ準スヘキ場所」ヲ加フ
第三十四條中「第十一條」ノ下ニ「及第十一條ノ二」ヲ加フ
第四十條、第四十九條、第五十條、第五十八條及第六十一條中「御料局」ヲ「帝室林野局」ニ改ム
〔第五章 森林組合〕ヲ「第五章 森林組合及森林組合聯合會」ニ改ム
第六十二條 森林組合ハ組合員ノ所有スル森林ニ付自ラ施業ヲ爲シ又ハ組合員ノ施業ヲ調整シ以テ森林生産ノ保續ヲ圖ルヲ以テ目的のトス
組合ハ前項ノ目的ヲ達スル爲定款ノ定

若ハ五千圓以下ノ罰金ニ處シ又ハ其ノ
刑ヲ併科ス

第八十八條 他人ノ森林ニ放火シタル者
ハ二年以上ノ有期懲役ニ處ス

自己ノ森林ニ放火シタル者ハ三年以下
ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス因テ
他人ノ森林ニ延焼シタルトキハ七年以
下ノ懲役ニ處ス

第九十條中「前條第二項ノ罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ刑法未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス」ヲ「第八十八條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス」ニ改ム
第九十一條中「三十圓」ヲ「百圓」ニ改メ同條但書ヲ削ル
第九十二條中「二十圓」ヲ「百圓」ニ改ム
第九十三條第一項中「二百圓」ヲ「三百圓」ニ、同條第二項中「重禁錮及二百圓」ヲ「懲役又ハ三百圓」ニ改ム
第九十四條中「五十圓」ヲ「百圓」ニ改ム
第九十四條ノ一 第十一條第一項（第六十九條ノ四ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ規定ニ依ル伐採停止ノ命令ニ違反シタル者ハ三百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス
料ニ處ス
第九十五條中「二十圓」ヲ「五十圓」ニ改ム
第九十五條ノ二 左ノ各號ノニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス
一 第十三條ノ二ノ規定ニ依ル報告ヲ爲サス又ハ虛偽ノ報告ヲ爲シタル者
二 第十三條ノ二ノ規定ニ依ル調査ヲ拒ミタル者

第九十九條ヲ削ル
第百條ヲ第九十九條トシ同條中「二十圓」ヲ
「五十圓」ニ改ム
第一百一條ヲ第百條トシ同條中「二十圓」ヲ
「百圓」ニ改ム
第一百二條ヲ第一百一條トシ同條中「五十圓」
ヲ「百圓」ニ、「二百圓」ヲ「三百圓」ニ改ム
第一百三條ヲ第一百二條トス

ル所ニ依リ監督官廳ノ認可ヲ得テ改正規定ニ依ル組合ト爲ルコトヲ得
第三項ノ組合ニシテ同項ノ期間内ニ改正規定ニ依ル組合ト爲ラサルモノハ其ノ期間満了ノ日ニ於テ解散ス
本法施行前從前ノ罰則ヲ適用スヘカリシ行爲ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

ル者ハ其ノ補償金額ノ通知ヲ受ケタル
日ヨリ三月以内ニ通常裁判所ニ出訴ス
ルコトヲ得

第八條 行政官廳母樹又ハ母樹林トシテ
存置スルノ必要ナシト認ムルトキハ母
樹又ハ母樹林ノ指定ヲ解除スルコトヲ
得

第四條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用

第三百三條 決定人又ハ代理人、戸主
家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者カ
其ノ法人又ハ人ノ業務ニ關シ第九十四
條ノ二又ハ第九十五條ノ二第一號ノ違
反行爲ヲ爲シタルトキハ其ノ法人又ハ
人ハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ
處罰ヲ免ルルコトヲ得ス

第一百三條ノ二 第九十四條ノ二又ハ第九
十五條ノ二第一號ノ罰則ハ其ノ者カ法
人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法
人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者
又ハ禁治產者ナルトキハ其ノ法定代理
人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者
ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テ
ハ此ノ限ニ在ラス

第一百六條 北海道ニ於テ本法ヲ適用スル
ニ付必要ナル事項ニ關シテハ勅令ヲ以
テ特例ヲ設クルコトヲ得

第一百七條第二項中「第十一條」ノ下ニ「及
第十一條ノ二」ヲ加フ

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

公有林又ハ社寺有林ニ付本法施行前地方
長官ノ認可ヲ受ケタル施業案又ハ施業要
領ハ本法ニ依リ認可ヲ受ケタル施業案ト
看做ス

從前ノ規定ニ依リ設立セラレタル森林組
合ニシテ本法施行ノ際現ニ存スルモノハ
本法施行ノ日ヨリ五年ヲ限り仍從前ノ例
ニ依ル

第一條 本法ニ於テ種苗トハ林業ノ用ニ供スル樹木ノ種子及苗ヲ謂フ

第二條 本法ヲ適用スル種苗ノ樹種ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條 行政官廳ハ命令ノ定ムル所ニ依リ優良ナル種苗ノ採取ニ適スル樹木又ハ其ノ集團ヲ母樹又ハ母樹林トシテ指定スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル指定ヲ受ケタル母樹又ハ母樹林ハ行政官廳ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ伐採スルコトヲ得ズ

第四條 行政官廳前條第一項ノ規定ニ依リ母樹又ハ母樹林ノ指定ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ其ノ樹木又ハ樹木ノ集團ノ所有者ニ通知シ且命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ公示スベシ

第五條 行政官廳ハ母樹又ハ母樹林ノ所有者ニ對シ母樹又ハ母樹林ニ關シ保護又ハ管理ニ關シ必要ナル處置ヲ命ジ又ハ有害ナル行爲ヲ制限シ若ハ禁止スルコトヲ得

第六條 行政官廳ハ母樹又ハ母樹林ノ所有者ニ對シ母樹又ハ母樹林ニ關シ必要ナル事項ノ報告ヲ命ズルコトヲ得

第七條 政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ母樹又ハ母樹林ノ所有者ニ對シ伐採ヲ停止セラレタルニ因ル直接ノ損失ヲ補償

第九條 行政官廳ハ配付ノ目的ヲ以テスル種苗ノ採取ニ關シ命令ノ定ムル所ニ依リ採取時期ヲ指定シ又ハ採取ニ適セザル樹木若ハ其ノ集團ヨリノ採取ヲ禁止スルコトヲ得

第十條 行政官廳必要アリト認ムルトキハ種苗ノ種類ニ應ジ之ニ適スル配付區域ヲ指定シ又ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ種苗ノ輸出若ハ輸入ヲ制限シ若ハ禁止スルコトヲ得

第十一條 種苗ノ販賣ヲ業トスル者ハ其ノ業務ニ關シ命令ノ定ムル事項ヲ行政官廳ニ届出ヅベシ

第十二條 行政官廳必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ種苗ノ販賣ヲ業トスル者ヲシテ其ノ販賣スル種苗ニ保證票ヲ添附セシムルコトヲ得

第十三條 行政官廳必要アリト認ムルトキハ種苗ノ販賣ヲ業トスル者ニ對シ種苗ノ給配ノ狀況ニ關スル事項ノ報告ヲ命ジ又ハ之ニ關スル帳簿書類其ノ他ノ物件ニ付必要ナル調査ヲ爲スコトヲ得

第十四條 母樹又ハ母樹林ニ關シ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リテ爲シタル手續其ノ他ノ行爲ハ母樹又ハ母樹林ノ所有者ノ承繼人ニ對シテモ其ノ效力ヲ有ス

第十五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一 第三條第二項ノ規定ニ違反シ許可

然ルニ供給ノ方面ヲ見マスルト、外材ノ輸入ガ非常ニ減少シテ參リマシタ、亞米利加材ノ如キハ四百万石入ツテ居リマシタモノガ、最近ハ百五十万石ニナリ、南洋材ガ二百五十万石入ツテ居ツタモノガ百万石、北洋材——沿海州カラ來ル木材ハ全ク來ナクナリマシタカラ、此ノ方面カラノ供給ガ不足シテ參リマシタモノヲ、五百万石位ハ見テ置カナケレバナラヌト思フノデアリマス、軍需方面ハ支那ノ戰地ノ復舊、兵舍建築、橋梁、枕木、電柱等、急激ニ起ツタ需要ガ約一千五百万石モアルヤウニ推測致シテ居リマス、此ノヤウニ急激ニ二千万石モ不足ヲ來シテ來タモノガアリマシテ、而モ軍需方面ノ用材ハ非常ニ納期ガ短イノデアリマスカラ、最近ハ里近イ若木ヲドン／＼伐ツテ出スノデアリマス、此ノ情勢ガ進ミマスト、成育ノ最モ盛ンナ、成長率ノ良イ幼齡ト來シテ來タモノガアリマシテ、而モ軍需方面ノ用材ハ非常ニ納期ガ短イノデアリマス、此ノ點ニ於キマシテ、今度政府ガ現行法律案ヲ改正シ、統制ヲ加ヘテ、幼齡林ノ伐採ヲ禁止シ、而シテ更ニ植林ヲ強制シヨウト極マル状態ニ相成ツテ居ルノデザイマス、林ガナクナツテ參リマシテ、成長ノ止ツテ居ル老木ガ残リ、國家カラ見テ洵ニ不經濟ト、成育ノ最モ盛ンナ、成長率ノ良イ幼齡ト來シテ來タモノガアリマシテ、而モ軍需方面ノ用材ハ非常ニ納期ガ短イノデアリマス、此ノ點ニ於キマシテ、今度政府ガ現行法律案ヲ改正シ、統制ヲ加ヘテ、幼齡林ノ伐採ヲ禁止シ、而シテ更ニ植林ヲ強制シヨウト極マル状態ニ相成ツテ居ルノデザイマス、云フ法案ヲ御提案ニナツタノデアリマス、ソコデ此ノ御提案ノ趣旨ヨリ見マシテ、此ノ法案ヲ大體通讀シテ見マスルト、法案ノ體裁ニ於キマシテハ整ツテ居リマスルガ、之ヲ實行ニ移シテ考へテ見マスルト、非常ニ困難ニ遭遇スルト云フコトヲ私ハ考ヘサセラレルノデアリマス、何故カト申シマスレバ、此ノ法案ノ建前ハ、幼齡林ノ伐採ヲ禁シテ、老木ノ方カラ先ニ伐ツテ行クト云フヤウナ施業案ト云フモノヲ強制シテ持ヘサセ、其ノ施業案ノ實行ヲ滑カナラシメル爲ニ森林組合ヲ作ル、更ニ森林組合ヲ一元的ニ統制スル爲ニ、森林組合聯合會ヲ作ルト云フコトガ此ノ法案ノ骨子デアリマス、所ガ此ノ施業案ト云フモノガ非常ナ問題デ

アリマス、私ハ施業案ト云フモノハ現在ノ民
有林ニ當嵌メテドンナモノガ出來ルカト云
フコトハ、ドウモ想像ガ付カナイ、ソコデソ
レニ付テ種々ノ質疑ヲ致シタインデアリマ
スガ、是ハ細カイ所ニ入リマスカラ只今ハ質
問ヲ致シマセヌ、他ノ機會ニ於テ御聴ヲ致
シマスガ、唯一點此ノ施業案ヲ實行スルニ
當リマシテ、非常ナ障碍ニナル思フヤウ
ナ點ガアリマスノデ、此ノ點ニ付テ大臣ニ
御尋ヲ致シタイ

ソレハ施業案ヲ實行致シテ參リマスト、
伐採ヲ禁止スルト云フコトガ條件ニナツテ
來ルノデゴザイマス、所ガ小サナ山林ヲ所
有シテ居ル者方伐採ヲ禁止セラマスト、
山林ヲ金ニ換ヘル、詰リ資金化スルコトガ
出來ナイヤウニナルノデアリマシテ、此ノ
點ハ其ノ場合ヲ想像シテ、此ノ法案ニモ禁
止ノ條項ヲ特ニ緩和サレタ所モアルノデア
リマス、ソレハ第十一條ニ此ノ施業案ニ伐
採ヲ禁止サレタ場合ノ規定ヨリ特ニ緩和シ
テ居リマス、第十一條ニ「前項ノ伐採停止ニ
關スル規定ハ森林所有者力其ノ生活ヲ維持
スル爲已ムヲ得サルニ出テタル伐採ニ付テ
ハ之ヲ適用セス」即チ生活ヲ維持スル爲已
ムヲ得ザルニ出デタル場合ニ於テハ之ヲ許
スト云フコトニ緩和セラレテ居リ、直接生
活ヲ維持スル爲ノ資金ヲ要スル時ノ伐採
ハ、此ノ施業案ノ禁止ヨリ解カレルノデア
リマスカラ、此ノ點ハ緩和セラレテ居ルノ
デアリマスガ、此ノ生活維持ト云フコトガ
ドノ程度マデ考ヘラレテ居ラレマスカ、山
村ノ中產階級デ、小サナ山林ヲ持ツテ居リ
マスル農家ハ、山林ヲ育成致シマシテ、ソ
レニ依ツテ娘達ノ御嫁入ノ仕度モスルノデ
ゴザイマス、又學校ニ在リマスル學生ノ資
金モ是ヨリ出スノデゴザイマス、斯ウ云フ
モノハ恐ラク生活維持ノ資金ハ認メ得ラ
レナイモノダラウト思ヒマス、又サウ云フ
モノヲ一々禁止ヨリ解カルルト云フコトデ

アレバ、此ノ施業案ニ禁止シタ所ノ精神ニ合ハナイノデアリマスカラ、斯ウ云フ場合ノ資金ノ需要ガ起ツタ時ニ、一體政府ハドウナサル御積リデアリマスカ、此ノ點ヲ十分救濟シ、援助スル途ヲ立テテ置カナケレバ、本案ハ實施ニ當リマシテ空文ニ終ルト思フノドアリマス、現行法ニ於キマシテモ、詰リ新シク斯様ニ改正フシナクテモ、伐採ヲ禁止シ、或ハ植林ヲ強要スル規定ハアルノデアリマス、併シナガラ現行法ノ規定ニハ、金融關係方面ノ救濟援助ノ方法が定メラレテアリマセスカラ、今日ノヤウナ荒廢シタ狀態ニナツテ參ツタノデゴザイマス、ソコデ政府ハ之ニ對シマシテドウ云フヤウナ金融的救濟ノ途ヲ御考ニナツテ居ラレマスカ承リタイノデアリマス、尤モ此ノ法案ノ第七十條ヲ見マスト、其ノ第二號ニ斯ウ云フ「コトガ書イテアル」「組合員ノ森林組合ハ信用組合、產業組合等ノヤウニ資金ノ出資ヲ認メテ、資金的ノ活動モセシムル」ノ維持又ハ施業ニ必要ナル資金ノ貸付ヲ爲スコト」即チ今回ハ森林組合ヲ作り、森林組合ハ信託組合員ノ森林ノ維持又ハ施業ニ必要ナ資金ノ貸付モ爲スト云フコトガ入ツテ居リマスカラ、此ノ點ヲ考慮サレテ居ルト云フコトダケハ考ヘラレルノデアリマス、併シナガラ組合員ガ出資シタ位ノ少シノ資金ダケデハ、到底森林資金トシテ必要ナル多額ノ金額ニ對シテハ間ニ合ハヌ、ソコデ此ノ組合ノ聯合會ガ作ラレテ居リマスカラ、此ノ聯合會ヲ活動セシメテ大キナ資金ヲ得ル途ヲ考ヘテ居ラルノデアラウト思ヒマスケレドモ、此ノ法案ヲ見マシタ所ガ、其ノ點ニハ少シモ觸レテ居リマセヌ、資金關係ハ何處ヲ見テモ書イテアリマセヌ、ソコデ是ハヤハリ産業組合或ハ商工業組合ノ中央金庫ノヤウニ、森林組合聯合會中央金庫ト云フヤウナモノデモ作ツテ、此

ノ資金援助ノ途ヲ開クニアラザレバ、本法案ノ實施ニ當リマシテ非常な困難ニ遭遇スルデアラウト云フコトヲ私ハ憂慮致スノデゴザイマス（細カイコトハ委員會デ賴ミマスト呼フ者アリ）勿論政府ニ於カレマシテハ勸業銀行、農工銀行等ヲ以テ、精々便宜ヲ圖リマスト云フ位ノコトハ御答辯ニ相成ルカモ知レマセヌガ、私ハサウ云フ程度ノモノデヘ此ノ今度ノ法案ノ改正ノ實行ニ當ツテハイカヌト思フ、餘程徹底シタル確カナ金融關係ノ途ヲ開イテ置カナケレバ、空文ニ終ルト云フコトヲ私ハ憂慮致シマスカラ、ドウカ此ノ點ニ付キマシテ、確固タル金融ノ援助ノ途ニ付テノ御方策ヲ伺ヒタインノデゴザイマス

第二點ハ國有林ト本案トノ關係デゴザイマスガ、國有林ヲ伐採致シマス其ノ仕事ノヤリ方ハ、大藏省ガ歲入ノ豫算ヲ立テマスル時ニ、或ル金額ヲ歲入ノ方ニ見積ツテアルノデス、其ノ見積ツタ金額ニ合ハスヤウニ國有林ヲ伐採スル、ソレデスカラ若シ木材市場ノ値ガ非常ニ下落シ居ル時ニハ澤山ノ木材ヲ伐リ出スノデス、其ノ澤山ノ木材ヲ伐リ出ス爲ニ、今度民間ノ木材ノ市場ニ非常ニ影響ヲ與ヘマシテ、民間ノ方ノ木材ノ値ガ暴落致シマスガ、今度ハ民間ノ方デ資金ガ要ル時ニ、暴落シテモ已ムヲ得スカラ、ヤハリ金ガ要ルノデ、今度ハ又其ノ金ノ分量ダケ其ノ木材ヲ伐採スル、ソレデ國有林ノ方カラモ澤山ノ木材ガ市場ニ出ル、民間ノ方カラモ澤山ノ木材ガ市場ニ出ル、非常ニ木材ガ出テ來テ、今度ハ供給過剰ニナツテ、木材ノ市價ガ暴落ニ暴落ヲ重ネテ來ルヤウニナリマシテ、山林家ガ非常ニ困難ニ陥ル時ガアル、斯ウ云フ時ニハ國有林ハ伐採ヲ差控へテ、サウシテ民間林ノ木材市場ト云フモノノ價格ヲ維持スルヤウニ努メテ貰ハナケレバナラヌ、即チ木材需給ノ調節ノ位置ニ國有林ヲ置カナケレバナ

ラヌモノガ、今日デハ寧ロ是ト反対デ、大藏省ノ歳入ノ上ニ於ケル金額ヲ先ニ押ヘテアル、ソレデスカラ、ドウシテモ其ノ金額ニ合フヤウニ木材ヲ出サナケレバナラヌカラ、一タビ木材ノ需給關係ガ狂ツテ來マスト、今度ハ供給ノ方が非常ニ多ク出テ來マスカラ、段々暴落スル、暴落スレバソレダケ餘計木材ヲ伐テナケレバナラヌ、斯ウ云ニコトニナルノデ、此ノ間ニ國有林ハ木材需給調節ノ役目ト逆行スル結果ヲ來シテ居ル(拍手)ソレデ私ハ此ノ木材需給關係ヲ調節スルノ立場ニ國有林ヲ置クベキモノニアルト思フ、ソレニハドウスレバ宜イカト申シマスト、ヤハリ是ハ特別會計ニ立テマシテ、ソレノ方ニ國有林財產ノ關係ダケ移ス、而シテ木材需給調節ノ役目ヲセシメル、之ヲ以テ我國木材ノ需給關係ガ一元的統制ガ出來ルノデス、左様ニナサル御考ガナイカ、之ヲ御尋申上げタインガ第一點デゴザイマス

私ノ質問ハ以上ノ三點デゴザイマスガ、改メテ茲ニ其ノ三點ノ要旨ヲ申上げテ置キマス、第一點ハ、施業案ヲ實行スルニ當リマシテ、金融ノ途ヲ開クニアラザレバ、此ノ施業案ヲ實行スルニ當ツテ非常ナ困難ニ遭遇スルト思ヒマスカラ、森林組合ノ聯合會ヲ通じテ、政府ハ相當ナル資金的救濟援助ヲナサル御意思アリヤ否ヤ、第二點ハ國有林ノ伐採ハ民間ノ木材需給調節ノ役目ヲセシムベキ目的ノ爲ニ特別會計ヲ設立スルノ意思ナキヤ、第三點ハ、日滿支ヲ通ジタル木材需給ノ一元的統制ノ必要アリト思フ、此ノ方策如何、此ノ三點デゴザイマス、何卒大臣ノ御答辯ヲ煩ハス次第デゴザイマス（拍手）

○國務大臣櫻内幸雄君登壇

ニ對シテ御答辯申上ゲマス、松尾君ノ御質問ニ當ツテ居ル第一點ハ、此ノ施業案ヲ實行スルニ當ツテ、森林所有主ガ金融上非常ニ困リハシナイカ、之ニ對スル對策ガアルカナイカ、斯ウ云フ御質疑デアツタカノヤウデアリマス、森林ニ對スル所ノ金融ニ付キマシテハ、從來非常ニ不便デアリマシテ、此ノ金融ヲ緩和致シタイ見地カラ、曩ニ森林火災保険ノヤウナモノヲ設ケマシテ、是ガ金融ノ便ヲ圖リタイト考ヘテ居ツタヤウナ譯デアリマスガ、此ノ度ノ施業案ハ御承知ノ如ク治山治水ノ大問題ヲ解決スルガ爲ニ、又將來永續的ニ森林増殖ヲ圖ルガ爲ニ之ヲ計畫致シタモノデアリマスガ、其ノ所有者ガ施業ヲ致スニ當リマシテハ、小サナ山林ノ所有主ハ、勢ヒ森林組合ヲ拵施スルニ當リマシテモ、間伐ニ對シテ補助ヲ與ヘ、又植林ニ對シテ補助ヲ與ヘ、之ヲ運搬スル林道ニ對シテ補助ヲ與ヘル規定ニシテ政府ガ補助致スノミナラズ、愈々之ヲ實施スルニ當リマシテ、比較的容易ニナツテ居ルノデアリマシテ、

施業ガ實行サレルコトニナツテ居ルノデアリマス、唯個人々々ノ之ヲ所有シテ居ル者ガ賣買致ス上ニ於テ、不便ハナイカト云フ御懸念モアルデアリマセウガ、是ハ自由ニ其ノ持分ヲ賣買スルコトヲ許シテアルノデアリマシテ、寧ロ組合ガ之ヲ監督シテ居ル關係上カラ、之ヲ擔保トシテ取ツタ者ハ安心シテ金ヲ貸スコトガ出來ルヤウナ結果トナルノデアリマス、唯平素日々伐採ヲ致シテ、之ヲ生活ノ資金ニシテ居ル人々ハ、非常ニ困ラレルダラウト思ヒマシタノデ、之ニ對シテハ除外例ヲ設ケタヤウナ譯ニアルノデアリマス、併シ此ノ森林ニ對スル所ノ金融ニ付キマシテハ、是ハ餘程大問題デアリマスガ故ニ、先刻御話ノ如ク、森林中央組合金庫ノ如キモノヲ設ケルト云フ風ナ御意見モ、私共ハ洵ニ傾聽致スノデアリマス、併シナガラ此ノ施業案ガ發達ヲ致シテ、餘程多數ノ施業組合ガ出來マシタ後ニ於テハ、斯ウ云フコトモ出來ルデアラウト思ヒマシテ、銳意其ノ金融ノ途ヲ講ジタイトノデアリマス、併シ此ノ金融問題ニ對シマシテハ、政府ニ於テハ金融改善研究會ヲ設ケマシテ、銳意其ノ金融ノ途ヲ講ジタイト云フコトヲ研究致シテ居ルヤウナ譯デアリマス

分注意ヲ致シテ居ル積リデアリマス、特別會計ヲ設ケルコトニ付キマシテハ、是ハ私共十分今後研究致シマシテ、其ノ研究ノ結果ニ依ツテ之ヲ決定致シタイト思ヒマス
第三點ノ日満支三國ノ關係デアリマスガ、是ハ御承知ノ如ク満洲ハ殆ド統制ヲサレテ居リマス、而シテ日満ノ間ニ於テハ緊密ナル連絡ヲ取ツテ、日満ノ間ニ於テ何等齟齬或ハ意思ノ疏通ヲ缺クコトノナイヤウニ十分ニ注意ヲ致ス考デ居リマス(拍手)
〔小林三郎君決算委員ノ方ニ申上ダマス、只今カラ決算委員會ヲ開キマスカ
ラ御參集ヲ願ヒマス〕
○松尾四郎君 議長
○議長(小山松壽君) 松尾君、何カ御發言
許ヲ願ヒマス
○松尾四郎君 簡單デスカラ此ノ席カラ御
デスカ
○議長(小山松壽君) 宜シウゴザイマス
○松尾四郎君 只今大臣ノ御答辯ニ對シマ
シテ満足致シ兼ネル點ガアリマスガ、是ハ
他ノ機會ニ於テ更ニ御尋致シタイト思ヒマ
ス、私ノ質問ハ是デ終リマス
○議長(小山松壽君) 馬岡次郎君
〔馬岡次郎君登壇〕
○馬岡次郎君 只今上程サレマシタ森林法
ノ改正法律案及ビ林業種苗法案、之ニ對シ
マシテ、又之ニ關聯致シマシテ私ハ六箇ノ
質問ヲ持ツ者デアリマス、今其ノ中二點ハ
松尾君ガ御尋下サイマシタ、然ルニ不幸ニ
シテ私ガ御尋シヨウト思フ要點ニ付テ農林
大臣ノ御答辯ハ觸レナカツタノデ、暫ク重
複スルカモ分リマセヌガ、其ノ點ヲ重不テ
御尋致シタイト思ヒマス、御答ヲ願ヒマス
便宜上、時間モ許サレマセヌカラ、先ヅ第
一一要點ダケヲ申上ダマス
第一、森林法ノ改正ニ、多年ノ懸案デア
ツク第三章ノ保安林及ビ第四章ノ土地使用
及ビ收用ガ何故ニ改正サレナカツタカ、之

ヲ御尋致シタイト思ヒマス、第一、森林法ノ第二章及ビ第五章ノ改正ニ依ツテ、之ニ必然的ニ併行ヲスベキ獨立ノ金融機關ガ缺ケテ居リハセナイカ、又是ガ缺ケテ居ルガ缺爲ニ現行ノ產業組合ト相剋摩擦ガ起リハセナイカ、此ノ點ヲ御尋致シタイト思ヒマス、其ノ次ニ第二章ノ改正ニアル營林ノ監督デアリマスガ、營林ノ監督ハ指導デナケレバナラナイト思フノデアリマス、然ルニ相變ラズ監督ノ文字ヲ御使ヒニナツテ居ルノデアリマス、此ノ點ニ付テ指導ノ御意思ガ十分ニオアリニナツテ居ルカ、此ノ點ヲ御尋致シタインデアリマス、第四ニ、今回ノ改正ハ我國ノ現下新情勢カラ考ヘテ見マスルト、木材ノ保續ニ眼目ヲ置カレテ居ルカノヤウニ見受ケルノデアリマス、然ルニ此ノ木材ノ保續ニハ需給調節ノ調查機關ガ併行シナケレバ、此ノ完全ナル目的ヲ達シ得ラレナイト信ズル者デアリマス、此ノ設備ガアリヤ否ヤ、之ヲ御尋シタインデアリマス、第五ニハ、先程松尾君ノ御尋ニナリマシタ國營林業ノ收支ガ特別會計ニ置カレテ居ナイ爲ニ民間作業ヲ壓迫スル、此ノ重壓ヲ遁レル爲ニ特別會計ノ必要ヲ認メル者デアリマス、之ニ對スル御所見ヲ重ネテ伺ヒタインデアリマス、第六ハ新ニ創定セラレマシタ林業種苗法案ヲ拜見致シマスルト、現在ノ母樹ノミニ重キヲ置カレマンテ、將來ノ母樹其ノモノニ對スル御考ヲ御忘レニナツテ居ルカノヤウニ考ヘルノデアリマス、此ノ點ヲ承リタインデアリマス、以上六點ニ付キマシテ聊カ私ノ疑問ト致シマスル要點ヲ申上ガマシテ、簡明ナル御説明ヲ願ヒタイト思フ者デアリマス。

タ、時代ノ進運ニ副ハナイ爲ニ、是カラ受ケル重壓ノ下ニ當業者ハ保護獎勵ノ途ヲ得ラレナイコトヲ歎イテ居ツタモノデアリマス、然ルニ今度幸ニシテ此ノ改正法律案方出タ、如何ナル結果ニナツタカ、如何ナル改正ヲサレルカト、吾々ハ大ナル期待ヲ持ツテ見テ居ツタノデアリマスガ、蓋ヲ開ケテ見ルト開ケテビツクリ玉手箱、肝腎ナ要點ガ皆忘レラレテ、却テ施業ガ難カシクナツタカノヤウニ考ヘラレルノデアリマス、殊ニ第二章ノ營林監督ニ於テ、私有林ニ對シテ強制的施業案ノ作成ヲ命ゼラレテ居マス、是ガ爲ニ森林組合ノ改組モ出來テ居リマス、併シ此ノ森林組合モ七項カラ成ツテ居ルモノヲ二種ノ森林組合ニ改組サレシア、共同施業組合ト調整施業組合トニ區別サレテ居ルカノヤウニ見受ケルノデアリマス、此ノ治山治水ノ大目的ヲ達シマスル爲ニハ、是等ノ二點ノミデハ到底出來得ナイモノデアリマス、改正案ニ於テハモウ少し寛ニスベキモノハ寛ニシ、嚴ニスベキモノハ嚴ニシタ御改正ヲ願ヒタイト思フト同時ニ、其ノ取扱手續ヲ一定ニシテ貰ハナイト、事實はガ取締ヲ受ケル者ガ困ルノデアリマス、是ハ條章ニ涉ツテ一々事例ヲ擧ゲテ御尋申上ダトイト存ジマスガ、時間が許シマセヌカラ他ノ機會ニ譲ルト致シマシテ、眞ノ事情ヲ簡單ニ申上ダマスト、或ル地方ノ如キハ一町村内ノ一部落ノ中央ヲ流レル川ヲ界トサレテ、土砂扦止ノ名ノ下ニ内務省ノ取締ヲ受ケルモノト、荒廢地復舊ノ名ノ下ニ農林省ノ取締ヲ受ケルモノトガアルノリマス、是等ハ此ノ際御改正アツテ然ルベデアリマス、是等ヲ事實處理ヲ致シマス上ニ於テ、實ニ困ル者ハ其ノ土地所有者デアリマス、取扱ガ煩雜ニナル爲ニ困ルノデアリマス、是等ハ此ノ際御改正アツテ然ルベキモノト考ヘテ居ツタノデアリマス、然ルニ是等ニハ一指モ染メテ居ラレナイカノヤニ見受ケラレルノデアリマス、地方民

第二章ノ改正デ施業案ノ手續ガ煩瑣ニナルト
ト同時ニ、是等ノ不便モ改正セラレナイト
スルナラバ、益々不便ヲ受ケルノデハナイカ、
此ノ心配ノアル點ヲ何故御改正ニナラナカ
ツタカ、唯一時のニ糊塗スル爲カ、戰時情
勢ノ爲ニ必要ノ木材ヲ御考ヘニナツテ此ノ
改正フサレタノカ、此ノ點ヲ御伺シタイノ
デアリマス、併シ森林ハ一年生植物デハナ
イノデアリマス、數十年ヲ經過セナケレバ
其ノ結果ヲ見ラレナイモノデアリマス、戰
時體制ノ名ノ下ニ一時ヲ糊塗スル改正デハ、
吾々ハ満足出來ナイモノト信ズルガ故ニ御
尋ヲスルモノデアリマス

第二ニ御伺致シタイノハ、先程松尾君ガ
非常ニ御心配サレマシタ金融ノ問題デアリ
マス、私モ同一ノ心配ヲスル者デアリマス、
殊ニ今回ハ組合強化經濟行爲達成上、一口
三十圓出資ノ組合ヲ御認メニナリ、サウシテ
テ追補金額三十圓デ現行ノ産業組合ト殆ド
變ラナイモノヲ御作リニナルノデアリマ
ス、然ル所現今ノ山村ノ金融機關ノ缺如シテ
居ル理由ハ、産業組合ノ發達ニモ及ボシテ
來マスレバ、森林組合ノ發達ニモ影響スル
セウカ、農林省當局ニ於カレテハ、現行ノ
漁業組合ト産業組合トノ相剋摩擦ニ付テモ
十分御承知ノ筈デアリマス、其ノ上ニ又茲
ニ同事業異種名ノ組合ヲ御獎勵ニナルト致
シマスルナラバ、其ノ結果ガ如何ニナルカ
ト云フコトハ火ヲ踏ルヨリ明デアリマス、
詳シイ事例ヲ擧ゲテ私ハ御尋ラ致シタイノ
デアリマスガ、時間ガ許サレマセヌ爲ニ、
唯要點ダケヲ申上げマシテ、當局ニ是ガ圓
滿ニ遂行出來得ルト御考デアルカ否ヤ、之
ヲ御尋致シタイノデアリマス、同時ニ先程
ノ大臣ノ御答辯ニ依リマスト、金融機關ガ

機關ガナカツタ爲ニ發達セナカツタモノ
ガ、尙ホ此ノ機關ヲ忘レラレテ居ツテハ發
達セナイ、結局有名無實ノ組合ガニツ起ツ
テ、共ニ睡眠狀態ノ組合ニ陥ツテシマフコ
トハ、現在ガ證明シテ居ルノデアリマス、
一日モ早ク此ノ機關ヲ御作リ願ハナケレ
バ、山村ノ產業組合ニセヨ又森林組合ニセ
ヨ、圓滿ナル所期ノ目的ハ達セラレナイン
デアリマス、重ネテ此ノ點ニ付テ御尋致シ
タイノデアリマス

次ニ御臺致シタインハ、今度ノ改正ノ營
林監督デアリマス、現在ノ法律デハ、社寺
有林若クハ公有林ニ施業案ノ方法ヲ施行ス
ル命令が出テ居ルノデアリマス、之ヲ今度
ハ私有林ニマデ及ボサレタノデアリマス、
殊ニ私有林ニ關スル施行方法ハ、各人ノ地
方的ノ事情ニ依ツテ、ソレヲ申請スレバ認
可サレルカノヤウニ見エテ居リマス、併シ
此ノ施行案ハ机ノ上デ作ルモノ、デアリマ
ス、土地ハ地力ニ依ツテ成長モスレバ發達
モスルモノデアリマスカラ、茲ニ人爲的ノ
施業案ヲ作リマスナラバ、豫定ノ如ク出來
上ラナイノデアリマス、間伐スベキ時期ニ
雜草ノ下刈モシナケレバナラナイ、斯ウ云
フヤウナ結果ニ陥ル爲ニ、今マデ公有林ノ
施業案モ比較的不便デアツテ困ツテ居ツタ
ノデアリマス、之ニハ餘程優秀ナル技術ヲ
有スル指導者ト技術者ガナケレバナラナイ
ノデアリマス、是ガ缺如シテ居ツテハ到底
此ノ目的ハ達セラレナイト私ハ信ズルノデ
アリマス、然ルニ今マデ施行サレマシタ
施業案ノ御方針ナリ、御指導ナリヲ拜見致
シマスト、不幸ニ致シマシテ折角御指導ニ
ナリマシタ施業案ガ、所期ノ目的ト反対ノ
結果ヲ來シテ、眞偽モ分ラナイニ勝手ナ
計畫ヲ立テク爲ニ困ツテ居ル官有林モ澤山
アリマス、又公有林モ澤山アリマス、其ノ
技術者ハ如何ニシテ御養成ニナル御見込テ

例ヘバ新聞紙ニ於キマシテハ年産八九十万
噸「ス・ブ」原料ヲ加ヘマスレバ百七十萬噸ヘ
リマス、木材需要へ人絹「バルブ」、製紙原料、
柱、枕木、其ノ他ニ特別ニ必要ナル所ノ
モノヲ合算シ、更ニ之ニ内地及ビ外地ノ鑛
山用ノ坑木ノ材積ヲ合算致シマスルナラバ、
數倍ノ額ニ相成ルノデアリマス、是等ノ點
ニ想到致シマスルトキニ於テ、實ニ森林資
源ノ重要性ハ、他ノ有ユル産業ノ根本トシ
テ、又最近新ニ其ノ重要性ノ高マリ來ツタ
コトト相合シテ、正ニ他ノ産業ニ冠絶スル
モノデアルト確信ヲ致ス者デゴザイマス、
(拍手)以上ハ統計的數量的ノ事實ニ過ギナ
イノデゴザイマスルガ、之ヲ深ク森林業ノ
本質ニ鑑ミマスルトキニ於テ、即チ森林ハ
豊富ナル電力ノ源トナリマス、或ハ又治山
治水ノ根柢ト相成ル意味ニ於キマシテハ、
國土保全ノ上ニ貢獻シ、又國土ノ美化モ之
ニ依ツテ大成ヲセラレルノデゴザイマス、
而シテ鬱蒼タル森林地帶ニ於キマシテコゾ、
眞ノ日本精神ガ芽生ヘ暢育致スノデアリマ
ス、國土ニ森林ノ繁茂セザル場合ニハ、必
ズ民族精神ハ衰亡致シテ居ルコトハ、歴史
ノ證明スル所デアリマス、又翠綠滴ル所
ニ正氣が集マルノデゴザイマス、洵ニ森林
業ノ發達ハ、統計的數量的ノ生產ヲ標的ト
スル他ノ產業ニ冠絶シ、即チ無形的、形而
上の、文化的意味ニ於テ現代ニ重要ナル使
命ヲ擔當スルモノデアリマス、今ヤ森林政
策ハ此ノ時代の最重要性ニ立脚ヲ致シマシ
テ、益々之ヲ擴充シ、其ノ徹底ヲ期セヌベナ
ラヌコトニ相成ツテ來タノデゴザイマス、
農業ト並立シテ國政ノ根本デアリ、所謂國

ノ本デナクテハナラヌト考ヘルノデアリマスカラ、農林大臣トセラレテハ、此ノ時代的色彩、時代的要求ヲ達觀セラレテ、特ニ此ノ方面ニ力ヲ用ヒラニ、今マデハ政治ノ片隅ニ片付ケラレテアツタ此ノ林業ノ問題ヲ、政治ノ中心ニ持ツテ參リマシテ、サウシテ我國ノ大半ヲ占メテ居ル森林國土ノ開發ニ向ツテ、十分ナル御努力ヲ願ヒタイト思フノデゴザイマスガ、大臣ノ之ニ對スル御所見ハ如何デアリマスカ、先づ第一ニ答辯ヲ求メタイノデアリマス

近時人造絹絲原料、製紙原料等ノ要求、其ノ他只今マデ申上ダマシタヤウナ林材ノ需要ガ、非常ナ勢ヲ以テ増大シ來ツタ關係上、林業ノ性質ニ非常ナル變化ヲ來シマシタ、即チ農業ト併行シテ高度化セントシ、集約的ニ資本労力ヲ加へナケレバナラヌ傾向ヲ認メルノデアリマス、諸君、此林業ガ農業ト併行シ、林業ガ田畠ノ栽培ト相似タルガ如キ發展過程ヲ辿リツツアルコトニ想到致シマスル時ニ於テ、何ヲ措イテモ大切ナルハ、林地利用ノ根本ニ徹シタル所ノ交通運輸機關ノ完成デアリ、林道鐵道等ノ敷設デアリマス、先づ速ニ林道ヲ十分ニ敷設シナケレバナリマセヌガ、現ニ調査セラレタ所ニ依リマスト、林道ノ開設ヲ要スル最小限度ノ面積ハ二百三十三万町歩デアリマシテ、之ニ敷設スペキ林道ノ總延長ハ千三百万米、此ノ經費一億四千万圓ト註セラレテ居ルノデアリマス、而シテ少クトモ國家ハ五千四百万圓程度ノ補助ヲ致サナクテハナラヌト云フコトニ相成ル次第デゴザイマス、然ルニ此ノ森林法ノ改正ニ於キマシテ森林組合ヲ組織シ、其ノ經濟組織ヲ此ノ中ニ取入れテ、是等林道其ノ他ノ森林施設ヲ行ハシメルト云フヤウニ計畫セラレテ居ルノデゴザイマスガ、此森林法改正ノ本義ニ考ヘテ見マシテモ、特ニ此ノ林道ノ敷設ヲ促進スル爲ニ、相當ノ補助ヲ致サナクテハナラヌト

考ヘル次第デゴザイマス、農林大臣ハ森林組合ノ經濟的活動ノ眞義ニ徹シタル補助政策トシテハ現在甚ダ遺憾デアル、之ニ付テ御確信ガアルノデアルカ
更ニ又是ハ鐵道省ニ關係スルコトデアリマセウケレドモ、農林大臣トシテノ確信ヲ伺ヒタク、由來我國ノ鐵道敷設ハ、其ノ實施ノ跡ヲ見ルニ、大抵山脈ヲ直角ニ詰リ山脈ヲ横斷シテ敷設セラレテ居ルノデアリマス、然ルニ最近鑛產資源ノ開發ト云ヒ、森林資源ノ開發ト云ヒ、成ベク廣範要ガアル立場ヨリ、鐵道ハ山脈ニ並行シテ走ラセル必要ガアルノデアリマス、サウシテ既設ノ橫斷線ト相合セマシテ、茲ニ鐵道網ニ亘ツチ效果的ニ交通運輸ノ途ヲ開ク必要ガアル立場ヨリ、鐵道ハ山脈ニ並行シテシムルコトガ必要デハナイカト思フノデアリマス、今後我國ニ於テ敷設スベキ鐵道ノ完成ヲ致シ、森林資源ノ運輸開發ト云フコトニ付テ、鐵道ノ劃期的能率ヲ發揮セシムルコトガ必要デアリマス、サウシテ縱走スル所ノ鐵道敷設ヲ促進スル必要アルト思フ、殊ニ農林政策ノ上ニ其ノ切實ヲ感ズル次第デアリマス、農林大臣ハ之ニ對シテ如何ナル見解ヲ持タレルノデアルカ
次ニ森林金庫ノ問題ニ付テ前一人ノ方々カラ御質問ガアツタニ對シテ、農林大臣ハ相當研究ヲ續ケル積リデアルト云フ御答デアリマシタケレドモ、今ヤ我國ノ森林資源開發、殊ニ森林法改正ニ伴フ所ノ森林組合ノ活動ヲ思フ時ニ於テ、唯研究ニ名ヲ藉ツテ荏苒日ヲ過スコトヲ許サナイノデアリマス、速ニ是ハ決行シナクテハナラヌ、彼ノ獨逸ガ土地ト云フ特別ナル經濟的性質ヲ有スルモノニ對シテノ金融機關トシテ、農地金庫タル農地銀行ナルモノヲ設ケテ、相當ニ成績ヲ擧ゲタノデゴザイマスルガ、此ノ森林經營ノ如キ資本ヲ固定セシムル性質ヲ有スルモノ、殊ニ我國山村ノ如ク經濟

的ニ頗ル逼迫シテ居ル地帶ニ於テ、森林法ヲ活用スルコトヲ考へル時ニ於キマシテ、速ニ此ノ森林組合ノ活動ニ必要ナル資金ヲ中央ヨリ注入スル爲ニ、恰モ彼ノ産業組合ニ對スル産業組合中央金庫ノ如キ職能ヲ發揮スルモノヲ設ケルノ急ナルコトヲ痛感スル者デゴザイマス(拍手)例ヘバ森林金庫ヲ速ニ作り、之ヲ十分ニ充實致シマシテ、其ノ靈能ヲ發揮シテ、森林組合ノ經濟組織ノ完成及ビ是ガ經濟的活動ヲ可能ナラシムルコトガ緊要事ナリト思フノデアリマス、農林大臣ハ直ニ此ノ金庫確立ノ手續ニ邁進サレントヲ切望ニ堪ヘナイ者デアリマスガ、之ニ對シ更ニ價格及び需給ノ調整ヲ木材ニ對シテ行ハナケレバナラヌコトハ、前質問者カラベキ地位ニ立ツ政府ガ直接ニ經營セラレテ居ルモノデアリマス故ニ、國有林ノ經營、國有林ノ伐採、國有林ノ利用ト云フ點ニ於キマシテハ、飽クマデ山村民ヲ育ミ、森業當事者、中小木材業者ヲ育ンデ行クト云フ態度ヲ執ラナケレバナラヌノデゴザイマス、然ルニ最近木材界ノ情勢ヲ通觀致シマスルニ、寧口此ノ木材業者ノ愛護、森林業者ノ愛護ノ地位ニ立ツベキ森林行政當局ノ間ニ於テ、木材價格ヲ奔騰セシムルガ如キ嫌ヒノアルコトヲ私ハ認メザルヲ得ナイノデアリマス、諸君、此ノ問題ニ付テハ特ニオ互ニ研究調査致シマスルシ、農林當局トシテモ十分ナル調査トは正ラシテ戴カナケレバイケナイ次第デアリマス、是レ以上私ハ踏込ンデ免ヤ角議論セントスル者デハゴザイマセヌケレドモ、特ニ私ハ此ノ木材價格及び需供給ノ調整ニ付テ國家ガ特別會計制度ヲ設ケ、民間ノ森林當業者及び中小木材當業者ヲ十分ニ育テ行クト云フ見地ニ立ツテ、

伐採ヲ加減シ、需給調整價格ノ調整ヲ圖リ行クノ見地ニ立テル良政治ヲハレンコトヲ切望シテ已マナインデアリマス、此ノ意味ニ於テ私ハ農林大臣ニ特別會計制度ヲ直チニ設定スルコト、及ビ國有林ノ經營、國有林ノ拂下等ニ於テハ、飽クマデ山村ノ民衆、中小木材業者ヲ愛護スルノ態度ニ出デルノ覺悟ガアルカ、又之ニ對スル所見ノ發表ヲ望ム次第アリマス

造林ノ本質ヲ經濟的ニ眺メテ見マスルニ、植エタル樹木ハ三十年、五十年、百年ノ後ニ初メテ回収サレルノデアル、是程資金ノ固定スルモノハナインデアリマス、而モ關東地方ノ森林地帶ニ於テ杉一町歩ノ造林費ガ實ニ百二三十圓、松林ニ於テモ百圓程度ヲ要シテ居ルノデゴザイマス、就中杉ニ於テ九十圓ノ苗木代ヲ要シ、松ノソレハ七十圓ヲ要シテ居ルノデゴザイマス、故ニ先程農林大臣ノ御發表ニナリマシタ如ク、造林業者ニ對シテ十分ナル補助ヲサレル必要ガゴザイマスルケレドモ、今日山村ノ民衆ガ食フヤ食ハズシノ饑渴ノ状態ニ於テ、尙ホ林木ヲ我子ノ如ク愛護シテ居ル所ノ其ノ熱意ニ對シマシテモ、國家ハ彼等ガ容易ニ植林ヲ爲シ得ルヤウニ十分補助スル必要ガアルト考ヘマス（拍手）然ラバ如何程補助スペキヤ、私ハ概括的ニ見テ、少クトモ苗木代ハ全額之ヲ國家ニ於テ負擔スペシト云フコトヲ主張致シグアイノデゴザイマス、殊ニ此ノ際農相ニ御尋致シタイコトハ、斯ル困難ナル植林事業ナルガ故ニ、寧ロ民間ヲシテ造林會社ヲ設立センシメテ、國家モ強力ニ之ニ參画シマシテ、茲ニ自發的ニ植林ヲ行フト云フコトニサセテハ如何ナモノデアルカ、之ニ對スル農林大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイノデアリマス、今日森林地帶ニ住ム農民ハ、實ニ食フヤ食ハズノ窮況ニ於テモ、尙ホ祖先墳墓ノ地ヲ離レルコトガ出来ナイノデアリマス、斯クシテ幾千百年ノ

間父祖傳來ノ山ヲ護り、父祖傳來ノ樹木ヲ
ノ實情デアリ、又山村民ノ生活デアルノデア
リマス、又一面ヨリ眺メマスルニ、山村ニ
生ラ享ケタル者ハ、山村、山地ノ資源ヲ開
發シテ、サウシテ國家ニ奉仕シテ居ルノデア
リマス、是レ天ノ使命デアリ、國民トシ
テノ責務デアルトシテ、彼等ハ日夕此ノ事
ニ從ツテ居ルノデゴザイマス、然ルニ今日
山村民ハ果シテ幾何ノ山地所有ノ恩典ニ浴
シテ居ルノデアルカ、甚シキヘ祖先傳來植林
シタルモノヲ人手ニ渡シテ、全ク日傭稼ヲ
シテ居ル者ガ多イノデゴザイマス、私ハ山
村民ヲシテ先づ喜んデ其ノ山村ニ愛著セシ
メナケレバナラヌト思フ、此ノ見地ニ立チ
テ考察スル時ニ於テ、農林省トシテハ或ル
程度現在國有林ヲ民間ニ拂下ゲ、或ハ農村、
或ハ府縣ノ自治體ニ對シテ是ガ利用經營ヲ
爲サシメルト云フガ如ク、現在ノ法令、又
ハ現在ノ法令ヲ超越シテ新シキ制度ヲ設ケ
テデモヤラナクテハナラヌモノデアルト確
信致シマス、然ルニ之ニ反対スル者ハ曰ク、
若シ之ヲ民間ニ委ネル時ニハ、直ニヒ山ハ
荒廢スルデアラウト言フノデアリマス、併
シナガラ政府ハ現ニ森林法ノ改正ヲ爲シ、
之ニ依ツテ濫伐ヲ止メ、理想的施業案ノ實
行ヲ企畫シ得ルモノト斷言シ、施業監督上
最モ效能アリトシテ、本改正法案ヲ提出致
シテ居リマスル以上ハ、私ハ政府トシテハ
本法案通過セバ何等憂フル所ハナイト思フ
ノデアリマス、須ク全國各地ニ散在スル所
ノ國有林中、民間ニ拂下ゲ、民間ニ經營セ
シメ、民間ニ利用セシメ、民間ニ耕作セシ
メテ可ナル箇所ニ向ツテハ、斷乎然ルベキ
途ヲ現在以上ニ開カルル必要ガアルト思フ、
農林大臣ノ御所見ハ如何デアルカ(拍手)
諸君、政治上ニ於テ林業ホド輕ゼラレタ
モノハアリマセヌ、全ク物置ノ隅ニ塵芥ト
共ニ堆積セラレタノガ林業政治ノ姿テアリ

マス、過去ノ林業政治デアリマス、其ノ實證トシテ森林當業者ニ對スル所ノ租稅制度ヲ檢討致シテ見マセウ、諸君、森林稅制ノ中ニ於テ北海道ニ其ノ端ヲ發シタ反別稅ナルモノガアルノデアリマス、是ハ不在地主ニ課シタモノデアリマスケレドモ、イツトハナシニ是ガ内地ニ傳播シテ、幾百ノ町村ニ實施セラレ、全ク荊棘ノ生エルニ任シタ如キ荒レ山モ、之ニ數千百倍ノ價值アル大美林モ、共ニ同一ノ取扱ニ於テ高キ租稅ヲ課セラレテ居ルノデアリマス、殊ニ此ノ外立木伐採稅、流木稅、筏稅ト云フガ如キ府縣稅ヲ課スルモノガ相當ニ多イノデアル、町村稅ト致シマシテハ、是等ノ府縣稅ノ附加稅ノ外ニ、又獨立セル筏稅、反別稅、移出稅、伐採稅、流木稅、斯ウ云フヤウナモノガ次カラ次ト重課セラレテ居ルノデアリマス、而モ是ガ幾十年來何等ノ整理、統制、輕減ヲ加ヘラルルコトナク今日ニ及ンデ居ルノデアリマス、斯ノ如ク此ノ貧弱ナル山村ヲ犠牲ニ致シマシテ、而シテ斯クモ不合理ナル、斯クモ過重ナル所ノ搾取的課稅ヲ致シテ居ルト云フコドハ、寸刻モ許スベカラザルコトト存ズルノデゴザイマス、私ハ先づ全國六百万戸ノ農民ノ休戚ヲ雙肩ニ擔ハレテ居ル農相ガ、斯ル不合理ナル稅制改廢ニ向ツテ力ヲ加ヘラレテ、大藏當局ノ反省ヲ促シ、又内閣諸公ヲ動カサレテ、速ニ此ノ不合理ヲ一掃シ、一貫統制セル下ニ合理的ナル課稅ヲセラレンコトヲ切望シテ已マナインゴザイマス(拍手)農林大臣ハ本問題ニ對シテ如何ナル御見解ト、又如何ナル決心ヲ有セラレルノデアルカ

實ナルモノヲ感ズルノデアリマス、然ルニ
之ニ付テハ機構ノ上ニ於テ不合理ガアル、
法律ノ上ニ於テ不合理ガアル、先づ機構ノ
上ニ於テハ、群馬縣下ノ某地方ニ於キマシ
テハ、僅々二百間ノ距離ニ於テ、上ノ端ハ
農林省、中程ハ内務省、更ニ其ノ次ハ農林省
省ト、斯ウ云フ如クニ砂防ト治水ノ仕事ガ
分レテ居ルノデアリマス、全く有機的統一
ヲ缺イテ居ルト云フ事實ガアル、是ガ全國
ニ點々アルノデゴザイマス、又申スマデモ
ナク保安林ガ農林省ノ所管ニ屬シ、サウシ
テ砂防上重要ナル地點ハ、一筆々々ノ保安
林ノ農林省ガ指定ヲ致シテ居ルノデゴザイ
マス、然ルニ内務省ノ砂防法ニ於キマシテ
ハ字ヲ單位トスル、詰リ農林省ノ指定シテ
アル保安林以外ノ必要ノナイ部分ニマデ更
ニ網ヲ被セテ、砂防法ヲ適用シテ居ルノデ
アリマス、法律的ニ斯ル不合理ガアリ、制
度的ニ斯ル重複ガアル、是ガ此ノ重要ナル
治山治水ノ問題ヲ妨ゲルコト甚シノデアリ
リマス、殊ニ從來我國ノ治水ハ常ニ川ノ末
流ノ堤防修築ニ汲々ト致シテ居リマシテ、上
ノ水源——山嶽ノ補正、森林ノ撫育ト云フ
コトニ頭ヲ置イテ居ナカツタ嫌ヒガアルノ
デアリマス(拍手)須ク今後ハ山ノ高キニ登
ツテ末流ヲ眺メテ、而シテ其ノ河川ニ於ケ
ル缺陷ヲ指摘シ、之ニ對スル本塞源ノ策
ヲ立テルコトガ、國家政策ノ上ニ最モ喫緊
ナコトデハナイカト考ヘルノデゴザイマス
(拍手)是等ノ點ニ於キマシテ、農林大臣ハ
徒ニ内務其ノ他ノ當局トノ關係ヲ口實トシ
テ回避スルコトナク、須ク關係各大臣ヲ動
カサレマシテ、茲ニ統制セル法律ト、統制
セル機構ノ下ニ、此ノ懸案タル治水治山ノ
問題ヲ速ニ解決セラレンコトヲ希望スルノ
デゴザイマス、之ニ付テ如何ナル抱負ヲ持
ツテ居ラルルノデアルカ、又如何ナル決心
ヲ以テ臨マルルノデアルカ、御明答ヲ願ヒ

最後ニ私ハ森林行政ノ統一問題ニ付テ質問ヲ致シタイト思ヒマス、此ノ問題ガ解決セラレナカツタナラバ、折角ソ森林法改正モ真ニ其ノ目的ヲ發揮スルコトガ出来ナイト思フカラデアルノデアリマス、諸君、今日森林ガ有ユル産業ノ根源ヲ成シ、有形無形ニ我ガ國本ヲ擔ウテ居ルト云フ事實ヲ眺メル時ニ於キマシテ、森林政治ノ敢行ニ付キマシテハ、須ク我國版圖ノ全部ヲ網羅シテ、有機的ニ一體ヲ成シタル所ノ一貫セル政策ニ依ツテ、森林行政ガ運營セラレナケレバナラヌト思フノデゴザイマス、然ルニ今日ノ實情ヲ見ルナラバ、或ハ樺太、或ハ朝鮮、或ハ臺灣、南洋、乃至北海道ト、ソレム、特別ノ機關ニ任セラレマシテ、農林省ハ僅ニ内地ノ大部分ヲ管轄致シテ居ルニ過ギナインデゴザイマス、ソコデ私ハ此ノ際國家ノ大局ヨリ眺メテ、先づ第一ニ國土ノ中ニ於テ、ドウシテモ或ル程度ハ之ヲ認メナケレバナラナイト云フ特異性ヲバ、或ル地方ニ向ツテハ認メツ、出來ル限り速ニ抜本的ノ行政改革ヲ行ヒマシテ、サウシテ農林省ガ殆ド全部ノ國土ニ向ツテ、殆ド絶對ノ行政權ヲ獲得スルヤウニ致サナケレバナラスト思ヒマス、是亦農林行政上ノ難事業トシテ今日マデ放置セラレテ居リマス、時局上林業ノ重要性ニ省ミテ眞ニ決心スル所アラバ容易ニ之ヲ爲シ遂ゲ得ルモノナリト確信スルノデゴザイマス、此ノ際速ニ本問題ノ調査ニ邁進シ、多年實現シ得ズ其ノ儘ニ放任セラレタル本問題アリマス(拍手)

(國務大臣櫻内幸雄君登壇)

○國務大臣櫻内幸雄君(登壇)

長野君ノ御質問

ニ對シテ答辯申上ダマス、第一ノ御尋ハ、從來森林行政方輕ンジラレタヤウナ形跡ガア

アリマス(拍手)

○國務大臣櫻内幸雄君(登壇)

長野君ノ御質問

ニ對シテ答辯申上ダマス、第一ノ御尋ハ、從

來森林行政方輕ンジラレタヤウナ形跡ガア

林業面積ハ道府縣ヲ合シテ二千四百十八万
餘町歩デ、我國國土ノ總面積ノ六割三分ニ
當ル大地積デ、是ガ利用厚生ノ如何ガ我國
產業ニ重大ナ關係ヲ及ボストハ勿論デア
リマス、現行法ハ施行以來既ニ三十餘年ヲ
閱シ、時代ノ進運ニ副ハザルモノガ多々生
ジテ參リマシテ、是ガ改訂ハ緊要デアリマ
スガ、茲ニ提出サレテ居リマス改正ノ主ナ
ル點ハ、營林監督ノ整理ト林業組合制度ノ
改正ニ止メ、時局下物動ノ對應資源充實ノ
爲ニ營林施業ノ機能ヲ發揮シ、時代ノ要求
ニ應ゼラレタノデアリマスガ、今少シク物
足ラス思ノ致シマスルノハ、第三章ノ保安
林監督ノ上ニ防災ト云フ意味ヲモット強ク
含マセテ、道路ノ改修ヤ、住宅ノ經營ヤ、河
川ノ改良ヤ、開墾等ノ工事ニ際シテ、特ニ
脆弱ナ地質ノ地方ニ對シテハ、土地臺帳ノ
名稱如何ニ拘ラズ、必要アルモノハ本法ノ
強制行使ガ出來得ルヤウニ改メル必要ハナ
イカト云フコトデアリマス、尤モ第百四條
ニ於キマシテ、第三十六條ニ「原野、山岳
其ノ他ノ土地ニシテ第十四條第一號乃至第
五號ノ場合ニ該當スルモノニ付本章ノ規定
ヲ準用スルコトヲ得」トアルノデ、此ノ條
章ニ依ツテ山林以外ノ土地ニ對シマシテモ
防災監督ガ出來得ルノデアリマスカ、又第
十四條第二十條ノ條章ハ、林地以外ノ災
害ヲ受ケ易イ傾斜地ニマデ及ボシ得ルノデ
アリマスカ、此ノ二點ニ付テ御尋ガ致ジタ
イノデアリマス、大臣ノ御答辯ヲ願ヒマス
尙ホ是ヘ先程ノ長野サント重複スルヤウ
ナ嫌ガアリマスガ、一寸立場ガ違ヒマスカ
ラ申上ゲマス、保安林ハ所有者ニ營林伐採
ノ自由ガ禁止サレテ居ルガ故ニ、是ハ國有
林ニ買上ゲル責任ガアリ、又保安林タルノ
效用ニ副ヒ得ルト思ヒマスガ故ニ、之ヲ買
上ゲナケレバナラスト思ヒマス、何故只今
マデ買上ゲノ方途ニ出ナカツタノデアリマ
スカ、御所感ガ承リタイノデアリマス

次ニ山ト灾害ニ付テ、山ハ災害ノ受難器
デアリマス、我國ハ世界中ニ一番ノ灾害國
當ル大地積デ、是ガ利用厚生ノ如何ガ我國
產業ニ重大ナ關係ヲ及ボストハ勿論デア
リマス、現行法ハ施行以來既ニ三十餘年ヲ
閱シ、時代ノ進運ニ副ハザルモノガ多々生
ジテ參リマシテ、是ガ改訂ハ緊要デアリマ
スガ、茲ニ提出サレテ居リマス改正ノ主ナ
ル點ハ、營林監督ノ整理ト林業組合制度ノ
改正ニ止メ、時局下物動ノ對應資源充實ノ
爲ニ營林施業ノ機能ヲ發揮シ、時代ノ要求
ニ應ゼラレタノデアリマスガ、今少シク物
足ラス思ノ致シマスルノハ、第三章ノ保安
林監督ノ上ニ防災ト云フ意味ヲモット強ク
含マセテ、道路ノ改修ヤ、住宅ノ經營ヤ、河
川ノ改良ヤ、開墾等ノ工事ニ際シテ、特ニ
脆弱ナ地質ノ地方ニ對シテハ、土地臺帳ノ
名稱如何ニ拘ラズ、必要アルモノハ本法ノ
強制行使ガ出來得ルヤウニ改メル必要ハナ
イカト云フコトデアリマス、尤モ第百四條
ニ於キマシテ、第三十六條ニ「原野、山岳
其ノ他ノ土地ニシテ第十四條第一號乃至第
五號ノ場合ニ該當スルモノニ付本章ノ規定
ヲ準用スルコトヲ得」トアルノデ、此ノ條
章ニ依ツテ山林以外ノ土地ニ對シマシテモ
防災監督ガ出來得ルノデアリマスカ、又第
十四條第二十條ノ條章ハ、林地以外ノ災
害ヲ受ケ易イ傾斜地ニマデ及ボシ得ルノデ
アリマスカ、此ノ二點ニ付テ御尋ガ致ジタ
イノデアリマス、大臣ノ御答辯ヲ願ヒマス
尙ホ是ヘ先程ノ長野サント重複スルヤウ
ナ嫌ガアリマスガ、一寸立場ガ違ヒマスカ
ラ申上ゲマス、保安林ハ所有者ニ營林伐採
ノ自由ガ禁止サレテ居ルガ故ニ、是ハ國有
林ニ買上ゲル責任ガアリ、又保安林タルノ
效用ニ副ヒ得ルト思ヒマスガ故ニ、之ヲ買
上ゲナケレバナラスト思ヒマス、何故只今
マデ買上ゲノ方途ニ出ナカツタノデアリマ
スカ、御所感ガ承リタイノデアリマス

次ニ山ト灾害ニ付テ、山ハ災害ノ受難器
デアリマス、我國ハ世界中ニ一番ノ灾害國
當ル大地積デ、是ガ利用厚生ノ如何ガ我國
產業ニ重大ナ關係ヲ及ボストハ勿論デア
リマス、現行法ハ施行以來既ニ三十餘年ヲ
閱シ、時代ノ進運ニ副ハザルモノガ多々生
ジテ參リマシテ、是ガ改訂ハ緊要デアリマ
スガ、茲ニ提出サレテ居リマス改正ノ主ナ
ル點ハ、營林監督ノ整理ト林業組合制度ノ
改正ニ止メ、時局下物動ノ對應資源充實ノ
爲ニ營林施業ノ機能ヲ發揮シ、時代ノ要求
ニ應ゼラレタノデアリマスガ、今少シク物
足ラス思ノ致シマスルノハ、第三章ノ保安
林監督ノ上ニ防災ト云フ意味ヲモット強ク
含マセテ、道路ノ改修ヤ、住宅ノ經營ヤ、河
川ノ改良ヤ、開墾等ノ工事ニ際シテ、特ニ
脆弱ナ地質ノ地方ニ對シテハ、土地臺帳ノ
名稱如何ニ拘ラズ、必要アルモノハ本法ノ
強制行使ガ出來得ルヤウニ改メル必要ハナ
イカト云フコトデアリマス、尤モ第百四條
ニ於キマシテ、第三十六條ニ「原野、山岳
其ノ他ノ土地ニシテ第十四條第一號乃至第
五號ノ場合ニ該當スルモノニ付本章ノ規定
ヲ準用スルコトヲ得」トアルノデ、此ノ條
章ニ依ツテ山林以外ノ土地ニ對シマシテモ
防災監督ガ出來得ルノデアリマスカ、又第
十四條第二十條ノ條章ハ、林地以外ノ災
害ヲ受ケ易イ傾斜地ニマデ及ボシ得ルノデ
アリマスカ、此ノ二點ニ付テ御尋ガ致ジタ
イノデアリマス、大臣ノ御答辯ヲ願ヒマス
尙ホ是ヘ先程ノ長野サント重複スルヤウ
ナ嫌ガアリマスガ、一寸立場ガ違ヒマスカ
ラ申上ゲマス、保安林ハ所有者ニ營林伐採
ノ自由ガ禁止サレテ居ルガ故ニ、是ハ國有
林ニ買上ゲル責任ガアリ、又保安林タルノ
效用ニ副ヒ得ルト思ヒマスガ故ニ、之ヲ買
上ゲナケレバナラスト思ヒマス、何故只今
マデ買上ゲノ方途ニ出ナカツタノデアリマ
スカ、御所感ガ承リタイノデアリマス

次ニ山ト灾害ニ付テ、山ハ災害ノ受難器
デアリマス、我國ハ世界中ニ一番ノ灾害國
當ル大地積デ、是ガ利用厚生ノ如何ガ我國
產業ニ重大ナ關係ヲ及ボストハ勿論デア
リマス、現行法ハ施行以來既ニ三十餘年ヲ
閱シ、時代ノ進運ニ副ハザルモノガ多々生
ジテ參リマシテ、是ガ改訂ハ緊要デアリマ
スガ、茲ニ提出サレテ居リマス改正ノ主ナ
ル點ハ、營林監督ノ整理ト林業組合制度ノ
改正ニ止メ、時局下物動ノ對應資源充實ノ
爲ニ營林施業ノ機能ヲ發揮シ、時代ノ要求
ニ應ゼラレタノデアリマスガ、今少シク物
足ラス思ノ致シマスルノハ、第三章ノ保安
林監督ノ上ニ防災ト云フ意味ヲモット強ク
含マセテ、道路ノ改修ヤ、住宅ノ經營ヤ、河
川ノ改良ヤ、開墾等ノ工事ニ際シテ、特ニ
脆弱ナ地質ノ地方ニ對シテハ、土地臺帳ノ
名稱如何ニ拘ラズ、必要アルモノハ本法ノ
強制行使ガ出來得ルヤウニ改メル必要ハナ
イカト云フコトデアリマス、尤モ第百四條
ニ於キマシテ、第三十六條ニ「原野、山岳
其ノ他ノ土地ニシテ第十四條第一號乃至第
五號ノ場合ニ該當スルモノニ付本章ノ規定
ヲ準用スルコトヲ得」トアルノデ、此ノ條
章ニ依ツテ山林以外ノ土地ニ對シマシテモ
防災監督ガ出來得ルノデアリマスカ、又第
十四條第二十條ノ條章ハ、林地以外ノ災
害ヲ受ケ易イ傾斜地ニマデ及ボシ得ルノデ
アリマスカ、此ノ二點ニ付テ御尋ガ致ジタ
イノデアリマス、大臣ノ御答辯ヲ願ヒマス
尙ホ是ヘ先程ノ長野サント重複スルヤウ
ナ嫌ガアリマスガ、一寸立場ガ違ヒマスカ
ラ申上ゲマス、保安林ハ所有者ニ營林伐採
ノ自由ガ禁止サレテ居ルガ故ニ、是ハ國有
林ニ買上ゲル責任ガアリ、又保安林タルノ
效用ニ副ヒ得ルト思ヒマスガ故ニ、之ヲ買
上ゲナケレバナラスト思ヒマス、何故只今
マデ買上ゲノ方途ニ出ナカツタノデアリマ
スカ、御所感ガ承リタイノデアリマス

會デヤレ」ト呼フ者アリノイヤー、待ツテ吳レ——(笑聲)藥草ノ採集、苗木ノ自給、造林ノ手入、間伐雜木林ノ施業改善、製炭ノ改良、荒廢地復舊、魚附林ノ保存又ハ設置、林道ノ開設、森林地積ノ實測、境界標識ノ設置、アツテ、山村更生計畫ノ研究ト指導ニ當ル技術員ニ對シテ、普通農事ヤ養蠶、畜產、水產ト同様ニ助成法ガ設置セラルベキノニ、獨リ林業ニ限ツテ除外サレタノハ甚ダ理解ニ苦シムノデアリマス(拍手)今ヤ戰時體制下ニアツテ、木材及ビ木村ヲ原料トスル「バルブ」、「スフ」、又ハ「ガソリン」代用ノ木炭ノ製造改善ハ、國家喫緊ノ要務デアルノミナラズ、國土保存ノ上カラモ林業問題ハ特ニ大切デアリマス、以上ノ見地カラ各地ノ林業關係事業ニ對シ助成金ヲ増額セラレタイガ、之ニ對シ農林大臣ノ御意見ヲ承リタイノデアリマス、尙ホ同一ノ理由ニ依リマシテ、技術員補助法ヲ設ケラレルト其ニ、技術員ノ養成機關設置ノ御用意ガアルノデアリマスカ、當局ノ御所見ヲ御伺申上ガタイノデアリマス

次ハ國有林ノ整理デアリマス、國有林ノ中ニハ極ク小口ノモノガ、十町以下ノモノガ各村ニ散在シテアリマルガ、其ノ經營振りハ机上のデ、且ツ地力ト云フコトガ考ヘテナイ、不適當ナ輪伐法ヲ立テテ、樹齡ノ適否ガ計畫ノ年齢ニ合ハズ、次ギ——ト枯損木トナツテ棄テラレテ行クノデ、結構ナ老齡材ヲ棄テシマフノガ淘ニ勿體ナイ、地力ト云フモノハ、同一ノ處デモ少シノ距離デ五六十年デ、戻木ニナル處ト、二三十年經ソテモ戻木ニナラヌ處ガアル、戻木トハ成長極度ヲ經過シタル所ノ木ニアリマス、民有林ニハ枯損木ガ少イガ、國有林ハ枯損木トシテ年年拂下ゲラレル本數ヤ材數ヲ集計シテ見タラ、驚ク程多量デアルト私ハ思フノデアリマス、之ヲ御調査ニナツタコトガアリマスカ承リタインデアリマス、國有林ハ樹齡ノ

適否ニ拘ラズ木ノ細カイ所ヲ残シテ置クガ、地力ノナイ處ハ何年經ツテモ太ラヌ其ノ内ニ戻木トナツテ次ギ——枯損木トナツテシマフ、是ハ廣大ナ面積ニ、限りアル役人ノ力デ適齡適伐ヲ行フト云フコトハ言フベシシテ行ハレナイコトデアリマス、徒ニ管理費バカリ掛ケテ、村ノ中ニ邪魔物ヲ置イテ、時ニハ詰ラス犯人ヲ持ヘタリスルヨリハ、其ノ小口山ヲ其ノ村ニ拂下ヲスルカ、又經營ヲ村ニ一任シタラ宜カラウト思ヒマス(拍手)之ニ對シ大藏、農林兩大臣ノ御意見ガ承リタイノデアリマス

次ニ山林會法ヲ設クルノ要ハナイカ、森林組合ハ產業組合ノヤウナモノデ事業團體デアリマス、山林會ハ山ノ指導機關デ農會ノヤウナモノデアリマス、農會ハ農會法ガ出來テカラ發展シマシタガ、山林會ハマダ山林會法ノ設ケガナイ爲ニ、何時ニナツテノ發展スル筈ハナインデアリマス、一日モ早ク有效ナ山林會法ヲ制定シテ、山トシテ一番働イテ居ル私有林ノ指導獎勵ニ當ラシムルコトガ、山ヲ活カス所以デアルト思フノデアリマス(拍手)之ニ對スル農林大臣ノ御所感ヲ承リマス

以上八項目ニ分チマシテ御尋ラ致シマス次第デゴザイマス、細カイコトハ又委員會ニ御尋ラ致シマス、甚ダ簡單デハゴザイマスガ、ドウカ御酌取り下サイマシテ御答辯ヲ御願致シマス次第デアリマス(拍手)

(國務大臣櫻内幸雄君登壇) 山川君ノ御質問

○國務大臣(櫻内幸雄君) 山川君ノ御質問ニ對シテ答辯ヲ申上ガマス、第一ハ保安林ノ強化及ビ買上ニ付テノ御質問デアリマスガ、保安林ニ付キマシテハ前ニ御答辯申上

ゲマシタ如ク、現在ノ現行法ニ於テ先づ差支ナイモノト考ヘテ居リマスガ、其ノ整理

森林組合制度ノ強化ト助成、林業技術員ニ付キマシテ、施行規則ヲ改正シテ之ヲ補

充、保安林ニ付キマシテハ十分ニ注意

ヲ致シタイト思ツテ居リマス

マス

森林組合制度ノ強化ト助成、林業技術員ニ付キマシテ、施行規則ヲ改正シテ之

資源ノ保護培養、並ニ其ノ開發ニ於ケル政府ノ現在マデニ執リマシタ無方針ナ狀態ガ、經濟的資源ノ涸渴ヲ來タシタモノト思ツテ居ルノデアリマス、隨テ此ノ解決ニ當リマス爲ニハ、根本策ヲ講ゼズニ此ノ大問題ガ解決サレルトハ考ヘラレナイノデアリマス、目下針葉樹ノ用材ヲ供給致シテ居リマスル亞米利加ノ如キモ、過伐ノ結果將來二十年ヲ經タシテ輸出力ヲ失フノデハナイカト言ハレテ居リマス、然ルニ我國ノ氣候風土ヲ見マスト、林木ノ成長ニ拘ニ適スル所ノ適正ナ風土氣候ヲ持ツテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ狀態デアリマスノデ、此處ニ育ツテ居リマス天然林、或ハ立木ノナイ林野、即チ無立木林野ノ半分ニ人工的ニ造林ヲ加ヘラレマスナラバ、將來世界的木材ノ饑饉ニ際シテモ、我國ダケハ自給ヲ爲シ得ルバカリデハナイ、更ニ進ンデハ海外ニ輸出スベキモノスラ考ヘラレルノデアリマス、又サウシテ將來國內ニ於ケル所ノ工業原料トシテノ發達モ期シ得ラレルト考ヘルノデゴザイマスガ、之ニ對スル根本ノ策ガナクテ、現在ノヤウナ改正法案ヲ以テシテハ、到底其ノ所期ノ目的ガ達成スルコトハ困難デアルト考ヘルノデアリマス、林業ノ如ク公益ニ關係ノ深イ、且ツ營利主義的經營ヲ以テシテハ、國民經濟ノ上ノ生產目的ニ合致シ難イ産業ハ、是ハ國家ノ直接經營、即チ國營又ハ特殊國策株式會社等ノ經營ニ依ツテノミ、此ノ目的ガ達成サレルト考ヘルノデゴザイマス、特ニ我ガ日本ハ明治ノ初年ニ至リマスマデ、大寶ノ律令以來、山川藪澤公私之ヲ共ニスト云フ、所謂國營ノ大本ヲ立テテ居ツタノデアリマス、羅馬法ガ急ニ日本ニ入りマシテカラ、所謂佛蘭西革命或ハ獨逸ノ山林開放ノ運動ニ稍乘リマシテ、日本モ山林法ノ改正ヲ營ンダノデアリマスケレドモ、此ノヤウナ日本ノ特殊事情ニ合ハザル改正ヲ爲シタグケデハ、根

本の解決ハ到底困難デアルト考ヘルノデアリマス、殊ニ今ノヤウナ政治状態ニ於テハ、明治初年ノ森林令ノヤウナ、立入ツタ干渉ヲ私有林林業ニ加へルコトハ困難ダト考ヘルノデアリマス、其ノ意圖サレル所ハ諒トサレマスケレドモ、現在ノヤウナ状態ニ於テハ、同僚カラ反対ノアリマスルヤウニ、干涉サレルト云フコトニ付キマシテノ反対ガ相當アルノデハナイカト想像サレルノデアリマス、是ハ即チ今日マデ森林ヲ所有シテ居リマスル者ニ、木材ノ蓄積ノ利廻ヲ考ヘルナト云フヤウナ干渉ハ、實際ハ不可能ニ近イト思フ、所謂森林ノ純益主義ヲ採ルカ、土地ノ純益主義ヲ採ラセルノカ、此ノ點ガ恐ラク此ノ法律ノ中ニ明示サレテ居ラナイ點デアリマス、政府ノ考ヘテ居ル所ハ、恐ラク森林ノ純益ヲ中心ニ考ヘラレテ居ルノデアリマセウケレドモ、個々ニ經濟ヲ營ンデ居リマスル森林ノ所有者ハ、土地ノ利廻ヲ考ヘルト云フコトハ當然グラウト思フ、其ノ利廻ヲ考ヘルナト云フガ如キ改正ハ、稍、困難ニ近イノデハナカラウカト思フノデアリマス、如何ニ林業ガ商工業ト違ヒマシテ、自由放任ニ依ツテ其ノ發達ヲ圖ルコトガ出來ナイ産業デアルトハ云ヘ、如何ニ森林令ヤ舊幕時代ニ於ケル制度ガ森林保有ノ上ニ適切ナル手段デアルト云ヒマシテモ、營林監督の干渉ヲ嚴ニシテ林業ノ發達ヲ圖ラウト云フコトハ、非常ニ無理ナ相談ダト思フノデアリマス、隨テ此ノ方法ヲ執ニ出ヅルカ、現在ノヤウナ制度ヲ尙ホ幾分ラレルト云フノデアリマスナラバ、巨額ノ補助金或ハ獎勵等ノ非強制的手段ニ依ツテ云フヤウナモノヲ設ケマシテ、所謂之ニ保護助成策ヲ執ルカ、又ハ民有國營ノ方法ヲ提供致シマシタ委託管理者ニ對シマシテ、特融ノ途ヲ開カレルヤウナ方法ヲ執ル

金額ヲ各市町村ニ交付サレルノ途ヲ開カレバ、テハ如何、其ノ點デゴザイマス(拍手)御重
知ノヤウニ元來保安林ハ、私有林ノ林業ノ開放ノ除外例トシテ、保安林制度ト云フモ
ノガ生レテ來タノデアリマス、即チ國有ニ
ハ保安林ト云フモノハ考ヘラレナイ、私有
林ガ開放サレタ除外例ト致シマシテ、保
安林制度ト云フモノガ生レテ來タモノノデアリマス
シテ、私有林ノ林業ハ之ヲ自由ニスル代
リ、干渉的ニ之ヲ制限ヲ加ヘテ行クコトハ、
是ハ已ムヲ得ナイト思ヒマスケレドモ、國
ガ經營致シテ居リマス國有林ガ、政府ノ意
圖ニ依ツテ濫伐サレルト云フヤウナコトモ
考ヘラレナインデアリマス、保安林ナル所
ノ名稱ヲ除ツタカラ濫伐スルト云フヤウナ
政府ガアルコトモ想像サレナインデゴザイ
マスカラ、其ノ名稱ハ實質ハ土砂ノ扞止、
レテ居リマセヌ地租ニ當ルベキ金額ヲ、地
ノ涵養林ト致シマシテ必要デアリマスケレ
ドモ、保安林ト云フ名ノ下ニ地方ニ交付サ
レテ居リマセヌ地租ニ當ルベキ金額ヲ、地
方町村ニ交付スルノ意思ガアルカドウカト
云フコトヲ御尋致シタイノデアリマス
モウ一ツ、是ハ此ノ法案ノ根本デアルト
思フノデゴザイマスガ、色々施業案ガ本法
案ノ重要ナ點デゴザイマスケレドモ、各地
方ノ長官ガ此ノ施業案ヲ許可スペキヤ、或
ハ其ノ施業案ヲ指導保護スペキカト云フ
云フ點ノ目標ヲ、何處ニ置イテ居ラレルノ
デアルカ、即チ此ノ點ハ林業政策ノ用途
別、地域別竝ニ樹種別、綜合的立地計畫ノ
確立ガ急務デアルト考ヘルノデゴザイマ
ス、此ノ點ニ付テ農林大臣ハ其ノ準備ガオ
アリニナリマスカドウカヲ御尋シタイノデ
ゴザイマス、即チ國內資源ノ開發ハ、官民
有造林促進ノ爲ニハ、木材ノ用途別、地域別
ノ林業立地計畫ヲ基本トスル植林ノ大造林
計畫ヲ樹立シナケレバナラナイト考ヘルノ
デアリマス、是ガ今日林業政策上ニ課せラ

レテ居ル所ノ國際收支ノ改善ニ資スル爲ニ
モ、又木材「バルブ」ノ輸入防遏ト、「バルブ」
國內需給ノ方策ヲ確立シ、他方ニハ燃料國
策ノ遂行ヲ積極的ニ強化シ、木炭増産計畫
ヲ樹立シナケレバナラナイノデアリマス、
此ノ「バルブ」用材國內需給ト薪炭用材ノ生
産力増進ノ爲ニハ、是非共木材用途別、地
方別立地計畫化ヲ基本的條件トシテノミ可
能デアルト考ヘルノデゴザイマス、政府ニ
其ノ準備ナクシテ、此ノ法案ハ全ク成功ヲ
期シ難イト考ヘルノデゴザイマスケレドモ、
如何ニ施業案ヲ指導サレントスルカ、其ノ
方針ヲ明示サレンコトヲ望ムノデゴザイマ
ス

次ニ御尋致シタオハ、現在ノヤウニ一
方ニ於テハ木炭ノ公定價格ヲ抑ヘ、一方ニ
於テハ原木ノ値段が昂騰致シマシタ爲ニ、
薪炭業者が塗炭ノ苦シミノ中ニアルノデア
リマス、所謂「ガソリン」ノ代用ト致シマス
ル木炭ノ需要が増大致シテ居リマスニモ拘
ラズ、木炭製造業者ガ塗炭ノ苦シミニアル
ト云フコトハ考ヘラレナイ現象デアルニモ
拘ラズ、此ノ現象ノアルコト甚ダ遺憾ト
致スノデアリマスガ、斯ル狀態ニ於キマシ
テハ、「ガソリン」ノ代用木炭ノ獎勵ナドト
云フコトハ、到底見得ザル所デアルト思
フノデアリマス、又一方肥料ノ輸入ノ困難
ナル際、政府ハ堆肥ノ獎勵ヲ致シテ居リマ
スケレドモ、此ノ森林計畫ト堆肥ノ關係モ
相當注意ナサラナケレバナラヌ點デアルト
考ヘルノデアリマス、又軍馬ノ獎勵ト採草
地ト森林トノ關係デアリマスガ、斯ウ云フ
シタガ、是ハ勿論適地適本主義ヲ以テ、其
ノ計畫ヲ樹立シテ行キタイト考ヘテ居リマ
ス、木炭等ニ付キマシテ御意見ガゴザイマ
シタガ、此ノ木炭ニ付キマシテハ、今ソレ
ゾ研究ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、適
當ナル增産計畫ヲ立テ、之ヲ實行致シタイ
ト考ヘテ居リマス、堆肥、採草地ニ關シテ
レドモ、之ニ對スル綜合的ナ御意見ヲ承リ
タイト云フコトヲ申上ゲマシテ、以下政府
ノ御答辯ヲ煩ハス次第デアリマス（拍手）
（國務大臣櫻内幸雄君登壇）川俣君ノ御質問
○國務大臣櫻内幸雄君（登壇）

ニ對シテ答辯ヲ申上ゲマス、第一問ハ森林
ノ國有國營ノ目標トシ、少クトモ前提トシ
テ國有民營ニシテハドウカ、ソレデナケレ
バ其ノ目的ハ達セラレナイデハナイカト云
フ御所見ノヤウデアツタノデアリマスガ、
此ノ御意見ハ一ツノ見方デアリマシテ、私
共モ常ニ其ノ點ニ付テ研究ヲ致シテ居ルノ
デアリマスケレドモ、現在ト致シマシテハ
政府ガ適當ナル監督ヲ致シテ、民間ニ自ラ
經營ヲサセテ差支ナイト考ヘテ居ルノデア
リマシテ（拍手）之ニ對シテハ適當ナル獎勵ノ
方法ヲ講ジタイト考ヘテ居リマス、第二八
入會權ノ問題ヲ御話デアリマシタガ、勿論
此ノ入會權ハ無視スルモノデハアリマセヌ、
尊重ハ致シテ居ルノデアリマシテ、此ノ入
會權ノ問題ト本法トハ關係ガナイト私共ハ
考ヘマス、ソレカラ國有保安林ノ保安林ノ名
稱ヲ廢シテ、之ニ對スル地租ヲ市町村ニ交
付スルト云フ問題デアリマスガ、是ハ不可
分ノモノデハナイノデアリマシテ、此ノ問
題ニ對シマシテハ別ニ考慮スペキ事柄デア
ルト考ヘマス、森林行政ノ統一ニ付キマシテ
ハ、固ヨリ是ハ當然爲サナケレバナラヌコ
トデアリマシテ、唯今日ハ北海道ノ問題ガ
マダ未解決ニ殘ツテ居ル點ガアリマスガ、
是ハ十分研究ノ上適當ナ時期ニ統一サレル
ト考ヘテ居リマス、又施業案ニ付キマシテ、
其ノ施業ノ方法等ニ付テノ御意見ガアリマ
シタガ、是ハ勿論適地適本主義ヲ以テ、其
ノ計畫ヲ樹立シテ行キタイト考ヘテ居リマ
ス、仍テ日程第六、軍馬資源保護法案、日
上程セラレテ居ル森林法ノ精神ト、少シモ
矛盾スル所ハナイト考ヘルノデアリマス（拍
手）

○議長（小山松壽君）質疑ハ終了致シマシ
タ、各案ノ審査ヲ付託スペキ委員ノ選舉ニ
付テ御諮リ致シマス

○服部崎市君 日程第四及び第五ノ兩案ヲ
一括シテ、議長指名二十七名ノ委員ニ付託
サレントヲ望ミマス

○議長（小山松壽君）服部君ノ動議ニ御異
議アリマセヌカ

（異議ナシト呼フ者アリ）

○議長（小山松壽君）御異議ナシト認メマ
ス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——此ノ際

海軍大臣ヨリ潛水艦遭難事件ニ關シ報告ノ
爲發言ヲ求メラレテ居リマス、之ヲ許シマ
ス——

（國務大臣米内光政君登壇）

○國務大臣（米内光政君）潛水艦ノ遭難事
故ガゴザイマシタノ概要ヲ御説明申上ゲ
マス

去ル二日未明豊後水道ニ於キマシテ艦隊
ノ演習中「イ」號第六十三潛水艦ハ僚艦ト衝

突致シマシテ沈没致シマシク、艦隊ニ於キ
マシテハ各方面ト協力致シマシテ、目下尙

ホ全力ヲ擧ゲテ救難作業中ゴザイマスガ、
今日マデ判明致シマシタ所ニ依リマスレバ、
生存者六名、生死不明ノ者八十一名デアリ

マス、斯ル事故ヲ惹起致シマシタコトハ洵
ニ遺憾トスル所デゴザイマス（拍手）

○議長（小山松壽君）日程ヲ續ケマス、日
程第六及ビ第七ハ關聯セル議案デアリマス
カラ、一括議題ト爲スニ御異議アリマセヌ
カ

○議長（小山松壽君）第一讀會ヲ開キマス——櫻内農林大臣

○議長（小山松壽君）第一讀會

○

號及第四號竝三第二十八條第一號、第

三號、第五號及第六號ノ罰則ハ其ノ者ガ

法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ

法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年

者又ハ禁治產者ナルトキハ其ノ法定代

理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年

者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付

テハ此ノ限ニ在ラズ

第三十一条 前二條ノ場合ニ於テハ懲役

ノ刑ニ處スルコトヲ得ズ

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

政府ハ當分ノ内勅令ノ定ムル所ニ依リ島

嶼ヲ指定シ本法ノ全部又ハ一部ヲ施行セ

ザルコトヲ得

種牡馬検査法ハ之ヲ廢止ス

本法施行前種牡馬検査法ニ依ル検査ニ合

格シ本法施行ノ際現ニ同法ノ種牡馬タル

モノハ第七條ノ規定ニ依リ種牡馬ニ指定

セラレタルモノト看做ス

本法施行ノ際現ニ馬ノ種付事業ヲ行フ者

又ハ其ノ事業ヲ承継シタル者ハ命令ノ定

ムル所ニ依リ本法施行ノ日ヨリ一年間ヲ

限り引續キ其ノ事業ヲ行フコトヲ得

前項ノ者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ

許可ヲ受ケ前項ノ期間經過後引續キ其ノ

事業ヲ行フコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル許可ノ申請ヲ爲シタル

者ハ其ノ申請ニ對スル許可又ハ不許可ノ

處分ノ日迄引續キ其ノ事業ヲ行フコトヲ

得

政府ハ勅令ヲ以テ定ムル期間内ニ限リ第

十條ノ規定ニ拘ラズ國有ノ種牡馬又ハ候

補種牡馬ヲ北海道、府縣、畜產組合又ハ

畜產組合聯合會ニ無償ニテ貸付スルコト

ヲ得

本法施行前種牡馬検査法ノ罰則ヲ適用ス

ベカリシ行爲ニ付テハ仍其ノ罰則ニ依ル

馬匹去勢法第一條中「種牡馬」ノ下ニ「又

ハ候補種牡馬」ヲ加フ

馬匹去勢法第二條ヲ左ノ如ク改ム

第二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル牡馬

ニハ去勢ノ施行ヲ猶豫ス

一 疾病又ハ發育不全ニ因リ去勢ヲ行

フニ堪ヘスト認メタルモノ

二 學術研究ノ爲行政官廳ノ許可ヲ得

タルモノ

三 前二號ノ外命令ヲ以テ定ムルモノ

馬匹去勢法第四條第三號中「種牡馬ニシテ

テ検査合格ノ證明ノ效力ヲ失ヒタルモノ」

ヲ一種牡馬又ハ候補種牡馬ニシテ其ノ指

定ヲ取消サレ又ハ指定ノ效力ヲ失ヒタル

モノ」ニ改ム

馬匹去勢法第九條中「種牡馬検査法」ヲ

「種馬統制法中種牡馬又ハ候補種牡馬」ニ

關スル規定」ニ改ム

〔國務大臣櫻内幸雄君登壇〕

○國務大臣(櫻内幸雄君)只今議題トナリ

マシタ軍馬資源保護法案及ビ種馬統制法案

ノ提出ノ理由ヲ申上ゲタイト存ジマス

モノ」ニ改ム

馬匹去勢法第九條中「種牡馬検査法」ヲ

「種馬統制法中種牡馬又ハ候補種牡馬」ニ

關スル規定」ニ改ム

〔國務大臣櫻内幸雄君登壇〕

シテ、茲ニ軍馬資源保護法ヲ制定シ、又馬

ノ生産力ヲ擴充スル方策ト致シマシテ、種

馬統制法ヲ制定シ、國防上特に必要トスル

馬ノ資質ノ向上ヲ圖ルト共ニ、有能馬ノ造

成ニ努メントスルモノデアリマス

而シテ軍馬資源保護法案ノ主要ナル内容

ト致シマシテハ、國防上特に必要トスル馬

ヲ軍用保護馬ニ指定シ、是ガ飼養管理ヲ十

分ナラシムルト共ニ、軍馬ノ資質ニ關スル知

ヲ爲シ、又軍用保護馬ニハ一定ノ鍛錬ヲ行

ハシメ、常ニ軍馬タルニ必要ナル能力ヲ充

實セシムルト共ニ、軍馬ノ資質ニ關スル知

識ノ普及ニ資スル爲、鍛錬競走ノ施行ヲ

ハシメ、常ニ軍馬タルニ必要ナル能力ヲ充

保有馬ノ資質及ビ能力ノ向上ヲ圖ル方策ト

シテ、茲ニ軍馬資源保護法ヲ制定シ、又馬

ノ生産力ヲ擴充スル方策ト致シマシテ、種

馬統制法ヲ制定シ、國防上特に必要トスル

馬ノ資質ノ向上ヲ圖ルト共ニ、有能馬ノ造

成ニ努メントスルモノデアリマス

而シテ軍馬資源保護法案竝ニ種馬統制法案ニ對シマ

シテ、只今農林大臣ヨリ縷々御説明ガゴザ

イマシタガ、我國現下ノ時節柄ト云ヒ、且

ツ將來ニ於キマシテハ、此ノ案件ハ最モ重

大ナルコトデアルト私ハ確信ヲ致スノデゴ

ザイマス、就キマシテ此ノ計畫、提案ニ對シ

マシテハ、寧ロ其ノ遲カリシコトヲ甚ダ遺

憾ト致スモノデゴザイマス、私ハ右兩案ヲ

一括ヲ致シマシテ、左ノ四點ニ對シ至ツテ

簡単ニ質問ヲ致シタイト存ズル次第デゴザ

イマス、第一ハ飼育總數ノ標準、第二ハ耕

地及ビ放牧地トノ關係、第三ハ種馬及ビ獎

認メ、且ツ軍馬資源確保ノ爲、輸移出ニ付

キ政府ノ許可ヲ要スルコトトシ、尙又軍用

保護馬鍛鍊中央會ヲ設置スル等ノ規定ヲ設

ケマシテ、軍馬資源ノ保護充實ヲ圖ルコト

ヲ目的ト致シテ居ルノデアリマス

種馬統制法案ノ主要ナル内容ト致シマシ

テハ、優良ナル種牡馬及ビ種牝馬ヲ整備充

實スルト共ニ、其ノ配合ヲ統制シ、以テ馬

ノ改良増殖ヲ圖ルコトヲ目的ト致シ、是ガ

馬及ビ候補優良種牡馬ノ制度、優良種牝

馬ノ改良増殖ヲ圖ルコトヲ目的ト致シ、是ガ

馬及ビ候補優良種牝馬ノ制度、馬ノ種付事業

ノ特許制度等ヲ設クルコトヲ目的ト致シ、是ガ

○遠山房吉君

只今上程ニ相成リマシタ軍

馬資源保護法案竝ニ種馬統制法案ニ對シマ

シテ、只今農林大臣ヨリ縷々御説明ガゴザ

イマシタガ、我國現下ノ時節柄ト云ヒ、且

ツ將來ニ於キマシテハ、此ノ案件ハ最モ重

大ナルコトデアルト私ハ確信ヲ致スノデゴ

ザイマス、就キマシテ此ノ計畫、提案ニ對シ

マシテハ、寧ロ其ノ遲カリシコトヲ甚ダ遺

憾ト致スモノデゴザイマス、私ハ右兩案ヲ

一括ヲ致シマシテ、左ノ四點ニ對シ至ツテ

簡単ニ質問ヲ致シタイト存ズル次第デゴザ

イマス、第一ハ飼育總數ノ標準、第二ハ耕

地及ビ放牧地トノ關係、第三ハ種馬及ビ獎

認メ、且ツ軍馬資源確保ノ爲、輸移出ニ付

キ政府ノ許可ヲ要スルコトトシ、尙又軍用

保護馬鍛鍊中央會ヲ設置スル等ノ規定ヲ設

ケマシテ、軍馬資源保護法案ノ主要ナル内容

ト致シマシテ、是ガ飼料ニ充ツル爲ニ烟ヲ使バネバナラヌ

附加ヘテ御答辯ヲ御願致シタイト斯様ニ存

ジマスル、第二ハ農耕地及ビ放牧地トノ關係

ニ對シマシテ、滿蒙ニ於キマスル馬匹闘

争ヘアリマシカ、此ノ點ヲ御伺ニ致シタ

マス、第三ハ馬ノ増殖ニ從ヒマシテ、

馬ノ増殖ニ從ヒマシテ、馬ノ増殖ニ從ヒマシテ

マス、第四ハ馬の資質ニ關スル事項ニ對シマ

シテ、馬の資質ニ關スル事項ニ對シマシテ

マス、以上ガ軍馬資源保護法案及ビ種馬統制

法案提出ノ理由ノ大要デアリマス、何卒御審

議ノ上速ニ御協賛アランコトヲ希望致シマ

ガ、之ニ對シマスル御計畫ヲ承リタイト思

ヒマスル、第三ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シ

マシテ、種牡馬ニ對シマスル牡馬ノ配給ノ

按配、之ニ對シマシテハ、如何ナル計畫

設備モ致サンケレバナラヌノデアリマスル

ヲ爲サンコトヲ希望致シマス

マス、第四ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シマシテ

マス、第五ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シマシテ

マス、第六ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シマシテ

マス、第七ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シマシテ

マス、第八ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シマシテ

マス、第九ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シマシテ

マス、第十ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シマシテ

マス、第十一ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シマシテ

マス、第十二ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シマシテ

マス、第十三ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シマシテ

マス、第十四ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シマシテ

マス、第十五ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シマシテ

マス、第十六ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シマシテ

マス、第十七ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シマシテ

マス、第十八ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シマシテ

マス、第十九ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シマシテ

マス、第二十ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シマシテ

マス、第二十一ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シマシテ

マス、第二十二ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シマシテ

マス、第二十三ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シマシテ

マス、第二十四ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シマシテ

マス、第二十五ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シマシテ

マス、第二十六ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シマシテ

マス、第二十七ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シマシテ

マス、第二十八ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シマシテ

マス、第二十九ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シマシテ

キマシテ何レニ其ノ價格ノ標準ヲ置カレル

マス、第三十ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シマシテ

マス、第三十一ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シマシテ

マス、第三十二ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シマシテ

マス、第三十三ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シマシテ

マス、第三十四ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シマシテ

マス、第三十五ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シマシテ

マス、第三十六ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シマシテ

マス、第三十七ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シマシテ

マス、第三十八ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シマシテ

マス、第三十九ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シマシテ

マス、第四十ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シマシテ

マス、第四十一ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シマシテ

マス、第四十二ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シマシテ

マス、第四十三ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シマシテ

マス、第四十四ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シマシテ

マス、第四十五ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シマシテ

マス、第四十六ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シマシテ

マス、第四十七ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シマシテ

マス、第四十八ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シマシテ

マス、第四十九ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シマシテ

マス、第五十ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シマシテ

マス、第五十一ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シマシテ

マス、第五十二ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シマシテ

マス、第五十三ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シマシテ

マス、第五十四ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シマシテ

マス、第五十五ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シマシテ

マス、第五十六ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シマシテ

マス、第五十七ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シマシテ

マス、第五十八ノ種馬及ビ獎勵對策ニ對シマシテ

マス、第五十九ノ種馬

ノデアリマスルカ、之ニ對シマシテ御答辯ヲ願ヒタイト存ジマスル、次ニ獎勵對策ニ付キマシテハ、地方競馬ヲ殆ド全廢マデニ至ラシメルト云フ御計畫ノヤウデアリマスルガ、此ノ結果ト致シマシテ、從來ノ競馬其ノモノノ跡始末ヲ如何ニナサレル御方針ニアリマスルカ、又民間ニ於キマスル所ノ育成其ノ他ニ對シマシテハ、如何ナル補助ヲ與ヘント致サレルノデアリマスルカ、之ヲ併セテ御伺ヲ致シタイト思フノデアリマス、第四ノ衛生對策ニ付キマシテハ、如何ナル御方針ニ依リマスルカ、私昨年馬ノ關係ニ付キマシテ陸軍省ノ政務官ヨリ承ツタノデアリマシタケレドモ、委員會ニ於キマシテノ御答辯ハ、獸醫ノ必要ナシト云フ明ナル御方針ニ依リマスルカ、私昨年馬ノ關係ニ付キマシテハ、如何ナル御方針ガヨザイマセウカ、詳細ニ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

甚ダ簡單デゴザイマスガ、私ハ以上四點ニ付キマシテ農林大臣ヨリ詳細ノ御答辯ヲ伺ヒタインデアリマス(拍手)

○國務大臣櫻内幸雄君登壇

○國務大臣(櫻内幸雄君) 遠山君ノ御質問ニ付シテ御答致シマス、第一ノ飼養總數茲ニ付シテ御質問デアリマスガ、此ノ事柄ハ何レ適當ナ機會ニ申上ゲルコトト致シマシテ、此ノ際ハ差控ヘタイト思ヒマシテハ、牧野委員會ヲ設ケテ其ノ整備ヲ行ヒ、其ノ他ノ飼料ニ付キマシテモ、種々對策ヲ講ジテ遺憾ナキヲ期シテ居リマス、馬ノ賣買價格ニ付キマシテハ、市場價格ヲ

至ラシメルト云フ御計畫ノヤウデアリマスルガ、此ノ結果ト致シマシテ、從來ノ競馬其ノモノノ跡始末ヲ如何ニナサレル御方針ニアリマスルカ、又民間ニ於キマスル所ノ育成其ノ他ニ對シマシテハ、如何ナル補助ヲ與ヘント致サレルノデアリマスルカ、之ヲ併セテ御伺ヲ致シタイト思フノデアリマス、第四ノ衛生對策ニ付キマシテハ、如何ナル御方針ニ依リマスルカ、私昨年馬ノ關係ニ付キマシテハ、如何ナル御方針ガヨザイマセウカ、詳細ニ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

甚ダ簡單デゴザイマスガ、私ハ以上四點ニ付キマシテ農林大臣ヨリ詳細ノ御答辯ヲ伺ヒタインデアリマス(拍手)

○大石倫治君登壇

○國務大臣櫻内幸雄君登壇

○國務大臣(櫻内幸雄君) 遠山君ノ御質問ニ付シテ御答致シマス、第一ノ飼養總數茲ニ付シテ御質問デアリマスガ、此ノ事柄ハ何レ適當ナ機會ニ申上ゲルコトト致シマシテ、此ノ際ハ差控ヘタイト思ヒマシテハ、牧野委員會ヲ設ケテ其ノ整備ヲ行ヒ、其ノ他ノ飼料ニ付キマシテモ、種々對策ヲ講ジテ遺憾ナキヲ期シテ居リマス、馬ノ賣買價格ニ付キマシテハ、市場價格ヲ

賣買ヲスルコト相成ルノデアリマス、地方競馬ノ問題デアリマスガ、是ハ今マデニ所竝ニ北海道三箇所ノ競馬場ヲ公認致シマシテ、即チ政府監督ノ下ニ之ヲ實行政致サセルコト相成ルノデアリマシテ、其ノ數ニ於テハ半減以下ニナルノデアリマスケレドモ、其ノ公認シタ整備シタル競馬場ニ於テ、從來ノ地方競馬ノ有シテ居ツタダケノ成績ハ舉得ルト考ヘマス、尙ホ地方競馬會ノ整理ノ問題デアリマスガ、此ノ問題ハ今回出来マスル所ノ競馬ノ中央會ニ於テ整理ヲ致セセル考デアルノデアリマス、ソレカラ衛生對策デアリマスガ、此ノ問題ハ文部省ノ所管ニ於テ獸醫學校ガアリマスケレドモ、ソレハ御承知ノヤウナ程度デアリマシテ、其ノ卒業生ノ數ガ少イノデアリマスガ、此ノ少イ對策ト致シマシテハ、適當ナ講習會其他ニ依ツテ補充致シマスト同時ニ、軍馬ニ付キマシテハ、之ニ對スル所ノ衛生ノ設備ハ別ニ講ジテ置キマシテ、遺憾ナキヲ期シタイト考ヘテ居ルノデアリマス(拍手)

○議長(小山松壽君) 大石倫治君

○大石倫治君登壇

○國務大臣櫻内幸雄君登壇

○國務大臣(櫻内幸雄君) 遠山君ノ御質問ニ付シテ御答致シマス、第一ノ飼養總數茲ニ付シテ御質問デアリマスガ、此ノ事柄ハ何レ適當ナ機會ニ申上ゲルコトト致シマシテ、此ノ際ハ差控ヘタイト思ヒマシテハ、牧野委員會ヲ設ケテ其ノ整備ヲ行ヒ、其ノ他ノ飼料ニ付キマシテモ、種々對策ヲ講ジテ遺憾ナキヲ期シテ居リマス、馬ノ賣買價格ニ付キマシテハ、市場價格ヲ

賣買ヲスルコト相成ルノデアリマス、地方競馬ノ問題デアリマスガ、是ハ今マデニ所竝ニ北海道三箇所ノ競馬場ヲ公認致シマシテ、即チ政府監督ノ下ニ之ヲ實行政致サセルコト相成ルノデアリマシテ、其ノ數ニ於テハ半減以下ニナルノデアリマスケレドモ、其ノ公認シタ整備シタル競馬場ニ於テ、從來ノ地方競馬ノ有シテ居ツタダケノ成績ハ舉得ルト考ヘマス、尙ホ地方競馬會ノ整理ノ問題デアリマスガ、此ノ問題ハ今回出来マスル所ノ競馬ノ中央會ニ於テ整理ヲ致セセル考デアルノデアリマス、ソレカラ衛生對策デアリマスガ、此ノ問題ハ文部省ノ所管ニ於テ獸醫學校ガアリマスケレドモ、ソレハ御承知ノヤウナ程度デアリマシテ、其ノ卒業生ノ數ガ少イノデアリマスガ、此ノ少イ對策ト致シマシテハ、適當ナ講習會其他ニ依ツテ補充致シマスト同時ニ、軍馬ニ付キマシテハ、之ニ對スル所ノ衛生ノ設備ハ別ニ講ジテ置キマシテ、遺憾ナキヲ期シタイト考ヘテ居ルノデアリマス(拍手)

○議長(小山松壽君) 大石倫治君

○大石倫治君登壇

○國務大臣(櫻内幸雄君) 遠山君ノ御質問ニ付シテ御答致シマス、第一ノ飼養總數茲ニ付シテ御質問デアリマスガ、此ノ事柄ハ何レ適當ナ機會ニ申上ゲルコトト致シマシテ、此ノ際ハ差控ヘタイト思ヒマシテハ、牧野委員會ヲ設ケテ其ノ整備ヲ行ヒ、其ノ他ノ飼料ニ付キマシテモ、種々對策ヲ講ジテ遺憾ナキヲ期シテ居リマス、馬ノ賣買價格ニ付キマシテハ、市場價格ヲ

賣買ヲスルコト相成ルノデアリマス、地方競馬ノ問題デアリマスガ、是ハ今マデニ所竝ニ北海道三箇所ノ競馬場ヲ公認致シマシテ、即チ政府監督ノ下ニ之ヲ實行政致サセルコト相成ルノデアリマシテ、其ノ數ニ於テハ半減以下ニナルノデアリマスケレドモ、其ノ公認シタ整備シタル競馬場ニ於テ、從來ノ地方競馬ノ有シテ居ツタダケノ成績ハ舉得ルト考ヘマス、尙ホ地方競馬會ノ整理ノ問題デアリマスガ、此ノ問題ハ今回出来マスル所ノ競馬ノ中央會ニ於テ整理ヲ致セセル考デアルノデアリマス、ソレカラ衛生對策デアリマスガ、此ノ問題ハ文部省ノ所管ニ於テ獸醫學校ガアリマスケレドモ、ソレハ御承知ノヤウナ程度デアリマシテ、其ノ卒業生ノ數ガ少イノデアリマスガ、此ノ少イ對策ト致シマシテハ、適當ナ講習會其他ニ依ツテ補充致シマスト同時ニ、軍馬ニ付キマシテハ、之ニ對スル所ノ衛生ノ設備ハ別ニ講ジテ置キマシテ、遺憾ナキヲ期シタイト考ヘテ居ルノデアリマス(拍手)

○議長(小山松壽君) 大石倫治君

經濟力ノ乏シイ、資本力ノ貧弱ナル階級ノ
人ガ、多ク馬ヲ所有シテ居ラネバナラヌト
云フ現状ニ置カレテ居ルノデアリマス、斯
ノ如キ状態ニシテ馬ノ供給ガ益々不足ヲ告
ゲ、馬ノ需要ガ益々多キヲ加ヘテ参リマスル
ニ從ツテ、馬ノ値段ト云フモノガ騰貴ヲ致
シテ参リマスト云フト、此ノ育成者、使役
者ガ馬ヲ求ムルト云フコトハ、容易ナラザ
ルコトニ相成ルノデアリマスルカラ、軍部
ノ要望スル所ノ壯輪馬百万頭ヲ保有スルト
云フ點ニ、吾々ハ疑フ懷カザルヲ得ナイコ
トニ立至ルノデアリマス、故ニ若シ眞ニ是
等ノ馬ノ補充ヲ充實シ、更ニ増産計畫ノ根
本計畫ヲ立テルト云フコトニ致シマスルナ
ラバ、此ノ豫算ノ運用上カラ申シマシテ
モ、更ニ生産育成方面ニ向ツテ國ノ力ガモ
ツトモツト多ク注ガレネバナラヌ筈デアル
ト思フノデアリマスルガ、豫算増額シタリト
雖モ、此ノ點ノ施設ニ於テ未ダ十分ナラザ
ルコトハ、甚ダ遺憾トスル所デアリマス、
又日滿支一體ノ計畫ヲ定ムルコトナリマ
シテモ、支那、満洲ニ於ケル現在ノ馬ノ状態
ニ於キマシテハ、其ノ能力ニ於テ到底内地
馬ニ及バザルコトハ勿論デアリマス、隨テ
滿支兩國ニ於ケル所ノ馬ハ改良ヲ加ヘネバ
ナラナイ、ソレニハ内地ヨリ種牡馬或ハ種
牝馬デアルト云フヤウナモノノ移殖ヲ致サ
ネバナラヌノデアリマシテ、是亦本年ヨリ
少カラザル頭數ノ移出ヲ計畫セラレテ居ル
ノデアリマス、一方内地補充ノ生產力ニ於
テ未ダ十分ナラズ、而シテ滿支兩國ニ移出
セントスル所ノ馬ノ頭數ヲ考ヘマシタ時ハ、
今日ノ此ノ生産計畫ニ於キマシテハ、イツ
ノ時ニカ之ヲ充實セシムルコトガ出来ルデ
アリマセウカ、農林大臣ハ此ノ計畫ニ付テ
吾々ガ納得シ得ル所ノ御説明ヲ願ヒタイト
存ズルノデアリマス

次ニ軍ノ要望致シマシタ馬ノ規格ハ只今
申述べタ次第アリマスガ、此ノ要望ノ出
來マシタル所以ハ、三十數年ヲ費シテ改良
セラレマシタル所ノ内地馬ガ、一タビ之ヲ
戦地ニ送ツテ見マスルト、其ノ乗御使役ノ
點ニ於テ、飼養管理ノ點ニ於テ、其ノ能力
ノ點ニ於テ、甚ダ不十分デアリ、或ハ氣候
風土ノ關係、或ハ飼料ノ關係、或ハ乘御使
役ノ過度等ニ依ツテ、用兵作戰ノ上ニ少カ
ラザル不便不利ヲ來シタデハナカラウカト
察スルノデアリマス、是ニ於テ軍ハ前申シマ
シタ規格ニ基ク所ノ馬ノ要望ヲ農林省ニ向
ツテセラレ、農林省ハ此ノ要望ニ基キマシ
テ、第二次計畫ヲ擲ツタトハ申シマセヌ
ガ、直チニ變改ノ舉ニ出デラレマシタノデ
アリマス、併シ假令農林省ノ方針ガ變リマ
シテモ、馬ハシンコ細工ノヤウニ直チニ自
由自在ニ出來ルモノハゴザリマセス、軍
馬ニ供用スルマデニハ、最短年限ニ於キマ
シテ六箇年ヲ費シ、或ハ七箇年、八箇年ヲ
費スニアラザレバ、軍馬ニ供用スルコトハ
出來ナイノデアリマス、而シテ此ノ不完全
ナル所ノ、能力ノ不足ナル所ノ馬ヲ、軍ノ
要望ニ副フ所ノ馬ニ作り變ヘヨウト致シマ
スルト云フコトハ、實際上ニ於キマシテモ、
技術上ニ於キマシテモ、容易ナラザル事柄
デゴザリマスルガ、併シナガラ全國ノ生產當
業者ハ努メテ此ノ馬ヲ作ランコトニ精勵ヲ
致シテ居ル、併シナガラ如何ニ良イ馬ヲ作ラ
ウト致シマシテモ、之ニ伴フ所ノ牧野ト云
フモノガナケレバ相成ラヌノデアリマス、
牧野ナクシテ飼育管理ニ容易ナル馬、或ハ
我國ノ馬產地方ヲ見マスルト、唯僅ニ北海
道ニ於キマシテハ、俗ニ申ス帝國牧場ナル

モノガ未ダ存至致シテ居リマスルガ爲ニ、
多少放牧地、採草地トシテ自由ニ使ヒ得ル
モノガゴザリマスルカラ、生産費ガ安ク、
一人ニテモ多數ノ馬ヲ生産シツツアルノデ
ゴザリマス、然ルニ北海道ヨリモ多數ノ馬
ヲ生産致シテ居リマスル所ノ東北六縣、或
ハ九州方面ノ主要馬產地ニ於キマシテハ、
全ク此ノ放牧地、採草地ノ行詰リヲ生シテ
居リマシテ、青森縣ノ如キ優秀馬ヲ產出シ
テ居リマスル八戸邊遼ニ行ツテ見マスルト、
青森縣ノ山ト云フ山ノ大部分ガ國有林デア
リ、而モ斯様ニ豐富ナル國有林ノ中ニ於テ
馬ヲ自然ニ放牧スルコトハ出來マセヌ、自
由ニ採草ヲシテ飼料ヲ與ヘルコトハ出來マ
セヌ、所謂舍飼ヲ以テ致シテ居ルノデアリ
マス、金飼ヲ致シマシタ馬ハ生産費ガ非常
ニ高クナリ、隨テ四肢ノ強健ヲ缺キ、關節ノ
健全ヲ失フコトハ固ヨリ免レ難イコトデア
リマス、低身廣軀ニシテ四肢強健ナル馬ハ、
此ノ放牧地ノ開放ヲ得ズシテハ到底不可能
ノコトニ屬スルノデゴザリマスルガ、只今
委員ニ付託セラレマシタル森林法ノ改正案
ヲ拜見致シマシテモ、同ジ馬ト山林トヲ掌
ラレル農林大臣ハ、此ノ馬ノ放牧ニ付キマ
シテハ、何等茲ニ御目醒メニナツテ居ラヌ
カノヤウニ存ズルノデアリマス、牧野ノ開
放ハ獨リ生産方面バカリデハゴザリマセ
ス、育成、利用ノ方面ニ於キマシテモ、多
年之ヲ望シ、其ノ開放ヲ要求致シテ居ル
ノデアリマスルガ、農林省山林局ニ於キマ
シテハ未ダ其ノ擧ニ出デザルノミナラズ、
所謂林間混牧ト云フモノヲ要求致シマシテ
モ、言ヲ左右ニ致シマシテ未ダ混牧サヘモ
許シテ居ラヌノデアリマス、混牧ト申スモ
ノハ林間ニ馬ヲ放スノデアリマス、林間ニ
馬ヲ放スト木ノ芽ヲ食フトカ、或ハ木ノ皮
ヲ食ツテ木ノ發育ヲ妨ギラレルト云フヤウ

ナコトヲ申サレテ居リマスガ、北海道ノ一ツノ例ヲ見マスルト、馬ヲ混牧致スガ爲ニ、却テ林業ヲシテ自然ニ盛ンナラシメテ居ル實例ヲ見出スノデアリマス、北海道ハ御承知ノ如ク何レノ山ニ行キマシテモ筐ト云フモノガ密生テ致シテ居リマス、北海道ノ放牧ハ此ノ筐ヲ馬ノ飼料トシテ、春夏秋冬、雪ヲ掘ツテ馬ガ筐ヲ食ツテ生存ヲシテ居ルト云フ程、筐ガ馬ニ對スル關係ヲ有ツテ居ル、此ノ筐ハ春ニナツテ筍が出來マスルト、昨年出來タ所ノ竹ハ皆葉ヲ落シテシマヒマス、サウシテ新シキモノニ代ル、年々斯様ニシテ代リマスルト、其ノ竹ノ葉ガ段々積重ナリマシテ一つノ層ヲ成シ、木ノ實ガ落チマシテモ其ノ木ノ實ガ土ニ觸レヌノデアリマス、兩ガ降リマシテモ兩ガ土ニ浸透シナイデ流レルノデアリマス、日光ハ土ニハ來ナイノデアリマス、デアリマスカラ、此處ニ木ノ實ガ出來マシテモ少シモ實生ト云フモノハ生ジナイ、所ガ此ノ林野ニ馬ヲ放チマスト、馬ガ毎年々々其ノ筐ヲ食ツテ參リマス、枯葉ガ積ツテ層ヲ成スト云フコトへ出來マセカラ、木ノ實ハ實生ヲ生ジテ却テ林相ヲ助ケテ居ルト云フ事實サヘルニ拘ラズ、農林省ニ此テハ此ノ混牧スラ許シテ居ラヌト云フヤウナ實情ニ置カレテ居ルノデアリマス、農林大臣ハ此ノ牧野ノ開放、此ノ放牧地、採草地ニ對シテ如何ナル英斷ノ擧ニ出デラレントスルカ、此ノ點御伺ヲ致シタイト存ジマス

頭ノ中三千頭ヲ國有トスルノ計畫ニナツテ居
ツタノデアリマス、然ルニ此度軍ノ要望ガ
農林省ノ容ル所トナリマシテ、昭和二十
年度ニ達スル時ニ於キマシテハ、六千頭ノ
種牡馬全部ヲ國有トスルノミナラズ、更ニ
一千五百頭ヲ増加スルノ計畫ト相成ツテ居ル
ノデアリマス、斯様ナ急激ナル計畫ニ依ツ
テ、果シテ適當ナル所ノ種牡馬ヲ得ルコト
ガ出來ルデアラウカ、是等モ私ノ甚ダ疑ヲ
免レルコトガ出來ナイ點デアルノデアリマ
ス、若シ良イ馬ヲ出サウト致シマスルナラ
バ、生産地方ニ對スルモット徹底的助成ヲ
必要トスルノデハナカラウカ、又馬產ノ變
革ヲ行フニハ、生産地方ニ於ケル徹底シタ
ル所ノ助成ヲ必要トスルノデハナカラウカ
ト思ハレル、ナゼナラバ生産者ノ資力ハ甚
ダ乏シイノデアリマス、今日マデ良馬トシ
革ヲ行フニハ、生産地方ニ於キマシテハ、輕
種生産ノ爲ニ或ハ「サラブレット」、或ハ「ア
ラブ」、「アングロアラブ」、是等ノ馬ハ所謂
「ハタ」馬ト稱シ、種牡馬ヲ繁養致シテ、ソ
レニ依ツテ輕種生産ヲ致シテ居ル所ニ、今
度ハ逆交配ヲスル、或ハ中間種ヲ配合スル
トカト云フコトニナリマシテハ、是ハ良い
軍馬ヲ得ルコトハ中々容易デハナカラウト
思フ、併シナガラ生産當業者ノ資力ハ直チ
ニ此ノ種牡馬ヲ更新スル力ガナイノデアリ
マス、故ニ斯ウ云フ地方ニ對シテハ、國ノ
力ヲ以テ適當ナル種牡馬ニ更新ヲセジメテ、
適當ナル所ノ變革ヲ致シマシテモ、其ノ實績
理想ノ馬ヲ出スコトガ出來ルカモ知レヌノ
デアリマス、現在ノ制度ニ於テ唯斯様ニ急
激ナル所ノ變革ヲ致シマシテモ、其ノ實績
ガ果シテ舉ルカドウカニ私ハ疑ヲ持タザル
ヲ得ナイノデアリマス、此ノ種牡馬ノ統制

實行ニ當リマシテ、果シテ其ノ實績ヲ得ル
カドウカト云フコトニ付キマシテ、農林大
臣ノ御所見ヲ伺ヒタインデアリマス
次ニハ鍛錬競技ニ關スルコトデアリマス、
此ノ軍馬資源鍛錬法案ニハ軍馬候補馬トシ
テノ多數ノ馬ヲ鍛錬スルノデアリマスガ、此
ノ鍛錬法ノ實施ニ伴ヒマシテ、今日マデ全
國百十數箇所ニ行ハレテ居リマシタ所
ノ、所謂地方競馬ト云フモノハ廢止セラ
レルコトニナルノデアリマス、北海道ノ
如キハ十四箇所ノ地方競馬場ヲ持ツて居リ
マスルガ、此ノ法律ノ實施ニ當リマシテ
ハ三箇所ニ減リ、各府縣二箇所三箇所ノ競
馬場ガ一箇所ニ減ラサレネバナラヌ、斯様
ニナルノデアリマス、此ノ鍛錬競技ニ付キ
マシテハ、從來省令ヲ以テ行ハレテ居リマ
シタガ、此ノ開催主催者ハ其ノ弊害ニ堪ヘ
兼ネテ、此ノ法律化ヲ要望致シテ居リマス
ルコト多年、茲ニ漸ク鍛錬法ニ附隨シテ鍛
錬競技ナル名目ノ下ニ、地方競馬ハ換骨奪
胎ヲ致スコトニナツタノデアリマスガ、之
ヲ行フニ當リマシテ、軍用保護馬鍛錬中央
會ナル中央機關ガ設立セラレ、此ノ鍛錬競
技ニ關スル一切ノ事務ヲ行フコトニナルノ
デアリマス、由來馬ニ關スル團體ハ法律ニ
依ツテ出來マシタル日本競馬會、或ハ乘馬
協會、或ハ帝國馬匹協會ト云フヤウナ三ツ
ノ團體ガアルノデアリマスルガ、各々其ノ
掌ル所ヲ異ニ致シテ居リマスルケレドモ、
從來地方競馬ニ關シテハ、總テ帝國馬匹協
會ニ於テ取扱ハレテ居リ、出走馬ノ登録ヲ
農林省ノ委任ニ依ツテ扱ツテ居ルト云フヤ
ウナ風ニナツテ居ルノデアリマス、今日時
代ノ要求ニ依ツテ總テが統制或ハ簡易化サ
レントシテ居ル時ニ當リマシテ、現在三團
體ガアリマシテスラモ、色々不便不利益ナル
コトヲ見出スノデアリマスルガ、更ニ中央

機關デアル此ノ中央會ナルモノガ出來マスルナルアラバ、一ツノ團體ヲ加ヘルコトニナルノデアリマス、併シナガラ帝國馬匹協會ノ組織ガ之ヲ扱ハシムルコトガ出來ナイノデアルカドウカハ知リマセヌガ、立法技術ノ上カラシテ、此ノ機關ヲ出サナケレバナラヌコトニチツタノデハナイカト思フノデアリマスガ、ソレニ付キマシテハ將來此ノ機關ノ運用ニ當ツテ、相剋摩擦トハ申サヌデモ、不利不便ヲ防ギ、既設ノ中央團體ト密接ナル連繫ヲ保ツテ行クコトガ、效果的ノモノデアルト信ズルノデアリマスルガ、是等ノ點ニ付キマシテ農林大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイト存ズルノデアリマス

次ニハ陸軍大臣ニ簡単ニ御伺ラシタイ、軍馬資源ノ維持涵養ニ付キマシテハ、軍ニ於カレテモ非常ニ關心ヲ持タレマシテ、陸軍ノ馬ニ對スル計上豫算ヲ見マシテモ、昨年ニ比較シテ數倍ニ増加ヲ致シテ居ルノデアリマス、併シナガラ馬ノ値段ガ非常ニ高クナツテ參リマスルカラ、其ノ豫算ノ増加シマシタコトニ依ツテ、其ノ内容ガソレ程充實シテ行クモノトハ存ゼラレナイノデアリマス、私ハ此ノ鍛錬法ニ依ツテ鍛錬セラレマスル所ノ軍馬資源ハ、寧ロ陸軍省ノ直轄トシテ行ハレタナラバ如何デアラウカ、言葉ヲ換ヘテ申セバ、今日ノ軍馬制度ヲモット廣義ニ行ツテ戴キタイト思フノデアリマス、此ノ鍛錬ヲ陸軍ガ行ヒ、其ノ豫算一千万圓ニ近キモノノア、農林省ヲシテ生産計畫ノ爲ニ使ハシテ戴キマシタナラバ、非常アラウカト存ズルノデアリマス、次ニハ育成馬牡馬ノ購買ノ頭數及ビ價格ヲ引上ゲル委託スルヤウナ方法ヲ執ラルノガ如何デアラウカト存ズルノデアリマス、又現在ノ在郷軍馬制度ヲ、其ノ在營年限ヲ短縮致シマシテ、多數ノ在郷軍馬ヲ民間ニ

必要ガアルト思フノデアリマス、育成馬ト申シマシテモ、生産者ノ手カラ直接買上ゲル所ノ二歳馬ヲ主トシテ指スノデアリマスガ、今日ノ育成馬ハ軍縮時代ニ縮小セラレマシク其ノ儘ノ規模デ今日ニ及ンデ居ルノデアリマスルカラ、育成馬ハ如何ナル場合ニ於キマシテモ、其ノ能力其ノ乗御使役ニ擴張セラレマシテ、此ノ二歳幼駒ノ買上ゲルヲ增加シ、其ノ價格ヲ引上げテ下サイマスルナラバ、馬產獎勵上生産増進ノ上ニ非常ニアリマス、所謂今日ノ軍馬補充部ヲ非常ニ擴張セラレマシテ、此ノ二歳幼駒ノ買上ゲルヲ云フモノノ擴張ヲ必要トルト思フノデアリマス、所謂今日ノ軍馬補充部ヲ非常ニ擴張セラレマシテ、此ノ二歳幼駒ノ買上ゲルナラバ、馬產獎勵上生産増進ノ上ニ非常ニアリマスガ、此ノ點ニ付テ陸軍大臣ノ御所見ヲ承リタイノデアリマス甚ダ恐レ入リマスガ、モウ少シデアリマス、文部大臣ニ簡単ニ御伺ヲ致シタイコトハ、文部省管轄ニアリマスル各府縣ノ農學校或ハ青年學校——農事教育ヲ主トシテ教育セラレテ居リマスル所ノ農學校ニ今日馬事教育ノ施設ノナイコトハ甚ダ不可思議ニ堪ヘナイ次第デアリマス(「ヒヤ／＼」拍手)農業デ馬モ牛モ教ヘズシテ本當ノ此ノ日本農村ノ經營ガ出來得ルデアリマセウカ、何處ノ農學校ニ行ツテ見マシテモ、馬一匹置ク所ガ無イノデアリマス、何處ノ青年學校ヲ見マシテモ、恐ラク馬ヲ置ク計畫ニナツテ居ル所ハナイト思フノデアリマス、支那事變ガ起リマシテ、特務兵其ノ他召集セラレマシテ馬ヲ扱ハナケレバナラヌ人々ガ、馬ト云フモノヲ見タコトモナイ——トハ申シト云フモノヲ見タコトモナイ——トハ申シ初メテ接スルノデアリマスカラ、モウ怖イ

一方デアル、或ル停車場ニ兵隊方線路ニ倒レテ居ツタ、介抱シテ聽イテ見ルト、馬ガ怖クテ馬ト一緒ニ列車ノ中ニ居ラレヌカラ外ニ出テノニ縋ツテ來タガ、或ル停車場ニ列車ガ到著スルト同時ニ手ヲ放シテ倒レタ、是ハ一例デアリマスルガ、是ガ爲ニ不慮ノ傷ヲ受ケタリ、或ハ生命ヲ失ツタ者ナシトモ限ラヌノデアリマス、是ハ畢竟スルニ普段之ニ對スル所ノ教育、馬ニ對スル所ノ知識ノ涵養ガ乏シイ結果、茲ニ至ツテ居ルモノ限ハズ、馬ニ對スル所ノ知識、馬事ニ對スル所ノ教育ハ、最モ必要ナル緊急事ト思フノデアリマスガ、文部大臣ノ之ニ對スル所ノ御所見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス（拍手）

林地ニ付テハ營林上大ナル支障ナキ限りハ開放ヲ致シタイ考デ今考究致シテ居ル最中デアリマス、又放牧、採草地ニ對シマシテハ相當ノ費用ヲ投ジテ今日其ノ放牧採草地擴充ヲ致シツツアルノデアリマス
ソレカラ種馬統制ニ關シマシテ御意見ガアリマシタガ、是ハ今回ハ大體ニ於テ國有ノ建前デアリマシテ、特別ノ場合ニ於テ民間ニ許スコトトナツテ居ルノデアリマシテ、全國的ニ遺漏ナキヤウニ致シタイ考ヘテ居リマス

鍛錬競技ニ付キマシテ御意見ガアツタノデアリマスガ、從來ノ日本競馬會、軍事保護馬中央鍛錬會、サウ云フモノガ澤山出來ルコトハドウデアラウカト云フ風ナ御意見ノヤウニ拜承致シタノデアリマスガ、今回ノ軍事保護馬中央鍛錬會ハ、御承知ノ如ク從來ノ公認競馬、即チ日本競馬會ノ管理致シテ居リマス競馬會ノ出場馬トハ全然異ツテ居リマス、殊ニ從來ノ地方競馬會ト云フモノノ整理ヲモ、此ノ中央會ガ擔任致スコトニナツテ居ルノデアリマシテ、特殊ノ事情ガ存在シテ居ルノデアリマス、併シナガラ日本競馬會、其ノ他ノ會派ト密接ナル連絡ヲ取リマシテ、馬事思想ノ發達竝ニ馬匹増殖ニ對シマシテハ出來ルダケ其ノ目的ヲ達シタイト考ヘルノデアリマス

最後ニ、是ハ文部大臣ヘノ御質疑ノヤウデアリマシタガ、文部大臣ハ見エマセヌカラ、何レ適當ノ機會ニ於テ御返事がアルカモ知レマセヌガ、地方ノ青年ニ馬事教育ヲ致スト云フコトニ付キマシテハ、御説ノ通り最モ必要ヲ感ジマシタノデ、今回農林省ニ於キマシテハ之ニ對スル所ノ經費ヲ要求

○國務大臣板垣征四郎君登壇
（拍手）
〔國務大臣板垣征四郎君登壇〕
○馬事教練ヲ致シタイト考ヘテ居リマス
ノ馬事教練ヲ致シタイト考ヘテ居リマス
ノ如キモ陸軍ノ主管トシテハ如何カ、斯ウ
云フ御意見ノヤウニ承リマシタガ、陸軍ノ
馬ニ關スル豫算ニ付キマシテハ、他ノ兵器
ト同様大イニ重視シテ居ル所デゴザイマス
ガ、馬政ニ關スル豫算ハ軍事費豫算ノ範圍
外デアリマシテ、農林當局ノ豫算トシテ計
上セラルベキモノト考ヘテ居リマス、但シ
本豫算ニ付キマシテハ、軍事費トモ看做シ
マシテ、其ノ成立ニ協力シテ居ル次第デア
リマス。
尙ホ軍用候補馬ノ鍛錬ニ付キマシテハ固
ヨリ陸軍トシテ大イニ關心ヲ有スル次第デ
アリマスガ、鍛錬ノ馬數及ビ其ノ分布其ノ
他實施ノ大綱ニ關シマシテ、必要ニ應ジテ
要望ヲ開示シ、農林當局ニ實施ヲ一任致シ
マシテ差支ナイモノト考ヘテ居リマス。
第二ノ御質疑ハ在郷軍馬ノ制度ヲ設クル
考ハナイカト云フヤウナ御質問デアリマシ
タガ、在郷軍馬制度ヲ設ケントスル御趣旨
ハ有事ノ際ニ於ケル所ノ徵發ノ對象トナル
ベキ軍用適格馬ヲ、成ベク多ク民間ニ保有
セシメントスルニ外ナラスト考ヘルノデア
リマスガ、今議會ニ提出セラレマシタル所
ノ軍馬資源保護法案ハ、國防上特ニ必要トス
ル所ノ馬ノ資質ノ向上ヲ期シ、軍馬資源
充實ヲ圖リ、有事ノ際ニ於ケル所ノ徵發
ニ遺憾ナカラシムル目的ヲ持ツテ居ルノデ
アリマスルガ故ニ、在郷軍馬ノ制度ヲ設ケ
ントスル趣旨ハ之ニ依ツテ達成セラレルモ
ノト考フルノデアリマス、隨テ本法案が成

立致シマスルニ於テハ、特ニ在郷軍馬制度ガ、如何ニ之ヲ擴張致シマシテ、資源取得ノ見地カラ申シマスルナラバ、之ニ大ナル所ノ期待ヲ掛ケ得ザルノミナラズ、強ヒテ之ヲ擴張致シマスルナラバ、毎年必要以上ノ新馬ヲ軍隊ニ於テ調教ヲ要スル結果トナリマシテ、戰鬪ヲ以テ基準トスル所ノ軍隊ニ多大ノ煩累ヲ掛ケル結果トナルノデアリマス

次ニハ軍馬ノ購買價格ノ件、又二歳幼駒ノ購買頭數ヲ増加シテハドウカ、斯ウ云フ御意見デアリマシタガ、支那事變勃發以來馬ノ市價ハ著シク騰貴致シマシタノ鑑ミマシテ、右ノ市價等ヲモ考慮シテ逐次購買價格ヲ増加致シマシタ次第デアリマス、而シテ尙ホ將來軍馬ノ購買價格ヲ適正ナラシムル點ニ付キマシテハ、御趣旨ニ副フ如ク考慮致ス考デアリマス、又二歳ノ幼駒ノ購買數ノ増加ノ件ニ付キマシテハ、從來生産保護ノ見地カラ努力シ來ツタ所デアリマスルガ、右ノ頭數ノ増加ハ軍ノ編制トモ關係ヲ有スル事項デゴザイマシテ、研究ノ上ニ善處致シタイ考デアリマス

(政府委員小柳牧衛君登壇)

シテ、既ニ農學校ノ職業科ニ於キマシテ、ソレ
ノ教習ニ便シテ居ル所モアリマスルガ、又
當局ト致シマシテモ、是等ノ特殊施設ノ補
助等ニ付キマシテ相當考慮ヲ拂ツテ居ルノ
デアリマス、併シナガラ只今モ御話ノアリ
マシタ通り、當局ハ之ヲ以テ満足スル者デ
ハアリマセヌ、殊ニ時局ハ益々產馬ニ付キマ
シテ國防上竝ニ產業上要望スル所ガ多イノ
デアリマスカラ、是等ノ點ヲ考慮致シマシ
テ、益々此ノ趣旨ヲ貫徹スルニ努メマシテ、
御期待ニ副ヒタイト存ズル次第デアリマス、
左様御説承ヲ願ヒマス

○議長(小山松壽君) 森田重次郎君

〔森田重次郎君登壇〕 森田重次郎君

○森田重次郎君(登壇)

先づ第一番ニ御伺致シタイコトハ、當局ノ
方針ガ目マグルシイバカリニ變更スルコト
ニ對スル民間側ノ考へ方デアリマス、第一
次馬政計畫一期二期更ニ第二次馬政計畫ナ
ルモノガ二年前ニ成立ツテ是ガ實施ノ運ビ
煩ハシタイト思ヒマス

○議長退席、副議長著席

更ニ今回ノ事變ニ鑑ミタト云フコトヲ理
由ト致シマシテ、内地馬政計畫ナルモノガ
樹立セラレタサウデアリマス、考ヘテ見マ
スルニ、馬ハ物デアリマセヌ、命ノアル
モノデス、隨ヒマシテ金ガ多イカラト云ウ
テ、直チニ計畫ヲ變ヘマシテモ、容易ニ之
ニ順應スルコトノ出來ナイノハ當然ノコト
ナノデアリマス、或ル地方ニ於テ輕イ馬ヲ

拘へ上アマスルマデノ當事者ノ苦心ト云フ
モノハ、容易ナラヌモノガアツタノデアリ
マス、數百年來ノ傳統ト風土ト鬪ヒマシテ、
ヤウ／＼ニシテ把握致シマシタル技術ガ、
當局ノ一片ノ改造ヲ以テ無残ニモ打破セラ
レマシテ、サウシテ新ナル方針ニ依ツテ將
來又粒々辛苦ノ惱ミヲ續ケテ行カナケレバ
ナラナイト云フコトハ、民間側ノ犠牲蓋シ
大ナルモノガアルト信ズルノデアリマス（拍
手）然ルニ吾々ノ所見ヲ以テ致シマスレバ
陸軍側ノ要求ニ依ツテ今回ノ馬政計畫ナル
モノガ樹立セラレタモノダサウデアリマスル
ルガ、自露戰爭ノ經驗ニ依リマシテモ、或
ハ滿洲事變ノ經驗ニ依リマシテモ、亦類推
シ得ル一ツノ見透シサヘ持ツテ居リマスル
ナラバ、我國ニ於ケル戰爭ハ支那大陸若ク
ハ滿蒙或ハ「シベリヤ」デ起ルデアラウト云
フコトハ、何人モ數年前ヨリ豫想致シテ居
ツタ所ナノデアリマス、（拍手）然ルガ故ニ
若シ當局ニシテ眞ニ馬ノ生産者ヲ愛シ、眞
ノ國防ヲ充實シヨウト致シマスルナラバ、
此ノ見透シノ下ニ容易ニ變更スベカラザル
永遠ノ大計畫ヲ立テルノガ、私ハ當局ノ責
任ダト考ヘル者デアリマス（拍手）今回日
支事變ノ試行錯誤ニ依ツテ新タル方向ヲ
決定スベキ必要ニ迫ラレテ、今回ノ提案ガ
アツタサウデアリマスルガ、已ムヲ得ナイ
コトハ已ムヲ得ナイデアリマセウ、アリマ
セウガ、之ニ依ツテ被ル生産者ノ損害、將
來如何ナル方面ニ向ヒ、如何ナル方法ニ
依ツテ此ノ犠牲ヲ御救ヒナサラウトスルノデ
アルカ、サウシテ又此ノ計畫ニ依ツテ、將
來ノ北方ノ或ル方面、或ハ南方ノ或ル方面ニ
於テ或ル事件ガ突發致シマシテ、ソレニ依
ル經驗ニ依ツテ再ビ馬政計畫ヲ變更スルガ
如キコトガアツテハ國民ハ到底之ヲ甘受ス
ルコトガ出來ナイノデアリマス、ドウカ其

ノ意味ニ於テ、今回樹立セラレタル馬政計畫ノ内容ニハ、サウ云フヤウナ永遠ノ見透ノ下ニ計畫ヲ立テラレタ、容易ニ變更スベカラザルモノデアルヤ否ヤ、此ノ席ニ於テ御斷言アランコトヲ御願致ス者デアリマスシタイト思ヒマス、地方競馬法ガ廢止セラレマシテ軍馬資源保護法案ガ出サレタ、目的ハ軍馬ノ確保デアリマス、之ニ依ル統制デアリマス、ソレハ宜イノデアリマス、ダガ一面吾々考ヘナケレバナラナイノハ之ニ依ツテ馬ノ値段ガ高クナルカドウカノ一點デアリマス、若シ目的ヲ強調スルコトニ依ツテ馬ノ値段ガ高クナラナイト云フコトニナリマスト、生産力擴充ノ原則ニ矛盾ヲ生ズルコトニナルト私ハ考ヘマス(拍手)然ルニ今回御提案ニナリマシタ軍馬資源保護法案ナルモノヲ見マスト、先づ色々々ノ方面カラ拘束ヲ加ヘテ居ルノデアリマスガ、其ノ最モ顯著ナルモノハ、競馬期日ガ短クナツタ云フ點、更ニ一縣一箇所ニ限ラレタト云フ點、更ニ或ル範圍内ニ於キマンシテ出走管區ナルモノヲ定メマシテ、其管區以外ニハ馬ヲ出スコトノ出來ナイト云フ制限ガ加ツテ居ルコトナノデアリマス、サウ云フ制限ノ下ニ行ハレテモ、尙且ツ競馬價值アリトシ、ソコニ一種ノ興味ヲ以テ此ノ軍馬資源保護法案ナルモノガ運用セラレマスルナラバ、生産者モ喜ビ、國家モ亦其ノ目的ヲ實現スルコトガ出來ルデアリマセウガ、若シ此ノ色々ノ制限ニ依リマシテ競馬ニ對スル興味ト云フモノガナクナリマシテ、ソレニ依ツテ馬ノ値段ト云フモノガ低下致スト云フコトニナリマスレバ、如何ナル法律ヲ以テシテモ産馬ノ事業ヲ盛ンニスルト云フコトハ、私ハ断ジテ出來ナイコトニナルノダト思フノデス

アリマス(拍手)其ノ意味合ニ於キマシテ、
政府ハ軍馬資源保護法案ノ内容ニ定メテ居
リマスル色々ノ制限ヲ、モウ少シ緩和スル
御考ハナイカ、此ノ點ヲ御伺シタイノデア
リマス
第三ニ文部當局ニ御伺致シタイノデアリ
マスルガ、成ベク簡潔ニ申上ゲマスガ、馬
ノオ醫者サンガ足ラナクナツテ居ルノデア
リマス、サウシテ馬ノ生産率ガ漸次低下シ
ツツアルノデアリマス、是ハ容易ナラナイ
問題ナノデアリマシテ、ドウシテモ、獸醫
ヲ養成スルコトヲ相當重要視スルコトニナ
ラナケレバ、此ノ法案ヲ定メマシタ目的ヲ
達成スルコトガ出來ナイト云フノが私ノ考
へ方ナノデアリマス、然ルニ文部省ハ地方
農學校ニ併設致シテ居リマシタル獸醫科ナ
ルモノヲ廢止致シマシテ、ソレニ代フルニ
農林學校等ニ相當數ノ生徒ヲ收容シヨウト
云フ御計畫ヲオ立テニナツテオ居デニナル
ヤウデアリマス、成程程度ノ高イオ醫者サ
ンヲ造ルト云フノデアリマスカラ、私等ハ
無論ソレニ對シテハ贊成スル者デアリマス
ルガ、一面程度ガ高クナリマシテモ、オ醫
者サンノ數方非常ニ少クナリマシテ、地方
ノ病氣ノ急ニ應ズルコトガ出來ナイト云フ
ヤウナ現象ガ惹起致シマシタナラバ、是ハ
地方產馬界ニ取ツテハ洵ニ由タシイ一大事
デアルト考ヘルノデアリマス、文部省ハ此
ノ農學校ニ併設致シマシタ獸醫科ヲ再び復
活スル御意思ガナイカ、更ニ又他ノ方法ト
致シマシテ、其ノ農學校ニ二箇年位ノ専攻
科ヲ設ケマシテ、此ノ急ニ應ズル御意思ガ
ナイカ、更ニモウ一ツ文部當局ニ御伺致シ
メデアリマシタ爲ニ、農林學校ナル本來ノ
タイコトハ、先程申上ゲマシタ農林學校等
ニ比較的高等ナル獸醫ヲ養成シヨウトシテ
科ヲ設ケマシテ、此ノ急ニ應ズル御意思ガ
ナサイマシタ此ノ施設ガ、餘リニ急ナル求

重大視シナイヤウナ處ニ獸醫科ノ生徒ヲ募集スルト云フヤウナ形ニナル傾向ガアリ、且ツ一箇所ニ相當ナ人數ヲ集中致シマシタ爲ニ、其ノ地方ニ於テハ實驗材料トシテノ動物ヲ得ルコトガ極メテ困難ダト云フ一事ガアルコトハ、見逃スコトノ出來ナイ一ツノ事實ナノデアリマス、是マデ工業學校ニ致シマシテモ、或ハ其ノ他ノ學校ニ致シマシテモ、都會中心デアリマシテ、總チノ教育機關ハ都會ヘ都會ヘト集ツタノデアリマスルガ、ソレモ單ナル抽象的ナル概念ノ把握ヲ求メルモノデアリマシタナラバ格別目デアリマスルガ、此ノ獸醫科ノ如キハ、實驗ノ材料トシテノ動物ヲ得ルコト能ハザルト云フコトハ、其ノ學校ノ最モ大切ナル目的ヲ達スルコトガ出來ナインデアリマス、然ルガ故ニ、文部省ハ此ノ日滿支全般ヲ通ズル產馬擴充計畫、之ヲ充實セシムルツノ永世的ノ施設ト致シマシテ、最モ實驗材料ノ多イ地方ニ單科大學ヲ設クル御意思ナキヤ否ヤ、此ノ點ヲ御伺致シタインデアリマス

アリマス、文部省ニ於テハ多少ノ御施設ガアラルルヤウデアリマスルガ、斯ノ如ク馬ノ生産擴充ヲ目的トスル大計畫ト大キイ豫算ノ下ニ案ガ出マシタル場合ニハ、之ニ應ジマシタル科學的施設モ亦之ニ副フヤウナ形ニナサラナケレバナラナイノデナイカ、隨テ文部省トシテハ、舊來ノ小規模ノモノヲ更ニ大規模ノモノト致シマシテ、此ノ民間ノ需要ニ應ズル御意思アリヤ否ヤ、此ノ點ヲ御伺致シタインデアリマス
更ニ第五ノ點デアリマスルガ、是ハ先程大石先輩ノ御演説ノ中ニモ出テ居リマシタカラ、簡單ニ申上ゲマスガ、要スルニ馬ノ値段ヲ高クスルノデナケレバ、生産家ハ逆モ立ツテ行ケナイ、其ノ價格ノ中心ヲ成スモノハ大體ニ於テ軍馬デアル、故ニ軍部ハ是ダケノ大キイ統制ト、軍部ノ方カラ向ケラレタル要求ニ依ツテ斯ノ如キ案ガ提案セラレタノデアリマスカラ、ソレニ應フル意味ニ於テモ、民間側カラ買上ゲル馬ノ値段ヲモット高イモノニシテ戴キタイト思フノデアリマス(拍手)此ノ點ニ付テ當局ハ其ノ御覺悟ガオアリナサルヤ否ヤ、此ノ點ヲ御伺致シタイト思ヒマス
更ニモウ一つ放牧地ノ關係デ御伺致シタイコトガアリマス、是モ先程大石先輩カラノ御話ガアリマシタカラ、簡單ニ要點ダケラフ申上ゲマス、我ガ東北地方ニ限ツタコトデハナイノデアリマスルガ、先づ東北地方ノコトヲ知ツテ居リマスルカラ、其ノ點ヲ申上ゲマスルガ、國有林野ト民有林野七割五分ニナツテ居リマス、所ガ東北地方ヘ參リマスト、五割、五割トナリ、青森縣、岩手県、福島縣ノ方ヘ參リマスト、國有林野

割五分ナノデアリマス、然ルニ從來ノ放牧地ハ年々開墾其ノ他ニ依ツテ面積ガ狹小トナツテ参リマシタ、ト同時ニ生エテ居ル草ノ伸ビガ段々低クナツテ参リマシタ、此ノ點ヲ補ヒマスルニハ、先程申上げマシタ飼料ノ科學的研究等モ必要デアリマスルガ、然ルニ地方官憲ノ地方民ノ要望ニ應フル態度ハ甚ダ官僚的デアリマシテ、幾ラ御願致シテモ、ドウシテモ言フコトヲ肯イテ吳レテハ最モ重要ナ問題ナノデアリマス(拍手)ナイノデス、私ノ縣ノ或ル郡ノ如キハ、一郡ノ九割マデガ官有地ナノデス、家ノ軒下マデ官有地ナノデス、ソレヲ何トカ拂下ゲテ吳レト言ウテモ、中々拂下ゲテ吳レルヤウナ態度ヲ見セマセヌ、農林當局ニ對シテ御願申上ガヨウトシテモ、中々書類ヲ上ノ方へ通シテ吳レナイト云フヤウナ狀況ニナツテ居ルノデアリマス、只今農林大臣ノ御答辯ニ依リマスルト、適當ナル措置ヲ執リマスト云フヤウナコトデアリマスルガ、中々其ノ適當ナル措置ト云フモノハ容易ニ實現サレナイノデアリマス(拍手)之ヲ私ハ農林大臣ニ御實行ヲ御願致シタイ、吾々ハ唯事ヲ好シニデ演壇カラ物ヲ言フノノデハナイノデアリマス、一體此ノ馬ノ生産ト云フモノハ、世ノ中ガ進ムニ從ヒマシテ生産費ガ非常ニ掛ツテ參リマシテ、其ノ割合ニ値段ガ上ラヌ業スレバ宜イデハナイカト云フ議論モ一面立ツデアリマセウガ、中々轉業ハ出來マセヌ——否シマセヌ、何故シナイノデアルカ

馬ニ對スル愛ガアルカラデス、命ノアル馬ダカラデス、
ノ深サニ依ツテ日本ノ馬産計畫ト云フモノ
ハ實現サレテ居ツタト云フ、此ノ一點ヲ當
局ニ私ハハツキリ分ツテ戴キタイト思フ
デアリマス(拍手)私ノ縣ノ或者ガ自分ニ持
ヘタ優等馬ヲ、關西ノ或ル地方ノ有力家ニ
賣付ケタガ、其ノ馬ニ會ヒタクテ會ヒタク
テ叶ハヌノデ、夫婦二人デ遙々ト關西マデ
行ツテ其ノ馬ニ面會シテ、何處モ見物セズ
ニ家へ歸ツテ居リマス(拍手)此ノ愛、此ノ
愛アレバヨソ東北地方カラ優秀ナル馬ガ出
テ來ルノデアリマス(拍手)今回ノ馬政計畫
ナルモノハ、國家ノ必要ニ應ジテ爲サレタ
一ツノ統制デアリマスガ故ニ、我ガ地方ノ
馬産家ハ、否、日本全體ノ馬産家ハ、必ず
ヤ之ニ對シテ贊意ヲ表シ、喜ンデ之ヲ實行
スルデアラウト私ハ考ヘル者デアリマスガ、
一面斯ノ如キ犧牲ハ國民ノ唯一方のナ犧牲
ニ依ツテ爲サレテハナリマセヌ、政府モ亦
之ニ對シテ一ツノ責任ヲ負ハナケレバナラ
ナイ(拍手)然ルガ故ニ極メテ簡單ナル我方
地方ニ有リ餘ル放牧適地ノ如キハ、農林大
臣ノ手ニ依ツテ速ニ拂下ゲ若クハ貸下ゲラ
レンコトヲ御願致シテ已マナノデアリマ
ス(拍手)ドウカ是等ニ對シテ農林大臣ノ御
覺悟ノ程ヲ御言明アランコトヲ御願申上ゲ
ル次第アリマス(拍手)

マスガ、是ハ全ク支那事變ノ結果トシテ、將來ノ國際關係ヲモ見透シテ、サウシテ此ノ計畫ヲ立テナケレバナラナクナツタノデアリマシテ、或ハ此ノ點ニ付キマシテハ、陸軍大臣カラ御説明ガアルカモ知レマセヌ、併シナガラ農林省下致シマシテハ、單ニ軍用馬ノ缺陷ヲ補フバカリデナク、我ガ產業上馬ノ増殖ヲ圖ラナケレバナラナイト云フ見地カラ此ノ案ニ同意致シタノデアリマス、今後ノ計畫ニ付キマシテハ、出來得ル限り多クノ馬匹ガ欲シイト思ヒマス、併シナガラ財政ノ關係モアリマスノデ、此ノ程度ニ於テ此ノ度豫算ヲ要求致シタノデアリマス、將來ノ見透シニ付キマシテハ、今私カラ此ノ際申上ゲルコトハ差控ヘマスガ、或ハ陸軍大臣カラ御答辯ガアルカモ知レマセヌ第二ニ馬ノ値段ノ問題デゴザイマシタガ、此ノ問題ニ付キマシテハ、陸軍、農林兩省ノ關係者ガ取引改善協議會ヲ設ケマジテ、其ノ價格ノ調整ヲ圖ツテ、餘り高クナク、又安クナク、適當ナ所ニ定メタイト考ヘテ居ルノデアリマス

又競馬場ノ數ヲ減ラシ、或ハ競馬開催日ヲ減ラシテ、殊ニ其ノ出場馬ヲ一定ノ地域ニ限ツテ、果シテ是デ適當デアルカ否クト云フ御意見ノヤウデアリマシタガ、御心配ノ點ハ御尤ト考ヘマスケレドモ、此ノ度ノ計畫ハ從來トハ異ナリマシテ、全然軍用保護馬ヲ主眼ト致シテ計畫致シマシタノデ、自ラ從來ノ競馬會トハ性質ノ異ツタ所ガアリマス、從來ノ例カラ申シマスト、全體ノ出場馬數ノ約三割餘ト云フモノガ、他ノ競馬會、即チ他ノ縣ニ出場致シテ居ルヤウデアリマス、此ノ度ハ之ヲ止メテ居リマス、此ノ點ハ少シク不便ニナルヤウデアリマスケレド

モ、又一面從來トハ優等馬ノ馬票ナドノ金額モ變リマシタシ、殊ニ公認ヲ致シテ總チノ設備ヲ改善致シテ獎勵ヲ致スノデアリマスカラ、是ハ補充シ得ルト考ヘルノミナラズ、又風教上ニモ鑑ミル所ガアツタノデアリマス、ドウカ是ハ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマスソレカラ飼料研究ノ問題ニ付テ御意見方アリマシタ、是ハ洵ニ御尤ナ御意見デアリマシテ、政府ニ於テモ綜合的研究機關ヲ設ケタイト思ヒマシテ、其ノ準備ヲ致シテ居リマシテ、今回モ小額ナガラ豫算ヲ要求シテ居ルヤウナ譯ニアリマス、牧野ノ問題ニ對シテ熱心ナル御意見ガアリマシタガ、先刻モ御答辯申上げマシタ通り、牧野採草地ニ充當スル爲ニハ、營林ニ差支ナイ限りニ於テ出來ルダケ開放ノ手續ヲ執リタイト斯様ニ今日考ヘテ居ル次第デアリマス、殊ニ此ノ點ニ付キマシテハ牧野整備審議會等方ゴザイマスノデ、篤ト協議致シマシテ御趣旨ニ副ヒタイト考ヘマス(拍手)

〔國務大臣板垣征四郎君登壇〕

○國務大臣(板垣征四郎君) 今回ノ新馬政計畫ノ點デアリマスガ、陸軍ト致シマシテ此ノ計畫ハ今回ノ事變ノ貴重ナル體驗ヲ骨子ト致シタモノデアリマス、又將來ニ對シマシテハヤハリ國防上ノ必要ニ基キマシテ十分ノ見透シモ付ケテアル次第デアリマステ、固ヨリ之ヲ遽ニ變更スルト云フコトハ考ヘテ居リマセヌ、價格ノ點ニ付キマシテハ、先程モ御答ヲ致シマシタガ、市價ノ騰貴ヲ參酌致シマシテ、其ノ適正ヲ期シツワアル次第デアリマスガ、尙ホ農林當局トモ協議ヲ致シマシテ、十分考慮ヲ拂ヒタイト思ツテ居ル次第デアリマス(拍手)

〔政府委員小柳牧衛君登壇〕

○政府委員(小柳牧衛君) 只今ノ御質問中文部當局ニ關スル部分ヲ御答致シタイト思

ヒマス、其ノ第一點ハ獸醫師ノ養成ニ關スル點ト拜承致シマシタ、御承知ノ通り先年獸醫師法ガ改正セラレマシテ無試驗検定ヲ受ケルニハ從來中等程度ノ學校卒業生ヲ以テ足レリト致シタノデアリマスガ、改正ノ結果專門學校卒業生タルコトヲ要スルヤウニ相成ツタノデアリマス、而シテ產馬ノ振興上獸醫師ヲ多數要スルコトハ洵ニ御尤デアリマスノデ、當局ト致シマシテモ是等ノ要求ニ應ズル爲ニ十三年度ニ於キマシテハ既ニ盛岡、東京及び宮崎ノ高等農林學校ニ獸醫師ノ爲ニ生徒ノ増募ヲヤツタノデアリマス、更ニ十四年度ニ於キマシテハ、島取及ビ鹿兒島ノ高等農林學校ニ於キマシテ此ノ種ノ學科ヲ新設致シマシテ、獸醫師タル者ヲ養成スルヤウニ努メテ居ル次第デアリマス、而シテ只今御話ノ通り中等程度ノ學校ニ於キマシテ、獸醫師科ヲ漸次廢止セラレマシクコトハ色々ノ理由モアリマセウケレドモ、一面ニ於キマシテハ、獸醫師タルノ資格ヲ得ルコトガ困難ニ相成ツカ點モ多々アルダラウト思フノデアリマス、而シテ只今御質問ノヤウニ此ノ際是等中等程度ノ學校ニ二箇年位ノ專攻科ヲ設ケテ、獸醫師ノ資格ヲ與ヘテハドウカト云フ御質問ニ對シマシテハ、御尤ノ理由モ存スルノデアリマスガ、是ハ農林當局ト篤ト協議ヲ遂ゲテ善處致シタイト思フノデアリマス

大學ヲ要望セラレテ居ルト云フコトモ聞イ
テ居リマス、是等ハ何レモ御尤ナル御希望
ト存ズルノデアリマスガ、併シ大學ヲ新設
スルニ付キマシテハ、色々ニア度ヨリ之ヲ
考究シナケレバナラヌト思ヒマス、殊ニ財
政ニ付キマシテハ十分ノ考究モ要スルノデ
アリマシテ、此ノ點ハ篤ト考究致シマシテ
善處致シタトイ思フノデアリマス
○副議長(金光鷹夫君) 小串清一君
〔小串清一君登壇〕

ノデアリマス、我國ノ馬政ハ日清日露ノ戰役ヲ經テ、一紀元ヲ劃シ、日露戰後、先刻來議論ノアリマス第一期馬政計畫ヲ樹立セラレテ、爾來長足ノ進歩ヲ遂ゲ、最近ニ於テ滿三十年ニ達シテ、即チ第二期馬政計畫ヲ發表セラレタノデアリマスガ、其ノ丁度僅カ二年ノ間に今回ノ事變ガ勃發シ、民間カラ徵發シタ所ノ馬ガ戰爭ニ參加シテ、有ユル缺陷ヲ認メタト云フコトカラ、先刻陸軍大臣ノ御言葉モアリマシタヤウニ、軍ノ要望其ノ他ヲ採ツテ、茲ニ此ノ法案ヲ出スト共ニ、馬政計畫實施ニ關スル一千有餘万圓ノ豫算ヲ計上サレテ居ルノデアリマス、併シ之ニ依ツテ果シテ當局所期ノ目的ヲ達スルヤ否ヤト云フコトハ、マダマダ私共大イニ心配ニ堪ヘナイノデアリマスルト云フト、單ニ軍馬資源ノ充實ト云フコトニ重キヲ置イテ、馬ト云フモノガ農村ノ生産ニ重大ナル關係ガアル、隨テ馬ト云フモノヲ養フニハ、同時ニ農村ノ馬ヲ利用セシムル方面ニ於テ、最モ政府ガ力ヲ注ガナクテハナラヌ、若シモ是ガ單ニ軍馬ノ資源ノミヲ養フト云フコトガ有ユル計畫ノ目的デアツテ、アトハ先刻御話ノ人人ノ愛馬心ヲ利用シテ、農村ガ馬ヲ澤山ニ飼フダラウト云フヤウナコトヲ考ヘタナラバ、是ハトシダ間違ヒダト思フ(拍手)寧ロ馬ヨリモ牛ノ方が實際農村ニ於テノ利用價値ハ多イ、ソレデアルカラシテ、ドウシテモ軍馬ノ資源ヲ養ヒ、數十万ノ軍用候補馬ヲ得ヨウトルスルナラバ、ヤハリ廣義國防ノ建前カラ、農村ニ向ツテ是等ノ動物ヲ色々ニ利用シ、ソレニ依ツテ生産ヲ助ケ、多少牛ヤ何カ

ヨリ不利デモ、而モ之ヲ一方ニ於テハ國家的義務、又一方ニ於テハ農村ノ生産力擴充ノ目的ニ副フヤウニ、即チ眞ノ廣義國防ノ目的カラ、產業方面ニ馬ヲ活躍サセル、サウシテ農家經濟ノ安定ヲ圖ルコトデナクテハナラヌト思ヒマス、先刻大臣ハ是ハ廣義國防ノ建設前カラ計畫シタト仰シヤイマシタガ、私ハサウ云フ形ヲ此ノ案ノ上カラ發見スルコトガ出來ナイノデアリマス、此ノ點ガ御伺フスル一ツデアリマス

第二ノ點ハ、種馬繪制法ニ依ツテ種牡馬ハ昭和二十年マニニ全部國有ト致シテ、僅ニ其ノ一部ヲ民間ニ貸ス、是ハ吾々ノ多年ノ希望デアツテ、贊成ヲスル次第デアリマスガ、併シ其ノ一部ヲ民間ニ繫養セシムルハ、產業團體ヲ適當ト考ヘルノデアリマス、サウシテ馬ノ改良ト云フモノハ、成ベク衆智ヲ集メ、經驗ヲ利用シ、馬ニ關スル經驗アル篤志家ヲ政府監督ノ下ニ、種牡馬ノ繫養ヲ許シテ、其ノ手腕ヲ發揮セシムルコトガ必要デハナイカ、全部國家ノミニ頼ルト云フコトハ、甚ダ違ツタコトヲ申スヤウデアリマスガ、原蠶種ノ國營ガ實行セラレマシテ、昨年ハ不幸ニシテ其ノ國營ノ原蠶種ガ、民間ノ蠶種ヨリモ成績劣等デアツタト云フコトデ非難ガアツタ、是ハ近頃申シニクイ言葉デスガ、官僚獨善ノ結果、有ユル衆智ヲ集メルト云フコトヲシナインデハナイカ、私ハ幾分カハ民間ノ經驗アリ、愛馬心ニ富ンダ篤志家ト云フヤウナ者ヲ獎勵シテ、種牡馬ノ保有ヲヤラセルノモ宜イカト思ヒマス

第三點ハ先刻御話ノ、第二期馬政計畫ノ定マツテ間モナク、直チニ之ヲ變革セラレク爲ニ、先刻來是ハ屢々御話ガアリマシタカラ、別ニ私ハ質問デナク、簡單ニ私ノ意見ヲ述べテ置キマスガ、突然トシテ輕種ヲ廢

シテ中間種、重種ニ重キヲ置イタ爲ニ、此ノ輕種ヲ飼ツテ居ツタ地方ノ農民ハ、非常ナル打撃ヲ被ツテ居ル、是ハ元來輕種ヲ盛ニ飼ハセルト云フコトニハ誰ガヤラシタノアリマスカ、政府ガ十數年ニ亘ル所謂馬政計畫ニ依ツテ、民間ニ此ノ飼養ヲ獎勵シテ、サウシテ茲ニ一つノ馬ノ體型ガ整ヒ、地方ニ依ツテハ輕種ノミヲ生産スル、先刻森田君ノ仰シヤツタヤウナ、涙グマシキ努力ニ依ツテ生産シタモノガ、國策ノ變更ニ依テ直チニ是等ノ馬ガ大暴落ヲスル、農民ガ非常ニ苦シムト云フコトハ、是ハ私ハ考ヘナケレバナラヌ、政府ハ少クトモ斯ル地方ノ輕種生産者農民ヲ、見殺シニスルコトハ出來ヌダラウト思フ、是ハ政府ガ適當ナル施設ヲシノ話ニ甚ダ相濟マヌノデスガ、生産地ニ重キヲ置イテ、是ガ育成利用ノ方面ニ力ヲ注イデ居ナイ、之ヲ閑却シテ居ツタ云フ點デアリマス、今回ノ馬政計畫デハ、軍用馬ヲ保有スル者ニハ補助金ヲ與ヘル、色々ノ方法ニ依ツテ多少利用地帶ノコトモ考ヘテ居ルノデアリマスガ、元來生産地帶ト利用地帶トハ緊密ナ連繋ヲ保チ、サウシテ利用地方盛ニナルト云フコトニナレバ、生産地ハヒトリデニ景氣が出ル、馬ノ値段モ上ルノデアリマス、此ノ點ノ政府ノ今マテノ御注意、又今回ノ計畫モ稍缺陥ガアルト存ジテ居リマス、之ニ付テノ御答辯ヲ願ヒタクシテ

民間カラ徵發シタ所ノ馬ガ缺陷ヲ暴露シタ、私モ一昨年戰地ニ參リマシテ、其ノ實狀ヲ見タノデアリマス、是等ノ原因ニ驚イデ、急イデ馬ノ血種ヲ變ヘラレタノデハナイダラウカ、是ハ元來ガ徵發馬ト云フモノハ鍛錬馴致ガナカツタ、更ニ其ノ徵發馬ヲ取扱フ所ノ特務兵ニ、馬ノ知識ガナカツタト云上セラレ、今ヤ全國ニ亘ツテ之ヲ實行シテ居ル、又地方競馬ニ依ル所ノ馬事施設ト云フモノハ、主トシテ此ノ點ニ集中セラレテ居リマス、私ノ縣ノ如キハ海軍マヂ、總チノ軍籍ニアル壯丁ニ皆馬事教育ヲ施シテ居リマス、更ニ進ンデ一般ノ學生ニモ及ボスト云フ今研究ヲシテ居ルノデアリマスガ、要スルニ馬ノ鍛錬ガ足リナク、人ノ鍛錬ガ足リナカツクト云フコトガ此ノ原因デアルカラ、今後ニ於テハ先刻來皆サシノ御意見モアリマシタガ、進ンデ私ハ一般ノ壯丁、地方ノ青年團ト云フヤウナモノニハ、悉ク馬事教育ヲ施ス方法ヲ執リタイ、サウシテ以テ剛健ノ思想ヲ養ヒ、體位ノ向上ヲ圖ツテ、有事ノ際ニハ誰デモ馬ヲ乘御スルコトガ出來ルヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス、此ノ點ハ先刻政府ノ御答辯ガアリマシタガ、尙ホ一步考へテ戴キタイ

我國ノヤウナ苛酷ノ制限ハナイ、獨逸ノヤウナ質實剛健ナ國民性ノ國デモ、嘗て馬券ヲ停止シタコトガアル、サウスルト云フト產馬上憂フベキ事態ヲ生ジテ、間モナク又此ノ馬券ヲ復活シタト云フ事實ガアル、我國デモ明治三十九年ニ初メテ閣令ヲ以て馬券ノ發行ヲ許サン、何等ノ制限ヲ加ヘナカツタ爲ニ、非常ニ競馬俱樂部ガ濫立シ、サウシテ遂ニ儂カ二年ニシテ、之ヲ廢止スルコトニナツタガ、ソレガ爲ニ此ノ多數出來上ツタ俱樂部ハ、マダ一回モ競馬ヲ施行シナイデ停止サレタト云フ爲ニ、態、政府ハ競馬規程ヲ發布シテ、多額ノ補助金ヲ與ヘ、補助金ニ依ソテ競馬ヲ續行スルト云フ御計畫ヲ立テラレタノデアリマスガ、是等ハ何レモ收償ハズシテ僅カ數年ノ中ニ殆ド壊滅シ、解説スルト云フコトニナツタ、同時ニ産馬ハ衰退シ、馬ノ頭數ハ激減シ、國防上憂慮スベキ事態ヲ生ズルニ至リマシタノデ、遂ニ大正十二年ニ競馬法ガ此ノ議會ニ提出サレ、今日ノ十一箇所ノ公認競馬ヲ見ルニ至ツタノデアリマス、尙ホ是ノミデハマダ十六箇所ガ各府縣ノ畜產組合ニ依ツテ實行シテ居ルノデアリマス、是等ノ競馬ノ初期ニ當リマシテハ、競馬違反或ハ詐欺暴力等ノ犯罪モアツタノデアリマスケレドモ、漸次民衆ノ理解ト開催者ノ自肅ニ依ツテ、現今ハ最モ穩健ニ靜肅ニ施行セラレテ居ル、唯馬券ヲ數枚買フト云フヤウナ違反者ヲ見ルノ外ハ、殆ド地方競馬ノ弊害ト認ムベキモノハナイト思ツテ居ル、然ルニ競馬ト云フモノヲ尙ホ風教上害ガアルト言ツテ非難スルノハ、即チ嘗テ少數ノ不良行爲ヲ爲シタ者ガ大袈裟ニ喧傳サレタノデアツテ、寧

口其ノ弊害ノ原因ハ飲酒トカ、花柳界トカ、テ居ルノデアリマス、此ノ點ヲ強ク言ハレテ居ルノデアリマス、故ニ馬券ハ彼ノ非衛生的ナ遊興ナ陰暗ナル賭博ナドトハ全ク選ヲ異ニシテ、大衆環視ノ下ニ勇壯豪快ナル競技ヲナスノデアル、デアルカラ之ヲ何カ惡イコトヲスルト云フヤウナ考ヲ當局者が持ツノハドウ云フモノデアルカ、往年マダ一般國民ノ經濟思想ガ幼稚ノ場合ニハ先刻來私ノ申ス弊害モアツタラウケレドモ、現今ニ於テハ國民ノ理性ガ發達シテ居リマシテ、殆ド其ノ弊ヲ憂フル必要ハナイノデアルカラ、私ハ此ノ際鍛錬法ヲ見テツクド考ヘタノハ、今日ノ地方競馬ニ對スル有ニユル非難攻撃ガ段々ニ治マツテ來テ、サシタル弊害モナク、唯強ヒテ弊害アリトスレバ、實行ノ出來ナイ無理ナ規則ニ原因ヲ持ツテ居ルト私ハ考ヘルノデアル、デアルカラ當局者ハ之ヲ實行ノ出來ル規則ニ當缺メレバ宜シイ、全國百十六箇所ノモノ僅カ四十箇所位ニ縮メテシマフ、而モ其ノ開催ニ於テハ一方ニ於テ軍用馬ノ鍛錬競技ハ大ニヤレト言ヒナガラ、其ノ競技ノ日數ハ四日ニ制限スルト云フコトハ、先刻大臣ノ答辯モアリマシタガ甚ダ諒解ニ苦シム、私ハ此ノ院議ヲ御尊重ニナツテ、昨年當議場デ全會一致デ決議ニナツタアノ軍用候補馬鍛錬法案ノ内容ト同一ニ改ヌテ貴ヒタイト云フノガ私ノ希望デアリマス

最後ニモウツ御尋致シマスノハ、此ノ法案ハ本院ヲ通過スルモノト思ヒマス、而シテ百十數箇所ノ全國ノ地方競馬ガ全部廢止ヲセラレマシテ、サウシテ新規ノ認可ヲ得ルモノハ府縣一箇所以内ト云フノデスカラ、先づ四十箇所内外デアラウ、サウスルト此ノ四十箇所以内ノ競馬ノ施行ニ依ツテ、

而モ此ノ窮屈ナ、殆ド競馬ノ實行ガ不可能

イテ、衆智ヲ利用シテハドウデアルカト云

ニナリハセヌカト云フヤウナ窮屈ナ法律ノ取引所トカ云フヤウナモノノ弊害ト混同サ

ニナリハセヌカト云フヤウナ窮屈ナ法律ノ取引所トカ云フヤウナ窮屈ナ法律ノ

レテ居ルノデアリマス、故ニ馬券ハ彼ノ非衛生的ナ遊興ナ陰暗ナル賭博ナドトハ全ク選ヲ異ニシテ、大衆環視ノ下ニ勇壯豪快ナル競技ヲナスノデアル、デアルカラ之ヲ何カ惡イコトヲスルト云フヤウナ考ヲ當局者が持ツノハドウ云フモノデアルカ、往年マダ一般國民ノ經濟思想ガ幼稚ノ場合ニハ先刻來私ノ申ス弊害モアツタラウケレドモ、現今ニ於テハ國民ノ理性ガ發達シテ居リマシテ、殆ド其ノ弊ヲ憂フル必要ハナイノデアルカラ、私ハ此ノ際鍛錬法ヲ見テツクド考ヘタノハ、今日ノ地方競馬ニ對スル有ニユル非難攻撃ガ段々ニ治マツテ來テ、サシタル弊害モナク、唯強ヒテ弊害アリトスレバ、實行ノ出來ナイ無理ナ規則ニ原因ヲ持ツテ居ルト私ハ考ヘルノデアル、デアルカラ當局者ハ之ヲ實行ノ出來ル規則ニ當缺メレバ宜シイ、全國百十六箇所ノモノ僅カ四十箇所位ニ縮メテシマフ、而モ其ノ開催ニ於テハ一方ニ於テ軍用馬ノ鍛錬競技ハ大ニヤレト言ヒナガラ、其ノ競技ノ日數ハ四日ニ制限スルト云フコトハ、先刻大臣ノ答辯モアリマシタガ甚ダ諒解ニ苦シム、私ハ此ノ院議ヲ御尊重ニナツテ、昨年當議場デ全會一致デ決議ニナツタアノ軍用候補馬鍛錬法案ノ内容ト同一ニ改ヌテ貴ヒタイト云フノガ私ノ希望デアリマス

○國務大臣(櫻内幸雄君) 小串君ニ御答辯葉デハ、吾々ハ満足スルコトハ出來マセヌ以上七點ニ付キマシテ——其ノ中ノ二點ハ既ニ御答辯ガアリマシタカラ、殘リノ五點ニ付テ御答ヲ願ヒマス

(國務大臣櫻内幸雄君登壇) 次ニ地方産業組合ノ窮状救濟ノ問題デア

各府縣一箇所、北海道ノ五箇所ハ三箇所ト變ツテ居リマス、開催日ガ六日方四日ニ變タノハ、各府縣一箇所、北海道五箇所、年二回、開催日六日ヅツ、斯ウナツテ居ルノデアリマシテ、今回ノ提案ヲ致シマシタノハマスガ、昨年ノ本議會ニ於テ決定致シマシタノハ、各府縣一箇所、北海道五箇所、年二回、開催日六日ヅツ、斯ウナツテ居ルノデアリマシテ、今回ノ提案ヲ致シマシタノハマスガ、昨年ノ本議會ニ於テ決定致シマシタノハ、各府縣一箇所、北海道五箇所、年二回、開催日六日ヅツ、斯ウナツテ居ルノデアリマシテ、今回ノ提案ヲ致シマシタノハマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ曩ニ答辯ケレドモ、平生ハ之ヲ農村ニ於テ所謂廣義國防ノ見地ニ於テ十分働キヲサセル考デアルノデアリマシテ、之ニ對シテ飼養料ヲ助成シ、以テ農村ノ產業ニ貢獻サセタイト思フノデアリマス、全ク小串君ノ御意見ト同

スルノデハナカラウカト思ツテ、斯様ニ決意見デアリマス

次第デアリマス(拍手)

○副議長(金光庸夫君) 中野寅吉君

○中野寅吉君 極く簡単デアリマスカラ

ノ席ヨリ發言ヲ御許ヲ願ヒマス

○副議長(金光庸夫君) 許可致シマス

○中野寅吉君 私ノ質問ハ三分間デアリマ

ス、正直ナ話ハ簡単ダカラ餘り喋ラヌ、本

法案ノ質疑ニ付テ、遠山君、大石君、森田

君、小串君ヨリ今質問ガアツタガ、農林大

臣ノ答辯中洵ニハツキリシナ所ガアル、

ソレハ此ノ放牧地ノ狹イト云フコトニ付テ

ノ大事ナ質疑ニ對シテ、ソレハ營林ニ差支

ナイ範囲ニ於テヤル、ソレデハ營林ニ差

支アル時ハ放牧地ハ構ハヌカ、之ヲ平タ

ク言ヘバ、樹方大事デ馬ガ大事デナイト云

フノカ、馬ニハオ餘リヲ喰ハシテ其ノ目的

ヲ達スルト云フノカ、ソンナコトデハイケ

ナイ、此ノ重大時局デアルカラ、重大國策

トシテ、陸軍省ナリ、農林省ナリ相談シテ、

此ノ法案ヲ出シタノデハナイカ、然ラバ陸

軍大臣モ、農林大臣モ國務大臣ト云フ考ヲ

以テ、此ノ法案ノ實效ノ舉ルヤウニ心配シ

ナケレバナラナイト思フノデアルガ、然ル

ニ何ダ、營林ニ差支ナイ範囲ニ於テ放牧地

ヲ考ヘルトハドウダ(拍手)馬ノ爲ニハ何物

モ犠牲ニ供シテ、サウシテ此ノ時局ヲ乘リ

切ル決心ナケレバナラスト私ハ思フガ、

ソレヲハツキリ答ヘテ貰ヒタイ、馬ノ爲ニ

ハ營林ノ政策ナドハ一部中止シテモ、此ノ

法案ノ實效ノ舉ガルヤウニヤルカヤラヌ

カ、ソレガハツキリシナイ、奥齒ニ物ノ抉

ツタヤウナコトデハ承知ハ出來ナイ、此ノ

切ル爲ニ此ノ法案ヲ出スト云フノデハナイ

法案ノ實效ノ舉ガルヤウニヤルカヤラヌ

カ、是ハ陸軍大臣モ亦ヤラセルト云フ決心

ヲ持タナケレバナラナイ、重大時局ヲ乘リ

タルヲ聽キマス(拍手)

○國務大臣(櫻内幸雄君) 中野君ノ御意見

(國務大臣櫻内幸雄君登壇)

ハ、國有林ノ申ラ營林ニ構ハズニ伐ツテ放

牧地帶ニセヨト云フ御意見ニ聞エマスガ、

若シ果シテ然リトスレバ、治山治水ノ關係

上、或ハ洪水ガ起ルトカ、或ハ種々ナル副

作用ガ起ツテ來ルノデアリマス、是ハ餘程

考ヘナケレバナラスコトデアリマシテ、其

ノ以外ニ放牧竝ニ採草地ノ設備ヲスル方法

ガナイト云フ場合ニハ、或ハサウ云フコト

モ必要デアルカトモ思ヒマスケレドモ、他

ニ方法ガアル以上ハ、一面ニ於テ治山治水

ノコトモ考ヘ、又木材生産ノコトモ考ヘテ

政治ヲ行ハナケレバナラヌノデアリマシテ、

農林當局ト致シマシテハ、國有林ニ對シテ

ハ營林ニ差支ナイ程度ニ開放致シタイト、

斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス(拍手)

○副議長(金光庸夫君) 野溝勝君

(野溝勝君登壇)

○野溝勝君 私ハ只今上程ニナリマシタ軍

馬資源保護法案ト種馬継制法案ノ二法案ニ

付キマシテ質問ヲ試ミタイト思ヒマス、同僚

議員カラ既ニ詳細ニ瓦ツテ御質問ガアリマ

シタノデ、質問ヲサレタ點ハ重複ヲ避ケマ

シテ、一二三質問ヲ致スコトニ致シマス

申上ゲルマデモナク、今回ノ此ノ二法案

トハ、大石君竝ニ森田君等々ガ力説サレタ

重要ナ點ハ、主ニ生産者、飼育者ニ對スル

要望ト致シマシテ、價格政策、即チ馬匹ノ

値上ヲ要求シテ居ルノデアリマス、此ノ價

格政策ヲ中心ニ論議サレテ居リマスガ、農

民ノ要求シテ居ル點ハ、馬匹ノ値上リヲ要

求スルト云フコトハ鉢狀價格差ノ修正デア

トハ、大イニ贊成スル者デアリマス、併シ此ノ點ニ於キマシテ今回ノ馬政計畫ハ、吾

ノ馬政計畫モ、若シ一步誤ルヤウナコトガ

アリトスルナラバ、ソレハ却テ此ノ飼育農

家ニ對シテ失望ヲ與ヘルバカリデナク、國

防上ニ及ボス影響ノ重大サヲ吾々ハ痛感ス

ル者デアリマス(拍手)左様ナ意味デ私ハ左

ノ四點ヲ質問シテ見タイト思ヒマス

第一點ハ馬ノ增産ニ伴フ生産飼育者、農

家ニ生活安定ニ付テ政府ノ所見如何ト云フ

コトデアリマス、此ノ點ハ同僚ニ諸君ガ質

問サレマシタカラ私ハ省略致シマス、併シ

此處デ一つ申上ゲテ置カナケレバナラヌコ

トハ、大石君竝ニ森田君等々ガ力説サレタ

重要ナ點ハ、主ニ生産者、飼育者ニ對スル

要望ト致シマシテ、價格政策、即チ馬匹ノ

値上ヲ要求シテ居ルノデアリマス、此ノ價

格政策ヲ中心ニ論議サレテ居リマスガ、農

民ノ要求シテ居ル點ハ、馬匹ノ値上リヲ要

求スルト云フコトハ鉢狀價格差ノ修正デア

トハ、大石君竝ニ森田君等々ガ力説サレタ

重要ナ點ハ、主ニ生産者、飼育者ニ對スル

要望ト致シマシテ、價格政策、即チ馬匹ノ

建設オ東亞協同體ノ秩序ノ維持ト云フコトヲ盛ニ力説サレテ居ルノデアリマス、此ノ馬政計畫モ是ハ東亞協同體ノ國防計畫ノ一環デアルト私ハ心得テ居リマス、國防計畫ノ馬政計畫モ是ハ東亞協同體ノ國防計畫ノ一環デアルト私ハ心得テ居リマス、國防計畫ノ馬政計畫モ是ハ東亞協同體ノ國防計畫ノ確立、即チ東亞協同體ノ馬政計畫ノ確立コソハ、アリマス、私達至極御尤ニ感ジテ居リマス、併シ今日我國ト致シマシテハ、東亞新

シテ、第一點ハ目的ハ同ジデアツテモ、内

容ハ違ツテ居ルノデアリマス、第二點ハ日

滿支蒙ヲ通ズル大陸馬政計畫ニ付キマシテ

ノデアル、私達ハスル觀點ニ立チマシテ、徒ニ

既往ノ諸君ガ力説サレマシテ、第一點ハ、政

府ガ採上げテ種牡馬トシタコトニ付キマシ

ノ經營、有畜農業經營ノ合理化ニ依ツテ、時

期重ノ意義ヲ有ツ生産力擴充ガ解決スル

ノデアル、私達ハスル觀點ニ立チマシテ、徒ニ

既往ノ諸君ガ力説サレマシテ、第二點ハ、政

府ガ採上げテ種牡馬トシタコトニ付キマシ

ノ經營、有畜農業經營ノ合理化ニ依ツテ、時

期重ノ意義ヲ有ツ生産力擴充ガ解決スル

ノデアル、私達ハスル觀點ニ立チマシテ、徒ニ

既往ノ諸君ガ力説サレマシテ、第三點ハ、馬

產國ノ所信ヲ御發表ヲ願ヒタイト思ヒマス

ナクテ、蒙支ニ對スル馬政計畫ノ意見ヲ立

案サレタコトハ甚ダ遺憾ニ存ズル次第デアリ

マス(拍手)政府ニ於キマシテモ日滿ダケデ

陸性能馬ヲ取上げテシテ本馬政計畫ヲ立

案サレタコトハ甚ダ遺憾ニ存ズル次第デアリ

マス(拍手)政府ニ於キマシテモ日滿ダケデ

ス同僚ノ諸君カラモ縷々御話ニナリマシ

タガ、私ハ別ノ角度カラ此ノ馬産ノ分布調整ニ付テ質問ヲシテ見タイト思ヒマス、馬ノ資源保護ノ爲ニ内地ノ馬政計画ト致シマシテ、地方ヘノ分布調整ヲ確立スル點ニ付キマシテハ、特ニ法律ノ内容ニモ能ク諷ハレテ居リマス、併シ從來ノ馬政状況ヲ見マスルト、日本ノ總馬數ノ四割乃至五割強ト云フモノハ、北海道乃至ハ東北方面ニ依ツテ占有サレテ居ツタノデアリマス、然ルニ今後ノ軍馬資源ノ確保、生産配合ハ中半血種ヲ採用スル結果カラ、決シテ東北乃至ハ北海道ニ限ラレナケレバナラスト云フコトハナイト存ズルノデアリマス、勢ヒ我國ノ内地農業ノ畜計畫化ト相關聯シテ具體化サレナケレバナラヌト心得ル者アリマス、我國ニ於キマシテハ未ダ利用サレナイ所ノ原野ガ數百万町歩カラアル譯アリマス、是ガ改良利用サレルコトハ、我國ノ如キ過小農制ノ農民ニ取りマシテハ、最モ緊急ナ生活問題デアルト心得テ居ル次第アリマス、今回ノ馬政計畫ガ中半血種、中格挽馬デアル點ニ於テ、先程申シマシタ通り農家ノ飼育ニ最セ適スルノデアリマスカラ、此ノ適スル馬政計畫ニ對シマシテ、之ヲ全國各府縣ニ適正ニ分布調整スルコトガ最モ當ヲ得タモノト考ヘルガ、政府ノ所見如何デアリマスカ、特ニ樺太方面ニ於キマシテハ、最モ寒帶ニ適シ、耐寒力ノアル馬ガ出來ル譯アリマス、臺灣方面ニ於キマシテハ、最モ耐熱力ノアル所ノ馬ガ出來ル譯アリマス、此ノ耐熱力ト耐寒力トノ馬デアリマス(拍手)斯ノ如ク重要意義ヲ持ツテ居ル馬匹ノ分布調整ノ關係ニ付キマシテ、進ノ國力ヲ伸張スル上ニ於キマシテモ、重ナル影響ヲ持ツモノト私ハ心得テ居ル次第

所見ノ御發表ヲ頤ヒタイト思ヒマス、特ニ
申上ゲテ置キタイコトハソレバカリデナク
テ、此ノ分布調整ガ圓滑ニ行クト云フコト
ハ、傳染病等ニ對スル豫防ニモナルト思フ
ノデアリマス、例へバ一箇所ニ馬匹ヲ多く
生産スルコトハ、其ノ地方ニ於キマシテ多
クノ傳染病ガ出來ル場合、例へバ傳貧、或
ハ骨軟症、或ハ流產ト云フヤウナモノガ東
北ニ澤山發生スル、其ノ場合ニ其ノ地方ノ
ミヲ馬產地ノ區域トシテ居ル場合ニ於キマ
シテハ、其ノ地域ニ於ケル馬匹ガ皆ヤラレ
ルコトニナリマス、ソンナコトニナレバ、
恐ラク今日ノ大馬政計畫ハ大キナ蹉跎ヲ來
スノデハナイカ(拍手)斯ウ云フ點ニ考ヲ及
ボス時ニ、馬產ノ分布調整ノ意義最モ重且
ツ大ナルコトヲ心得ル者デアリマス

ノ大臣ハ御承知アリマセウ、舍飼ヲシタ
馬ハ確ニ肉ハ付キマスケレドモ、骨格ガ整
ヒマセス、大石君ノ話デハアリマセヌケレ
ドモ、低身廣軀四肢強健ナル馬ハ出來マセ
ヌ、ソコヘ行クト放牧ハ只今申上ダタヤウ
ニ骨格、頑丈ナ馬ガ出來、特ニ戰列部隊所
要ノ有能馬ト云フモノハ、舍飼ヲシタル所
ノ馬デハ得ラレナイ、舍飼馬ハ所謂單馬デ
アル、獨リデ育ツテ獨リデ行動ヲスル、併
シ放牧馬ハ絶エズ集團的ノ生活ヲシテ居ル、
而シテ軍馬ニ於テハ決シテ獨リデ歩ク馬ハ
要求シナインデアリマス、放牧シタ馬ハ集
團的ノ訓練ヲ經テ居ル爲ニ、軍所要ノ有能馬
ノナイ答辯ヲサレタノデハ、吾々ハ決シテ満
トシテ適スルコトニナルノデアリマス（拍
手）斯ル牧野ト馬政トノ關係ニ付キマシテ、
農林行政ノ一元化、整理統一統合ヲ説イテ
居ル本家本元ノ農林大臣カラ、ソンナ他愛
ノナイ答辯ヲサレタノデハ、吾々ハ決シテ満
足スル者デハナイノデアリマス、特ニ農林
大臣ヨリ此ノ際林野行政ト畜産行政ノ兼備
統合一體ノ御所見ヲ御聽キシタノデアリ
マス、以上ヲ申上ガマシテ私ノ質問ハ終リ
ト致シマス（拍手）

臣櫻内幸雄君登壇

ハリ農村ニ於テ之ヲ飼育シナイノデアリマスカラ、其價格ニ付キマシテモ陸軍當局ト相協力シマシテ、適當ナ價格ニ之ヲ抑ヘタル大陸馬政計畫ヲ何故立テヌカ、何故支那ヲ除イタノデアルカ、斯ウ云フ御質疑ノヤウデアリマシタガ、日滿兩國ヲ通ジテ此ノ計畫ヲ立テマシタ際ニハ、蒙疆及ビ北支ト云フモノノ生産狀態ヲ考慮ノ中ニ入レテ、此ノ計畫ヲ立テ居ルノデアリマス、唯此ノ計畫ニ日滿支ト云フ言葉ヲ使ヒマセヌデシタノハ、尙ほ多少研究スペキ點ガアリマシタ爲ニ之ヲ除イタノデアリマス、馬資源ノ分布調整ヲ圖ル必要ナキヤ、此ノ點ニ付キマシテハ御意見モゴザイマシタガ、吾々ハ種々ナル關係ヲ考慮ノ中ニ入レマシテ、適切ナル調整ヲ致シタイト考ヘマス、最後ニ放牧場ニ付テノ御意見ガゴザイマシタガ、此ノ點ニ付キマシテハ、吾々ト致シマシテモ出來ルダケ馬匹ノ増殖ニ對シテ差支ナイ程度ノ途ヲ講ジタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス○副議長（金光庸夫君）是ニテ質疑ハ終了致シマシタ、各案ノ審査ヲ付託スペキ委員ノ選舉ニ付テ御諮り致シマス

異議○括記

農村ニ於テ之ヲ飼育シナイノデアリマカラ、其價格ニ付キマシテモ陸軍當局ト協力シマシテ、適當ナ價格ニ之ヲ抑ヘタト思フノデアリマス、次ニ日滿支ヲ通ズ入陸馬政計畫ヲ何故立テヌカ、何故支那陸イタノデアルカ、斯ウ云フ御質疑ノヤノ計畫ヲ立テ居ルノデアリマス、唯此ノ計畫ニ日滿支ト云フ言葉ヲ使ヒマセヌデニアリマシタガ、日滿兩國ヲ通ジテ此ノ計畫ヲ立テマシタ際ニハ、蒙疆及び北支トノゼノ生産狀態ヲ考慮ノ中ニ入レテ、此ノ計畫ヲ除イタノデアリマス、馬資源ガ勿ブ調整ヲ圖ル必要ナキヤ、此ノ點ニ付タハ、尙ほ多少研究スペキ點ガアリマタク爲ニ之ヲ除イタノデアリマス、馬資源ノ調整ヲ致シタイト考ヘマス、最後放牧場ニ付テノ御意見ガゴザイマシタガ、吾々種々ナル關係ヲ考慮ノ中ニ入レマシテ、出來ルダケ馬匹ノ増殖ニ對シテ差支ナイ度ノ途ヲ講ジタイ、斯様ニ考ヘテ居リマシテハ、吾々ト致シマシテノ點ニ付キマシテハ、吾々ト致シマシテノ點ニ付キマセヌカ

服部崎
シテ、
ノコト
「贊
副議長
哉アリ

ニ於テ之ヲ銅育シナイノデアリマ
其價格ニ付キマシテモ陸軍當局ト
マシテ、適當ナ價格ニ之ヲ抑ヘタ
ノデアリマス、次ニ日滿支フ通ズ
政計畫ヲ何故立テヌカ、何故支那
ノデアルカ、斯ウ云フ御質疑ノヤ
マシタガ、日滿兩國ヲ通ジテ此ノ
テマシタ際ニハ、蒙疆及ビ北支ト
ノ生産狀態ヲ考慮ノ中ニ入レテ、
ヲ立テテ居ルノデアリマス、唯此
日滿支ト云フ言葉ヲ使ヒマセヌデ
、尙ホ多少研究スベキ點ガアリマ
之ヲ除イタノデアリマス、馬資源
整ヲ圖ル必要ナキヤ、此ノ點ニ付
ハ御意見モザイマシタガ、吾々
ル關係ヲ考慮ノ中ニ入レマシテ、
調整ヲ致シタイト考ヘマス、最後
ニ付テノ御意見ガゴザイマシタガ、
ダケ馬匹ノ増殖ニ對シテ差支ナイ
ヲ講ジタイ、斯様ニ考ヘテ居リマ
タ、各案ノ審査ヲ付託スベキ委員
付テ御諮リ致シマス

市君
議長指
ヲ望
成ト
(金光
マセニ

アセノア銅育シナイノデアリマ
格ニ付キマシテモ陸軍當局ト
テ、適當ナ價格ニ之ヲ抑ヘタ
ノリマス、次ニ日滿支ヲ通ズ
畫ヲ何故立テヌカ、何故支那
アルカ、斯ウ云フ御質疑ノヤ
タガ、日滿兩國ヲ通ジテ此ノ
文ト云フ言葉ヲ使ヒマセヌデ
シタ際ニハ、蒙疆及ビ北支ト
產狀態ヲ考慮ノ中ニ入レテ、
アテ居ルノデアリマス、唯此
圖ル必要ナキヤ、此ノ點ニ付
ホ多少研究スペキ點ガアリマ
除イタノデアリマス、馬資源
ノ御意見ガゴザイマシタガ、吾々
係ヲ考慮ノ中ニ入レマシテ、
致シタ考ヘマス、最後
ノ御意見ガゴザイマシテ
シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマ
シマス

日程
指名一
ミマス
二呼フニ
庸夫ニ
メカ

銅育シナインデアリマ
行キマシテモ陸軍當局ト
當富ナ價格ニ之ヲ抑ヘタ
ス、次ニ日滿支ヲ通ズ
故立テヌカ、何故支那
ス、斯ウ云フ御質疑ノヤ
ルノデアリマス、唯此
ム言葉ヲ使ヒマセヌデ
日滿兩國ヲ通ジテ此ノ
事ニハ、蒙疆及ビ北支ト
考慮ノ中ニ入レテ、
居ルノデアリマス、唯此
ム言葉ヲ使ヒマセヌデ
研究スペキ點ガアリマ
ソノデアリマス、馬資源
必要ナキヤ、此ノ點ニ付
意見ガゴザイマシタガ、吾々
ノバ、吾々ト致シマシテ
増殖ニ對シテ差支ナイ
、斯様ニ考ヘテ居リマ
者アリ】